

上尾市社会教育委員 委嘱・任命式

第1回 上尾市社会教育委員会議

日 時 令和8年7月9日（木）
午前9時30分から
場 所 上尾公民館 講座室503

【 上尾市社会教育委員 委嘱・任命式 次第 】・・・・・・・・・・ 1

- 1 開式
- 2 委嘱書及び任命書の交付
- 3 教育長挨拶
- 4 閉式

【 令和8年度第1回上尾市社会教育委員会議 次第 】・・・・・・ 3

- 1 開会
- 2 議長挨拶
- 3 委員及び職員紹介
- 4 議事
 - (1) 令和8年度社会教育関係事業について
生涯学習課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
(別冊資料1)
 - (2) 令和8年度社会教育関係団体補助金について・・・・・・・・ 21
(別冊資料2)
 - (3) 第6次生涯学習振興基本計画指標策定に係る事業紹介について 22
(別冊資料3・4)
 - (4) その他
- 5 閉会

(白紙)

上尾市社会教育委員 委嘱・任命式

1 開式

2 委嘱書及び任命書の交付

任期：令和８年７月１日から令和１０年６月３０日まで

区分		氏 名	役職等	備考
1 号委員	学校教育	田野 順子	市立今泉小学校校長	新任
		林 孝安	市立上平中学校校長	再任
	社会教育	近藤 博昭	上尾市公民館運営審議会委員長	再任
		曾我部 延孝	上尾市人権教育推進協議会会長	再任
		須賀 聡	ボーイスカウト上尾市連絡協議会会長	再任
		山下 文孝	上尾市スポーツ協会副理事長	再任
		清水 松代	上尾市図書館協議会副委員長	再任
		横堀 鶴雄	上尾市文化団体連合会会長	新任
2 号委員	家庭教育	長谷川 義水	N P O 法人あげお学童クラブの会副代表理事	再任
	家庭教育	高山 亮平	上尾市 P T A 連合会会長	新任
	家庭教育	上松 なつみ	上尾市私立幼稚園認定こども園協会副会長	新任
3 号委員	学識経験	若原 幸範	聖学院大学政治経済学部教授	再任
	学識経験	野澤 直美	日本薬科大学地域連携招聘教授・客員教授	新任

3 教育長挨拶

4 閉式

(白紙)

第 1 回上尾市社会教育委員会議

1 開式

2 議長挨拶

3 委員及び職員紹介

〔委員〕

区分		氏 名	役職等
1 号委員	学校教育	田野 順子	市立今泉小学校校長
		林 孝安	市立上平中学校校長
	社会教育	近藤 博昭	上尾市公民館運営審議会委員長
		曾我部 延孝	上尾市人権教育推進協議会会長
		須賀 聡	ボーイスカウト上尾市連絡協議会会長
		山下 文孝	上尾市スポーツ協会副理事長
		清水 松代	上尾市図書館協議会副委員長
2 号委員	家庭教育	横堀 鶴雄	上尾市文化団体連合会会長
		長谷川 義水	NPO法人あげお学童クラブの会副代表理事
		高山 亮平	上尾市PTA連合会会長
3 号委員	学識経験	上松 なつみ	上尾市私立幼稚園認定こども園協会副会長
		若原 幸範	聖学院大学政治経済学部准教授
		野澤 直美	日本薬科大学地域連携招聘教授・客員教授

〔教育長・職員〕

所 属	氏 名	役 職	備考
教育総務部	西倉 剛	教育長	
	池田 直隆	部 長	
	山内 正博	次 長	
	図書館	新井 英希	館 長
	生涯学習課	松崎 まり子	課 長
		田中 史夫	副主幹
		望月 園望	主 査
		丸山 雄気	主 査
		目黒 寛人	主任兼社会教育主事
			同上

4 議事

(1) 令和8年度社会教育関係事業について

【生涯学習課】

第6次上尾市生涯学習振興基本計画

夢を育み、未来を創る生涯学習 ～共にウェルビーイングを高め合う上尾(まち)を目指して～

◆基本目標1 幅広い学習機会の提供

生涯学習のきっかけをつくり、また多様化する様々なニーズに対応するため、幅広いテーマの学習講座、体験事業等を展開していく。

◇施策の柱1-1 生涯学習のきっかけづくり

どのような学習事業やイベントが行われているか、またどのような活動が行われているかを知るための様々な事業を展開し、市民の学習の「きっかけ」を支援する。

事業名	内容		
生涯学習グループ 情報誌の発行	市内の公民館、学校開放（特別教室）を拠点としているサークル・グループの情報を取りまとめ、冊子を作成し、公共施設で配布するほか、同様の内容のデータを市のホームページ等、オンライン上においても公開し、広く周知を図る。 令和 8 年 8 月、令和 9 年 2 月発行、市ホームページに公開予定		
成果発表の場の充実	公民館や集会所で生涯学習活動を行う市民の日頃の成果を発表する機会を提供するため、また、発表を見に来た人に、自分も何か学んでみたいと考えてもらうため、各公民館・集会所で、まつりや展示発表会等を開催する。		
	○公民館事業		
		開催時期	事業名
	上尾	6 月 20(土)、21 日(日)	・ 第 49 回上尾公民館まつり
	上平	11 月 予定	・ 作品展示発表会 ・ 音楽グループコンサート
	平方	11 月 予定	・ 展示会・発表会
	原市	3 月 予定	・ 活動サークル作品展示・発表会
	大石	6 月 13(土)、14 日(日)	・ 大石公民館文化フェス
	大谷	10 月 予定	・ サークル活動発表会
	○集会所事業		
	開催時期	事業名	
原市	11 月 1 日(日)	・ 原市集会所展示発表会	
畔吉	10 月 4 日(日)	・ 畔吉集会所まつり	
学習相談援助の充実	すべての市民がそれぞれの自発的な学びの機会に結びつくよう、効果的な情報提供や学習相談の支援体制を充実させる。 ○生涯学習グループ・サークルやまなびすと指導者の紹介。 ○あげお市政出前講座の実施。		
生涯学習情報の発信	市で開催される講座や生涯学習・社会教育に関連したイベントの情報を、幅広い年齢層の方に行き届くよう、広報あげおや HP、SNS 等を通じて周知・提供する。 各種事業の開催について、X（旧 Twitter）、LINE を活用し、事業の案内及び開催状況等の配信を行う。		

◇施策の柱１－２ 幅広い講座事業の実施

講座の種類を対象者やニーズごとに体系的に分け、主に公民館を会場として、学習の最初のきっかけとなる講座を実施する。

事業名	内容												
世代別講座	未就学児、学生、社会人、親子、高齢者等、参加者の年代のニーズに合わせた講座を実施する。 ・全 27 講座 <table border="1"> <tr> <td>上尾</td><td> ・親子で学ぶ「お金」のはなし ・夏休み子ども教室～ダンスを踊ろう！～ ・カラー粘土で自分だけの貯金箱を作ろう ・夏休み子ども教室～グラスサンドアートを作ろう～ </td></tr> <tr> <td>上平</td><td> ・夏休み子ども教室～ガラスドームランプを作ろう～ ・デコパージュでバック作り ・グラスサンドアート～ハロウィン～ ・脳トレ～新聞活用術～ ・夏休みプログラミング教室 ・AI を活用してみよう～スマホ編～ </td></tr> <tr> <td>平方</td><td> ・子どもアート ・ドローン教室 ・ダンボールクラフト ・脳トレ健康麻雀 ・A I 講座 </td></tr> <tr> <td>原市</td><td> ・夏休み子ども紙すき教室 ・夏休み子ども教室～プラモデルを作ろう～ ・夏休み親子でクッキング～暑さに負けない旬レシピ～ ・親子パン教室 ・シニア向けスマートフォン教室 </td></tr> <tr> <td>大石</td><td> ・夏休み紅花染め体験 ・こども図工教室 ・書初め教室 ・終活講座 </td></tr> <tr> <td>大谷</td><td> ・夏休み！UD トラックスで見て乗って体験しよう♪ ・夏休み子ども折り紙教室～立体ロボットを折ろう～ ・夏休み体験教室～はじめての昆虫標本づくり～ </td></tr> </table>	上尾	・親子で学ぶ「お金」のはなし ・夏休み子ども教室～ダンスを踊ろう！～ ・カラー粘土で自分だけの貯金箱を作ろう ・夏休み子ども教室～グラスサンドアートを作ろう～	上平	・夏休み子ども教室～ガラスドームランプを作ろう～ ・デコパージュでバック作り ・グラスサンドアート～ハロウィン～ ・脳トレ～新聞活用術～ ・夏休みプログラミング教室 ・AI を活用してみよう～スマホ編～	平方	・子どもアート ・ドローン教室 ・ダンボールクラフト ・脳トレ健康麻雀 ・A I 講座	原市	・夏休み子ども紙すき教室 ・夏休み子ども教室～プラモデルを作ろう～ ・夏休み親子でクッキング～暑さに負けない旬レシピ～ ・親子パン教室 ・シニア向けスマートフォン教室	大石	・夏休み紅花染め体験 ・こども図工教室 ・書初め教室 ・終活講座	大谷	・夏休み！UD トラックスで見て乗って体験しよう♪ ・夏休み子ども折り紙教室～立体ロボットを折ろう～ ・夏休み体験教室～はじめての昆虫標本づくり～
上尾	・親子で学ぶ「お金」のはなし ・夏休み子ども教室～ダンスを踊ろう！～ ・カラー粘土で自分だけの貯金箱を作ろう ・夏休み子ども教室～グラスサンドアートを作ろう～												
上平	・夏休み子ども教室～ガラスドームランプを作ろう～ ・デコパージュでバック作り ・グラスサンドアート～ハロウィン～ ・脳トレ～新聞活用術～ ・夏休みプログラミング教室 ・AI を活用してみよう～スマホ編～												
平方	・子どもアート ・ドローン教室 ・ダンボールクラフト ・脳トレ健康麻雀 ・A I 講座												
原市	・夏休み子ども紙すき教室 ・夏休み子ども教室～プラモデルを作ろう～ ・夏休み親子でクッキング～暑さに負けない旬レシピ～ ・親子パン教室 ・シニア向けスマートフォン教室												
大石	・夏休み紅花染め体験 ・こども図工教室 ・書初め教室 ・終活講座												
大谷	・夏休み！UD トラックスで見て乗って体験しよう♪ ・夏休み子ども折り紙教室～立体ロボットを折ろう～ ・夏休み体験教室～はじめての昆虫標本づくり～												
一般教養講座	人文科学・社会科学・自然科学等、広く物事の基礎とされる一般教養を学ぶ講座を実施する。 ・全 21 講座 <table border="1"> <tr> <td>上尾</td><td> ・災害に備えるための地図とその活用 ・文学講座「徒然草」 ・上尾周辺地域の歴史を学ぶ ・春の和菓子をつくる </td></tr> <tr> <td>上平</td><td> ・多肉植物寄せ植え講座 ・骨・カルシウムセミナー ・初心者のための囲碁教室 </td></tr> </table>	上尾	・災害に備えるための地図とその活用 ・文学講座「徒然草」 ・上尾周辺地域の歴史を学ぶ ・春の和菓子をつくる	上平	・多肉植物寄せ植え講座 ・骨・カルシウムセミナー ・初心者のための囲碁教室								
上尾	・災害に備えるための地図とその活用 ・文学講座「徒然草」 ・上尾周辺地域の歴史を学ぶ ・春の和菓子をつくる												
上平	・多肉植物寄せ植え講座 ・骨・カルシウムセミナー ・初心者のための囲碁教室												

	平方	・親子でブルーベリー ・気象講座 ・古典・文学講座
	原市	・はじめてのNISA 将来に向けて知っておきたいお金の話 ・文学講座 ・はらいち寄席 ・文学に見る小栗上野介忠順
	大石	・故事成語、ことわざ、四字熟語の面白い話 ・自然環境 ・写経会
	大谷	・成り立ち・読み・四字熟語で学ぶ漢字の魅力 ・シルクロードを踏破して ・十二単が語る物語 ～平安時代の文学と文化を知る～ ・陶芸教室
文化財・歴史講座	文化財や歴史を学び、過去の文化や社会などを知ること、現代が抱える問題や未来社会を考えるきっかけとなる講座を実施する。	
	・全7講座	
	上尾	・埼玉の城館とその歴史
	上平	・後北条家と埼玉の城址 ・考古学講座～遺跡から窺い知る縄文人の生活～
	平方	・歴史講座
	原市	・日本の城の歴史
	大石	・文化財ウォーク
	大谷	・古事記と日本書紀
文化芸術講座	美術や音楽等、文化芸術を身近に感じられるための講座を実施する。	
	・全18講座	
	上尾	・ギターコンサート ・和の香りに親しむ
	上平	・筆ペン講座～美文字を身につけよう～ ・金つぎを体験してみよう ・オカリナコンサート
	平方	・四季を歌おう ・美術講座 ・落語講座
	原市	・ちりめん細工で招き猫作り～江戸時代の伝統を現代へ～ ・歌唱講座 ・伝統工芸「組み紐」
	大石	・陶芸教室 ・生け花教室 ・フォークギター教室（初中級編） ・大石ふれあいコンサート
	大谷	・新緑の中でゴッホと共に～ゴッホの名画の読み方・楽しみ方を学ぶ～ ・はじめてのオカリナ～自作オカリナで奏でる音色の世界～ ・オカリナクリスマスコンサート

家庭生活講座	手芸・料理など、生活文化を向上させ、普段の日常に潤いをもたらすことに繋げる講座を実施する。 ・全 19 講座 <table border="1"> <tr> <td>上尾</td><td> ・カラー粘土で自分だけの貯金箱を作ろう（再掲） ・クラフトバンドでバッグを作ろう ・ブリザードフラワーでオシャレな仏花 </td></tr> <tr> <td>上平</td><td> ・まるで本物みたいなスイーツソーブ講座 ・アメリカンフラワー講座～暮らしに彩りを～ ・和菓子で楽しむクリスマス </td></tr> <tr> <td>平方</td><td> ・親子でブルーベリー（再掲） ・気象講座（再掲） ・着物リメイク ・編み物教室 ・そば打ち教室 </td></tr> <tr> <td>原市</td><td> ・冬にうれしい手作り石けん～肌がよろこぶしっとり感～ ・木目込人形作り </td></tr> <tr> <td>大石</td><td> ・配色サービス絵手紙の会 ・ホリデートレイン ・みそ作り ・そば打ち体験 </td></tr> <tr> <td>大谷</td><td> ・初夏を楽しむ編み物教室～かぎ針で編もう～ ・季節の練り切り </td></tr> </table>	上尾	・カラー粘土で自分だけの貯金箱を作ろう（再掲） ・クラフトバンドでバッグを作ろう ・ブリザードフラワーでオシャレな仏花	上平	・まるで本物みたいなスイーツソーブ講座 ・アメリカンフラワー講座～暮らしに彩りを～ ・和菓子で楽しむクリスマス	平方	・親子でブルーベリー（再掲） ・気象講座（再掲） ・着物リメイク ・編み物教室 ・そば打ち教室	原市	・冬にうれしい手作り石けん～肌がよろこぶしっとり感～ ・木目込人形作り	大石	・配色サービス絵手紙の会 ・ホリデートレイン ・みそ作り ・そば打ち体験	大谷	・初夏を楽しむ編み物教室～かぎ針で編もう～ ・季節の練り切り
上尾	・カラー粘土で自分だけの貯金箱を作ろう（再掲） ・クラフトバンドでバッグを作ろう ・ブリザードフラワーでオシャレな仏花												
上平	・まるで本物みたいなスイーツソーブ講座 ・アメリカンフラワー講座～暮らしに彩りを～ ・和菓子で楽しむクリスマス												
平方	・親子でブルーベリー（再掲） ・気象講座（再掲） ・着物リメイク ・編み物教室 ・そば打ち教室												
原市	・冬にうれしい手作り石けん～肌がよろこぶしっとり感～ ・木目込人形作り												
大石	・配色サービス絵手紙の会 ・ホリデートレイン ・みそ作り ・そば打ち体験												
大谷	・初夏を楽しむ編み物教室～かぎ針で編もう～ ・季節の練り切り												
課題別講座	多文化共生、少子高齢化、障害等、社会や家庭、個人が抱える多様化した様々な課題について学ぶ講座を実施する。 ・全 9 講座 <table border="1"> <tr> <td>上尾</td><td> ・親子で学ぶ「お金」のはなし（再掲） ・脳と身体を楽しく使って認知症・フレイル予防！ </td></tr> <tr> <td>上平</td><td> ・調理実習 </td></tr> <tr> <td>平方</td><td> ・地域防災講座 ・相続・終活講座 </td></tr> <tr> <td>原市</td><td> ・原市日本語教室 ・シニア向けスマートフォン教室 </td></tr> <tr> <td>大石</td><td> ・終活講座（再掲） </td></tr> <tr> <td>大谷</td><td> ・らくらく AI 入門～初めてでも安心！便利な活用術～ </td></tr> </table>	上尾	・親子で学ぶ「お金」のはなし（再掲） ・脳と身体を楽しく使って認知症・フレイル予防！	上平	・調理実習	平方	・地域防災講座 ・相続・終活講座	原市	・原市日本語教室 ・シニア向けスマートフォン教室	大石	・終活講座（再掲）	大谷	・らくらく AI 入門～初めてでも安心！便利な活用術～
上尾	・親子で学ぶ「お金」のはなし（再掲） ・脳と身体を楽しく使って認知症・フレイル予防！												
上平	・調理実習												
平方	・地域防災講座 ・相続・終活講座												
原市	・原市日本語教室 ・シニア向けスマートフォン教室												
大石	・終活講座（再掲）												
大谷	・らくらく AI 入門～初めてでも安心！便利な活用術～												
産学官民との連携講座	高校、専門学校、大学等の教育機関や民間企業、任意団体等と連携し、それぞれの特色を生かした学習機会を提供する講座を実施する。 ・全 17 講座 <table border="1"> <tr> <td>上尾</td><td> ・親子で学ぶ「お金」のはなし（再掲） ・災害に備えるための地図とその活用（再掲） ・薬と健康 ・脳のはたらきと私たちの健康 </td></tr> <tr> <td>上平</td><td> ・調理実習（再掲） ・明治安田生命出張講座～「睡眠」と「健康」の知恵袋～ ・ストレスコーピング ・特殊詐欺被害防止ワークショップ講座 </td></tr> <tr> <td>平方</td><td> ・地域防災講座（再掲） ・薬膳講座 ・食改コラボ教室 </td></tr> </table>	上尾	・親子で学ぶ「お金」のはなし（再掲） ・災害に備えるための地図とその活用（再掲） ・薬と健康 ・脳のはたらきと私たちの健康	上平	・調理実習（再掲） ・明治安田生命出張講座～「睡眠」と「健康」の知恵袋～ ・ストレスコーピング ・特殊詐欺被害防止ワークショップ講座	平方	・地域防災講座（再掲） ・薬膳講座 ・食改コラボ教室						
上尾	・親子で学ぶ「お金」のはなし（再掲） ・災害に備えるための地図とその活用（再掲） ・薬と健康 ・脳のはたらきと私たちの健康												
上平	・調理実習（再掲） ・明治安田生命出張講座～「睡眠」と「健康」の知恵袋～ ・ストレスコーピング ・特殊詐欺被害防止ワークショップ講座												
平方	・地域防災講座（再掲） ・薬膳講座 ・食改コラボ教室												

	<table> <tr> <td>原市</td><td> ・からだのなかから元気にいきいき血管講座 ・日本薬科大学連携講座 ・食改との連携講座 </td></tr> <tr> <td>大石</td><td> ・食生活講座 </td></tr> <tr> <td>大谷</td><td> ・初めての昆虫標本作り（再掲） ・イギリス文化講座 </td></tr> </table>	原市	・からだのなかから元気にいきいき血管講座 ・日本薬科大学連携講座 ・食改との連携講座	大石	・食生活講座	大谷	・初めての昆虫標本作り（再掲） ・イギリス文化講座						
原市	・からだのなかから元気にいきいき血管講座 ・日本薬科大学連携講座 ・食改との連携講座												
大石	・食生活講座												
大谷	・初めての昆虫標本作り（再掲） ・イギリス文化講座												
庁内他課との連携講座	上尾市の職員による、専門知識・技術・人材を生かした講座を実施する。 ・全 8 講座 <table> <tr> <td>上尾</td><td>・わたしノート(医療・介護連携ノート)の書き方</td></tr> <tr> <td>平方</td><td>・食改コラボ教室（再掲）</td></tr> <tr> <td>原市</td><td> ・原市日本語教室（再掲） ・シニア向けスマートフォン教室（再掲） ・食改との連携講座 </td></tr> <tr> <td>大石</td><td>・終活講座（再掲）</td></tr> <tr> <td>大谷</td><td> ・食育に関する講座（郷土料理） ・環境に関する講座 </td></tr> </table>	上尾	・わたしノート(医療・介護連携ノート)の書き方	平方	・食改コラボ教室（再掲）	原市	・原市日本語教室（再掲） ・シニア向けスマートフォン教室（再掲） ・食改との連携講座	大石	・終活講座（再掲）	大谷	・食育に関する講座（郷土料理） ・環境に関する講座		
上尾	・わたしノート(医療・介護連携ノート)の書き方												
平方	・食改コラボ教室（再掲）												
原市	・原市日本語教室（再掲） ・シニア向けスマートフォン教室（再掲） ・食改との連携講座												
大石	・終活講座（再掲）												
大谷	・食育に関する講座（郷土料理） ・環境に関する講座												
人権講座	様々な人権問題の認識と理解を深めるための講座を実施する。 ・全 6 講座 <table> <tr> <td>上尾</td><td>・ジェンダー視点から考える防災・減災</td></tr> <tr> <td>上平</td><td>・あなたの権利を守る～自筆証書遺言書保管制度を知る～</td></tr> <tr> <td>平方</td><td>・人権講座</td></tr> <tr> <td>原市</td><td>・人権講座</td></tr> <tr> <td>大石</td><td>・県政出前講座、男女共同参画</td></tr> <tr> <td>大谷</td><td>・人権に関する講座（再掲）</td></tr> </table>	上尾	・ジェンダー視点から考える防災・減災	上平	・あなたの権利を守る～自筆証書遺言書保管制度を知る～	平方	・人権講座	原市	・人権講座	大石	・県政出前講座、男女共同参画	大谷	・人権に関する講座（再掲）
上尾	・ジェンダー視点から考える防災・減災												
上平	・あなたの権利を守る～自筆証書遺言書保管制度を知る～												
平方	・人権講座												
原市	・人権講座												
大石	・県政出前講座、男女共同参画												
大谷	・人権に関する講座（再掲）												
健康・スポーツ講座	市民の健康意識の醸成を図り、心身ともに健康で元気な健康長寿社会の実現のため、健康やスポーツに関わる講座を実施する。 ・全 20 講座 <table> <tr> <td>上尾</td><td> ・夏休み子ども教室～ダンスを踊ろう！～（再掲） ・脳と身体を楽しく使って認知症・フレイル予防！（再掲） ・薬と健康（再掲） ・脳のはたらきと私たちの健康（再掲） ・骨盤底筋トレーニングヨガ教室 ・健康ボイストレーニング </td></tr> <tr> <td>上平</td><td> ・ストレスコーピング（再掲） ・ポールウォーキング ・女性のためのリフレッシュヨガ ・ボクササイズにチャレンジ </td></tr> <tr> <td>平方</td><td> ・スポーツ吹き矢教室 ・バランスボール </td></tr> <tr> <td>原市</td><td> ・からだのなかから元気にいきいき血管講座（再掲） ・ココロとカラダを整える やさしい気功体操 ・快眠×こころの健康！眠りの質を高める実践講座 </td></tr> <tr> <td>大石</td><td> ・文化財ウォーク（再掲） ・筋力作りとストレッチ ・健康体操 </td></tr> <tr> <td>大谷</td><td> ・ZUMBA GOLD ・「べんがん」って何？ </td></tr> </table>	上尾	・夏休み子ども教室～ダンスを踊ろう！～（再掲） ・脳と身体を楽しく使って認知症・フレイル予防！（再掲） ・薬と健康（再掲） ・脳のはたらきと私たちの健康（再掲） ・骨盤底筋トレーニングヨガ教室 ・健康ボイストレーニング	上平	・ストレスコーピング（再掲） ・ポールウォーキング ・女性のためのリフレッシュヨガ ・ボクササイズにチャレンジ	平方	・スポーツ吹き矢教室 ・バランスボール	原市	・からだのなかから元気にいきいき血管講座（再掲） ・ココロとカラダを整える やさしい気功体操 ・快眠×こころの健康！眠りの質を高める実践講座	大石	・文化財ウォーク（再掲） ・筋力作りとストレッチ ・健康体操	大谷	・ZUMBA GOLD ・「べんがん」って何？
上尾	・夏休み子ども教室～ダンスを踊ろう！～（再掲） ・脳と身体を楽しく使って認知症・フレイル予防！（再掲） ・薬と健康（再掲） ・脳のはたらきと私たちの健康（再掲） ・骨盤底筋トレーニングヨガ教室 ・健康ボイストレーニング												
上平	・ストレスコーピング（再掲） ・ポールウォーキング ・女性のためのリフレッシュヨガ ・ボクササイズにチャレンジ												
平方	・スポーツ吹き矢教室 ・バランスボール												
原市	・からだのなかから元気にいきいき血管講座（再掲） ・ココロとカラダを整える やさしい気功体操 ・快眠×こころの健康！眠りの質を高める実践講座												
大石	・文化財ウォーク（再掲） ・筋力作りとストレッチ ・健康体操												
大谷	・ZUMBA GOLD ・「べんがん」って何？												

◆基本目標２ 学びを支える体制の推進

「支援体制」、「人材」、「場所」、「組織」を整えるシステムを構築し、市民の生涯学習活動を支える。

◇施策の柱２－１ 生涯学習活動の支援

市民の学びの推進のため、情報提供や学習相談の支援体制、社会教育団体への支援を充実し、また、会場に来ることができない方等への柔軟な学習環境システムの構築を推進する。

事業名	内容
生涯学習グループ 情報誌の発行（再）	生涯学習グループにとってはメンバーの募集のため、これから学習を始める人にとっては活動しているグループの情報を得るため、市内の公民館、学校開放（特別教室）で活動するサークル・グループの情報を取りまとめ、冊子の作成と配布、及びオンラインで公開する。 （再掲のため省略）
まなびすと指導者 バンク	優れた資質や能力・知識・経験を有する方を市民講師として登録し、市民に幅広く周知する「まなびすと指導者バンク」の受付と管理を行う。登録情報は、冊子の配布やHP上で公開により、市民へ広く周知し、指導者を探している人へ提供する。また、主にまなびすと指導者バンクの有志メンバーで構成される任意団体「まなびすと指導者バンク活動推進会議」が実施する講座や体験会の活動を支援する。 ○上尾市まなびすと指導者バンク 随時受付 ○上尾市まなびすと指導者情報誌（令和８年５月発行） 掲載講師数 98人 ○まなびすと指導者バンク活動推進会議が実施するまなびすと市民講座の活動支援のため、補助金を交付する。
成果発表の場の充実 （再）	公民館や集会所で生涯学習活動を行う市民の日頃の成果を発表する機会を提供するため、各公民館・集会所で、まつりや展示発表会等を開催する。 （再掲のため省略）
学習相談援助の充実 （再）	市民の自発的な学びの援助のため、効果的な情報提供や学習相談の支援体制を充実させる。 （再掲のため省略）
社会教育主事・社会 教育士の活用	社会教育主事を適切に配置し、社会教育行政の企画・実施、専門的技術的助言等を行う。 令和８年度は社会教育主事を生涯学習課に１名配置。 ※今後も引き続き新たな社会教育主事の取得、育成に努める。

福祉・健康	地域福祉の推進	地域福祉の背景や展望	福祉総務課
	民生委員・児童委員とは	ご存知ですか？地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」の活動紹介	
	上尾市の障害福祉サービス	障害者や難病患者の方が受けられる福祉の制度について	障害福祉課
	障害者差別解消法	障害者差別解消法について	
	生活保護とは	生活保護制度の概要	生活支援課
	生活困窮者自立支援制度とは	生活困窮者自立支援制度の概要	
	児童虐待防止啓発研修	児童虐待防止のための連携と地域・市の役割	こども家庭保健課
	ひきこもり支援	ひきこもり支援のための連携と地域・市の役割	
	ヤングケアラー支援	ヤングケアラー支援のための連携と地域・市の役割	
	上尾市のこども・子育て支援	子育てを支援する制度の概要を紹介（上尾市こども計画、子育てに関する情報発信、地域子育て支援拠点、ファミリー・サポート・センター、こどもの居場所づくり応援事業）	こども支援課
福祉・健康	介護保険制度	介護保険制度の仕組み	高齢介護課
	高齢者の難聴について	・聞こえづらいと、どんな支障があるか ・聞こえづらくなるのを防ぐには ・「聞こえづらさ」の種類 ・補聴器について ・受診のすすめ	
	介護予防	介護予防の取り組み方	
	認知症について知ろう	認知症の人の支援について（認知症サポーター養成講座として実施）	
	高齢者の権利擁護について（虐待防止啓発研修）	高齢者虐待の現状と防止のための対応について	
	わたしノート（医療・介護連携ノート）の書き方	わたしノートの書き方について	健康増進課 （健康保健センター）
	伸ばそう！健康寿命（健康マイスター養成講習）	健診、栄養、運動など生活習慣について学び健康づくりに役立てる	
	知っておきたいがんのこと（がん検診県民サポーター養成講習）	がんを正しく知り、早期発見、早期治療に役立てる	
	大人のこころの健康づくり～自身や大切な人のこころの健康を守るために～	こころの変化、病気への気づき、対処方法など、自分自身や身近な人のこころの健康のためにできることを考える	
	大人の熱中症予防	熱中症の予防方法	
	健康の基本は食事から	大人の食事（生活習慣病予防の食事、フレイル予防の食事など）	
	大人の口の健康	大人の歯周病予防、正しい歯磨きの仕方	
	乳幼児の健康	乳幼児の健康、子育て、虫歯予防について	
	食から育む健やかな発達	離乳食、こどもの食事	
	国民健康保険	制度の仕組み	保険年金課
	後期高齢者医療制度	制度の仕組み	
保険・税	住民税の仕組み	住民税の仕組み	市民税課
	資産税の仕組み	固定資産税・都市計画税の仕組み	資産税課
市議会	市議会の仕組みと役割	市議会の仕組みと役割	議会事務局

	<table><tr><td rowspan="6">生涯学習・スポーツ</td><td>上尾市の生涯学習</td><td>生涯学習事業、公民館の使い方など</td><td rowspan="5">生涯学習課</td></tr><tr><td>上尾の遺跡</td><td>遺跡の発掘から分かったこと</td></tr><tr><td>上尾の文化財</td><td>市内の文化財の紹介</td></tr><tr><td>上尾の歴史</td><td>上尾の歴史について</td></tr><tr><td>上尾の民俗</td><td>国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」や民俗芸能・民俗行事について</td></tr><tr><td>上尾市の図書館に関する施策について</td><td>上尾市の図書館サービス、選書のポイントなど</td><td>図書館</td></tr><tr><td></td><td>スポーツに参加しませんか</td><td>あげお de からだ元気フェスタ、スポ健 Day、市民体育祭、シティハーフマラソン、市民駅伝等の紹介と参加案内</td><td>スポーツ振興課</td></tr><tr><td>学校給食</td><td>小学校給食について</td><td>小学校給食ができるまで</td><td>学校保健課</td></tr></table>	生涯学習・スポーツ	上尾市の生涯学習	生涯学習事業、公民館の使い方など	生涯学習課	上尾の遺跡	遺跡の発掘から分かったこと	上尾の文化財	市内の文化財の紹介	上尾の歴史	上尾の歴史について	上尾の民俗	国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」や民俗芸能・民俗行事について	上尾市の図書館に関する施策について	上尾市の図書館サービス、選書のポイントなど	図書館		スポーツに参加しませんか	あげお de からだ元気フェスタ、スポ健 Day、市民体育祭、シティハーフマラソン、市民駅伝等の紹介と参加案内	スポーツ振興課	学校給食	小学校給食について	小学校給食ができるまで	学校保健課
生涯学習・スポーツ	上尾市の生涯学習		生涯学習事業、公民館の使い方など	生涯学習課																				
	上尾の遺跡		遺跡の発掘から分かったこと																					
	上尾の文化財		市内の文化財の紹介																					
	上尾の歴史		上尾の歴史について																					
	上尾の民俗		国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」や民俗芸能・民俗行事について																					
	上尾市の図書館に関する施策について	上尾市の図書館サービス、選書のポイントなど	図書館																					
	スポーツに参加しませんか	あげお de からだ元気フェスタ、スポ健 Day、市民体育祭、シティハーフマラソン、市民駅伝等の紹介と参加案内	スポーツ振興課																					
学校給食	小学校給食について	小学校給食ができるまで	学校保健課																					
ICT の活用・推進	ホームページや SNS 等を活用し、市民が必要とする生涯学習の情報を速やかに提供する。また、情報化についての講座や、ICT を活用したオンライン講座等を展開していく。 ○各種事業の開催について、X（旧 Twitter）、LINE を活用し、事業の案内及び開催状況等の配信を行う。 ○生涯学習グループ、まなびすと指導者バンクの登録リストを市 HP で公開する。 ○二十歳のつどい代表者会議において、遠方に在住していても出席できるよう、オンライン配信の環境を構築する。																							
文化・芸術活動の推進	子どもから高齢者までの誰もが文化・芸術活動に親しめるよう活動を支援するとともに、美術展覧会や音楽祭を開催し、成果発表の機会を提供する。 ○ 上尾市美術展覧会 開 催 日 10月20日(火)～10月25日(日) 会 場 三井金属あげおコミュニティセンター（上尾市コミュニティセンター）、上尾市民ギャラリー 内 容 日本画、洋画、立体造形、工芸、書、写真 ○ 市民音楽祭 <table><tr><td></td><td>開催日</td><td>会場</td></tr><tr><td>合唱祭</td><td>11月8日(日)</td><td>あげお富士住建ホール (上尾市文化センター)</td></tr><tr><td>邦楽祭</td><td>1月30日(土)</td><td>三井金属あげお コミュニティセンター (上尾市コミュニティセンター)</td></tr><tr><td>吹奏楽・器楽祭</td><td>2月14日(日)</td><td>あげお富士住建ホール (上尾市文化センター)</td></tr></table>				開催日	会場	合唱祭	11月8日(日)	あげお富士住建ホール (上尾市文化センター)	邦楽祭	1月30日(土)	三井金属あげお コミュニティセンター (上尾市コミュニティセンター)	吹奏楽・器楽祭	2月14日(日)	あげお富士住建ホール (上尾市文化センター)									
	開催日	会場																						
合唱祭	11月8日(日)	あげお富士住建ホール (上尾市文化センター)																						
邦楽祭	1月30日(土)	三井金属あげお コミュニティセンター (上尾市コミュニティセンター)																						
吹奏楽・器楽祭	2月14日(日)	あげお富士住建ホール (上尾市文化センター)																						
学校施設（特別教室）の開放	地域に開かれた学校づくりの一環として、平方東・芝川・富士見小学校の特別教室を、学校教育に支障の生じない範囲で開放し、サークル活動等の学びの場として提供する。																							
図書館サービスの充実	市民が生涯にわたり学習することができる機会と場所を提供するため、レファレンスサービスの提供や、外出が困難な利用者に対する非来館型サービス等、多様なニーズに応えるサービスの充実を行う。																							

◇施策の柱２－２ 学びの担い手の育成

学びの指導者、無形民俗文化財の担い手の人材育成を行政の立場から支援する。

事業名	内容
生涯学習 ボランティアの育成	生涯学習ボランティア向けの講座や講演会の実施により、市民自らが学び学んだことを地域社会で生かすことで、達成感や生きがいにつながる学習を支援し、市民のボランティアへの参加を推進する。 ○生涯学習ボランティア指導者養成講座〔実施時期未定〕
文化財の後継者の育成	伝統的な民俗行事や民俗芸能などの無形民俗文化財について、保持団体の構成員の減少や高齢化等により、継承が困難な状況にある団体が増えていることから、継承を促進するため、保持団体等へ支援を行う。 ○指定無形民俗文化財の保持団体に対し、継承活動助成金を交付。
社会教育指導員の技術向上	主に公民館や集会所で講座を企画・実施する社会教育指導員が、市民の様々な学習ニーズに応じた講座を立案できるよう、社会教育主事が中心となり、助言や指導等を実施し、また研修会を行い、資質の向上に努める。 ○社会教育指導員に向けた研修会を年度中に実施予定。

◇施策の柱２－３ 生涯学習施設の管理・運営

生涯学習を行う場となるあらゆる施設の中で、市民の学習活動やつながりづくりを支援するための拠点となる主な社会教育施設を、誰もが安心・安全に利用できるよう、定期的な保守点検や工事・修繕等を実施し、環境の整備を行う。

事業名	内容
公民館	生涯学習活動を行うサークルへの部屋の貸し出しや、主催講座の実施、所属サークルの発表の場となるグループ交流事業を実施するほか、子どもの居場所となる場の提供等、誰もが利用しやすい市民の学びの場を提供する。
人権教育集会所	人権教育の拠点施設として、人権に関する講座やサークル活動、グループ交流事業などを行い、市民の人権に対する意識の向上につとめる。
市役所ギャラリー 市民ギャラリー	市民が美術作品等の展示・発表・鑑賞を行うための各ギャラリーを管理・運営し、市民の文化・芸術活動を支援する。
図書館	図書館資料の収集など図書館の基本的機能の充実を図るとともに、多様なサービスを展開することで、市民の課題解決に向けた取組の支援や、学びと活動の場の提供を進める。また、本館及び分館・公民館図書室の環境整備に努め、市民が気軽に立ち寄ることができ、身近で居心地の良い空間を構築する。

◇施策の柱２－４ 生涯学習の推進体制の構築

生涯学習の振興のため、行政が主体となり、専門家をメンバーとした委員会等を実施する。また、各委員会等を通じて、市民の意見を行政に広く反映させ、中立性・透明性をもった生涯学習行政を推進する。

事業名	内容								
社会教育委員会議	教育委員会に対し、社会教育に関する助言や意見を述べる社会教育委員の会議を開催し、社会教育に関する市民の意見を行政に反映させる。 <table> <tr> <td>・第1回会議</td><td>7月9日(木)</td></tr> <tr> <td>・第2回会議</td><td>11月予定</td></tr> <tr> <td>・第3回会議</td><td>2月予定</td></tr> <tr> <td>・南部地区社会教育関係委員・職員研修会</td><td>1月予定</td></tr> </table>	・第1回会議	7月9日(木)	・第2回会議	11月予定	・第3回会議	2月予定	・南部地区社会教育関係委員・職員研修会	1月予定
・第1回会議	7月9日(木)								
・第2回会議	11月予定								
・第3回会議	2月予定								
・南部地区社会教育関係委員・職員研修会	1月予定								
公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画・実施について、調査審議する公民館運営審議会を開催し、市民の意見を行政に反映させる。 <table> <tr> <td>・第1回会議</td><td>7月13日(月)</td></tr> <tr> <td>・第2回会議</td><td>2月予定</td></tr> </table>	・第1回会議	7月13日(月)	・第2回会議	2月予定				
・第1回会議	7月13日(月)								
・第2回会議	2月予定								
人権教育推進協議会	教育委員会に対し、人権教育の推進に関する事項について研究協議する人権教育推進協議会を開催し、人権教育に関する市民の意見を行政に反映させる。 <table> <tr> <td>・第1回会議</td><td>7月21日(火)</td></tr> <tr> <td>・第2回会議</td><td>10月予定</td></tr> <tr> <td>・第3回会議</td><td>2月予定</td></tr> </table>	・第1回会議	7月21日(火)	・第2回会議	10月予定	・第3回会議	2月予定		
・第1回会議	7月21日(火)								
・第2回会議	10月予定								
・第3回会議	2月予定								
人権教育集会所運営委員会	人権教育集会所における事業の企画・実施、及び運営に関して審議する人権教育集会所運営委員会を開催し、人権教育集会所に関する市民の意見を行政に反映させる。 <table> <tr> <td>・第1回会議</td><td>7月29日(水)</td></tr> <tr> <td>・第2回会議</td><td>1月予定</td></tr> </table> ※原市・畔吉集会所それぞれで実施。	・第1回会議	7月29日(水)	・第2回会議	1月予定				
・第1回会議	7月29日(水)								
・第2回会議	1月予定								
文化財保護審議会	文化財の保護に関して審議する文化財保護審議会を開催し、上尾市が実施している文化財保護事業について専門家の意見を行政に反映させる。 <table> <tr> <td>・第1回会議</td><td>7月予定</td></tr> <tr> <td>・第2回会議</td><td>2月予定</td></tr> </table>	・第1回会議	7月予定	・第2回会議	2月予定				
・第1回会議	7月予定								
・第2回会議	2月予定								
上尾の摘田・畑作用具保存活用検討委員会	国重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」の保存・活用について検討する上尾の摘田・畑作用具保存活用検討委員会を開催し、専門家の意見を行政に反映させる。 <table> <tr> <td>・第1回会議</td><td>7月予定</td></tr> <tr> <td>・第2回会議</td><td>1月予定</td></tr> </table>	・第1回会議	7月予定	・第2回会議	1月予定				
・第1回会議	7月予定								
・第2回会議	1月予定								
図書館協議会	図書館における各種事業の企画・実施について、調査審議する図書館協議会を開催し、市民の意見を行政に反映させる。 <table> <tr> <td>・第1回会議</td><td>8月3日(月)</td></tr> <tr> <td>・第2回会議</td><td>11月予定</td></tr> </table>	・第1回会議	8月3日(月)	・第2回会議	11月予定				
・第1回会議	8月3日(月)								
・第2回会議	11月予定								

◆基本目標３ 人をつなぎ未来へつなぐ学習事業の展開

人と人、地域をつなぐことを目的とした事業や、未来へとつながる新しい価値を見出すきっかけをつくるための事業を展開していきます。

◇施策の柱３－１ 人をつなぐ生涯学習

地域や人との関係が希薄化してきているとされる現在において、人と人、地域のつながりを促すための事業を実施します。

事業名	内容																				
生涯学習グループの立ち上げ、参加の支援	公民館講座等を通じて、新たな生涯学習グループの立ち上げや、グループの参加者募集を支援します。 公民館講座の実施後に、サークルの立ち上げを参加者に対して呼びかける。																				
放課後子ども教室	子どもたちが放課後を安全に過ごせるよう、地域・学校と連携して居場所づくりを行うと共に、多様な体験や活動を企画・実施し、健やかな成長を促します。また、参加者の子ども同士や、サポーター・講師との交流を通じて、人や地域とのつながりづくりを促します。 市内４校で実施。 <table><tr><th>会場</th><th>教室名通称</th><th>開催曜日</th><th>実施時間</th></tr><tr><td>原市小</td><td>はらっぴークラブ</td><td>火曜</td><td>16時30分まで</td></tr><tr><td>大石小</td><td>いしっこクラブ</td><td>木曜</td><td>16時45分まで</td></tr><tr><td>富士見小</td><td>ふじみっこクラブ</td><td>月曜</td><td>16時15分まで</td></tr><tr><td>芝川小</td><td>しばっこクラブ</td><td>金曜</td><td>16時15分まで</td></tr></table> ※いずれも６月～３月まで ※特別日課の日は実施時間が通常と異なる。	会場	教室名通称	開催曜日	実施時間	原市小	はらっぴークラブ	火曜	16時30分まで	大石小	いしっこクラブ	木曜	16時45分まで	富士見小	ふじみっこクラブ	月曜	16時15分まで	芝川小	しばっこクラブ	金曜	16時15分まで
会場	教室名通称	開催曜日	実施時間																		
原市小	はらっぴークラブ	火曜	16時30分まで																		
大石小	いしっこクラブ	木曜	16時45分まで																		
富士見小	ふじみっこクラブ	月曜	16時15分まで																		
芝川小	しばっこクラブ	金曜	16時15分まで																		
世代間交流の促進	講座をはじめとした様々な事業を通じて、参加者同士や、参加者と講師等、色々な世代間が交流できるような体制を構築する。 ○子ども大学あげお・いな・おけがわ 大学生がアシスタントとして講義に参加し、参加者の小学生と交流を図る。																				
オンライン講座の実施	オンライン講座の実施 ※令和８年度実施予定なし。実施に向けて企画・調整を進めていく。																				

◇施策の柱３－２ 未来へつなぐ生涯学習

次世代の担い手である子どもや若者を中心に、未来へとつながる学びを行う機会を提供、または支援を行う。同時に、歴史についての学びや文化財の保護も推進する。

事業名	内容												
文化財・歴史資料の保存と活用	市内に現存する文化財や歴史資料を未来に継承していくため、保存・活用に適した環境を整えていく。また、歴史セミナーや文化財展などの啓発事業を実施し、子どもや若者をはじめとした多くの人々が、上尾の歴史、伝統的な暮らしや生業を知り、現在とのつながりが意識できるような啓発に取り組む。 ○文化財保存等事業補助金 市指定・登録文化財について、管理者から修繕の要望を受け、修繕費用として補助金を交付する。 ○上尾の文化財展（全２回予定） <table border="1"> <tr> <th>開催日</th><th>テーマ</th></tr> <tr> <td>8月6日(木) ～12日(水)</td><td>・上尾の無形民俗文化財</td></tr> <tr> <td>未定</td><td>未定</td></tr> </table> ○あげお歴史セミナー（全２回予定） <table border="1"> <tr> <th>開催日</th><th>テーマ</th></tr> <tr> <td>6月12日(金)</td><td>・あげお歴史探検ツアー（平方地区）</td></tr> <tr> <td>未定</td><td>未定</td></tr> </table> ○その他の取組 ・国重要有形民俗文化財に指定された「上尾の摘田・畑作用具」をはじめとする上尾の歴史や文化を紹介するため、自然学習館の一部で「摘田と上尾の歴史・文化」コーナーを常設している。また、コーナー内の維持・管理を実施。 ・市ホームページに「あげお文化遺産ガイド」を掲載し、無形文化財の映像等を公開中。	開催日	テーマ	8月6日(木) ～12日(水)	・上尾の無形民俗文化財	未定	未定	開催日	テーマ	6月12日(金)	・あげお歴史探検ツアー（平方地区）	未定	未定
開催日	テーマ												
8月6日(木) ～12日(水)	・上尾の無形民俗文化財												
未定	未定												
開催日	テーマ												
6月12日(金)	・あげお歴史探検ツアー（平方地区）												
未定	未定												
文化財の後継者の育成	文化財をこれからの未来へ伝えていくため、保持団体等へ継続的な支援を行うとともに、民俗芸能公演の定期的な開催や、保持団体への活動支援を通じ、民俗芸能の保存と後継者の育成を図る。また、デジタルコンテンツを活用して、子どもや若者をはじめとした様々な世代が文化財についての理解を深められるよう、情報の発信に努める。 ○指定無形民俗文化財の保持団体に対する継承活動助成金交付 P.13 文化財の後継者の育成を参照。 ○民俗芸能公演 5年おき（市政施行記念の年度）で開催。 ※次回開催予定 令和10年度 ○その他の取組 ・国重要有形民俗文化財に指定された「上尾の摘田・畑作用具」をはじめとする上尾の歴史や文化を紹介するため、自然学習館の一部で「摘田と上尾の歴史・文化」コーナーを常設している。また、コーナー内の維持・管理を実施。 ・市ホームページに「あげお文化遺産ガイド」を掲載し、無形文化財の映像等を公開中。												

二十歳のつどい	20 歳を迎える若者への限りない前途を祝福し、また社会人としての自覚と「上尾」というふるさとへの意識を高めるため、「二十歳のつどい」を実施する。式典は、市内の各中学校した代表者により企画・進行する。 日 時 令和 9 年 1 月 10 日(日) 会 場 あげお富士住建ホール（上尾市文化センター） 対象者数 2,069 人(令和 8 年 4 月 1 日現在)																										
ICT の活用・推進(再)	ICT についての講座等の実施を通じて市民の理解を促進し、ICT を活用して豊かな暮らしを送ることのできる社会の実現を目指す。 (再掲のため省略)																										
人権教育の推進	学校と連携した人権標語・作文コンクールの実施、人権教育集会所において、人権研修・講座、教育委員会全体を対象とした事業を実施することにより、市民の人権意識の高揚を図る。 ○人権標語・作文コンクール 人権を大切なものとして認めあえるような啓発活動の推進を図ることを目的とし、市内の小・中学生より人権標語・作文を募集する。優秀な作品は、あげおヒューマンライツミーティングにおいて表彰する。 ○あげおヒューマンライツミーティング 人権問題を学習していく場として、また人権教育・人権啓発を推進する中心的な事業として、上尾市人権推進協議会・人権男女共同参画課・指導課と連携し、あげおヒューマンライツミーティング」を実施する。 日 時 令和 8 年 12 月 5 日（土） 会 場 三井金属上尾コミュニティセンター 実施内容 ・ステージパフォーマンス (予定) ・人権啓発DVD上映会 ・人権標語、作文の発表及び表彰 ・障害者就労施設紹介と製品販売 ・人権グループによるワークショップ ○人権教育集会所主催事業（予定） <table><tr><td></td><td>前期 (4～8 月)</td><td>夏休み 子ども教室</td><td>中期 (9～12 月)</td><td>後期 (1～3 月)</td><td>計</td></tr><tr><td>原市</td><td>6 事業</td><td>6 事業</td><td>6 事業</td><td>6 事業</td><td>24 事業</td></tr><tr><td>畔吉</td><td>6 事業</td><td>6 事業</td><td>6 事業</td><td>6 事業</td><td>24 事業</td></tr></table> ○人権研修 <table><tr><td>・教育委員会職員人権研修会</td><td></td><td>11 月予定</td></tr><tr><td rowspan="2">・人権問題指導者研修会</td><td>原市</td><td>11 月予定</td></tr><tr><td>畔吉</td><td>11 月予定</td></tr></table>		前期 (4～8 月)	夏休み 子ども教室	中期 (9～12 月)	後期 (1～3 月)	計	原市	6 事業	6 事業	6 事業	6 事業	24 事業	畔吉	6 事業	6 事業	6 事業	6 事業	24 事業	・教育委員会職員人権研修会		11 月予定	・人権問題指導者研修会	原市	11 月予定	畔吉	11 月予定
	前期 (4～8 月)	夏休み 子ども教室	中期 (9～12 月)	後期 (1～3 月)	計																						
原市	6 事業	6 事業	6 事業	6 事業	24 事業																						
畔吉	6 事業	6 事業	6 事業	6 事業	24 事業																						
・教育委員会職員人権研修会		11 月予定																									
・人権問題指導者研修会	原市	11 月予定																									
	畔吉	11 月予定																									
家庭教育活動の支援	幼稚園の保護者会等が企画・実施する講演会や講座に対し、補助金の交付により側面的に支援する。 ○家庭教育推進事業補助金 申請件数 1 件（5 月末現在）																										

若い世代向け講座・事業の実施	将来を担う子どもたちをはじめとした若い世代を対象とした事業を実施し、生涯学習についての理解を深めると同時に、自身の将来について向き合う機会を作る。 ○公民館講座 22 講座実施予定 ○二十歳のつどい（再掲） （再掲のため省略） ○子ども大学 下記項目参照。 ※その他、生涯学習事業に関わる機会の少ない中学生以上の世代に向けた事業を検討していく。																				
子ども大学	小学生を対象に、市内や近隣の大学、企業、有識者等と連携し、学校では普段学ぶことのできない専門的な分野を学習・体験する機会を提供し、子どもたちの知的好奇心を刺激するとともに、郷土愛を醸成し、自身の将来について考えるきっかけをつくる。 ○子ども大学あげお・いな・おけがわ 〈実行委員会：上尾市、桶川市、伊奈町、聖学院大学、日本薬科大学〉 <table><tr><th>開催日</th><th>会場</th><th>講義名</th></tr><tr><td rowspan="2">6 月 27 日 （土）</td><td rowspan="2">聖学院大学</td><td>入学式</td></tr><tr><td>みんなが安心して暮らせる街にするには？ ー福祉とソーシャルワークを学ぼうー</td></tr><tr><td>7 月 11 日 （土）</td><td>元荒川水循環センター</td><td>「水の中の世界をのぞいてみよう ー下水道と微生物のはたらきー」</td></tr><tr><td>7 月 25 日 （土）</td><td>聖学院大学</td><td>ソーシャルワーカーを体験しよう！ ースクールソーシャルワーカーになって考えてみようー</td></tr><tr><td>8 月 22 日 （土）</td><td>日本薬科大学</td><td>味覚の不思議 ー味覚を科学的に考えるー</td></tr><tr><td rowspan="2">8 月 29 日 （土）</td><td rowspan="2">日本薬科大学</td><td>放射線と放射能</td></tr><tr><td>修了式</td></tr></table> ○あげお子ども大学 10～12 月実施予定。	開催日	会場	講義名	6 月 27 日 （土）	聖学院大学	入学式	みんなが安心して暮らせる街にするには？ ー福祉とソーシャルワークを学ぼうー	7 月 11 日 （土）	元荒川水循環センター	「水の中の世界をのぞいてみよう ー下水道と微生物のはたらきー」	7 月 25 日 （土）	聖学院大学	ソーシャルワーカーを体験しよう！ ースクールソーシャルワーカーになって考えてみようー	8 月 22 日 （土）	日本薬科大学	味覚の不思議 ー味覚を科学的に考えるー	8 月 29 日 （土）	日本薬科大学	放射線と放射能	修了式
開催日	会場	講義名																			
6 月 27 日 （土）	聖学院大学	入学式																			
		みんなが安心して暮らせる街にするには？ ー福祉とソーシャルワークを学ぼうー																			
7 月 11 日 （土）	元荒川水循環センター	「水の中の世界をのぞいてみよう ー下水道と微生物のはたらきー」																			
7 月 25 日 （土）	聖学院大学	ソーシャルワーカーを体験しよう！ ースクールソーシャルワーカーになって考えてみようー																			
8 月 22 日 （土）	日本薬科大学	味覚の不思議 ー味覚を科学的に考えるー																			
8 月 29 日 （土）	日本薬科大学	放射線と放射能																			
		修了式																			

【 図書館 】

◆ 図書館事業

事業名	内容			
仮本館への移転に伴う蔵書の選定・移動	本館改修に伴う仮本館への移転にあたり、利用状況とニーズを考慮し蔵書を適切に選定・移動する。移転前後の業務については可能な限り利便性を確保し、図書館サービスの継続と円滑な運営に努める。			
読書推進のための啓発事業	より多くの市民が読書に関心を寄せ、図書館に来館することを促すため、秋の読書週間に合わせて、読書推進のための啓発事業を図書館ボランティアと協働して実施する。 ○令和 8 年 10 月～11 月実施予定			
おはなし会・えほんのじかん	2 歳から小学生を対象に、本の楽しさを伝えるため、昔話の語りや読み聞かせ等をボランティアの協力により実施する。 ※移転準備のため、令和 8 年度は 11 月末日で終了予定			
		会場	開催日程	対象
	おはなし会	本館 1 階 おはなしのへや	毎週土曜	・ 4 歳から小学 1 年生 ・ 小学 2 年生以上
		大谷公民館図書室	第 1・3 土曜	・ 小学生
	えほんのじかん	本館 1 階 おはなしのへや	第 3 除く火曜	・ 2 歳以上
		大石分館	第 2 土曜	・ 3 歳以上 ・ 小学生
		たちばな分館	第 3 土曜	・ 3 歳以上 ・ 小学生
※いずれも毎月開催				
夏休み事業	小学生を対象に、図書館の利用促進と読書への関心を高めることを目的として、図書館の仕事体験を実施する。 ○体験図書館員 会 場：本館 開催日：7 月 29 日、7 月 30 日午前の部・午後の部計 4 回 対 象：小学 5・6 年生			
あかちゃんおはなしかい	乳幼児を対象に、絵本等の楽しさを伝えるため、絵本の読み聞かせや手遊び・わらべうたなどを実施する。 ※移転準備のため、令和 8 年度は 11 月末日で終了予定 会 場：本館 2 階集会室 開催日：毎月第 3 火曜日 対 象：4 か月から 2 歳までの子と保護者			
映画会	良質な映画文化に親しむ機会を提供するため、映画会を開催する。 ※移転準備のため、令和 8 年度は 11 月末日で終了予定 ○子 ど も 映 画 会：年 2 回（予定） ○一般向け映画会：年 1 回（予定）			

図書のリサイクル	除籍図書・寄贈図書を一般市民に提供する。 ※参考：令和 7 年度実績 団体：2 月 12, 13 日実施 36 団体 1,560 冊（児童書） 個人：随時実施 年間 7,049 冊
レファレンスサービス	多様化する市民の課題解決に対応するレファレンスサービスなどの情報機能の強化・充実を目指す。 ○夏休み児童・青少年レファレンスタイムの実施 ○一般レファレンスデスクの実施 図書館本館 毎週火曜日 9 時～正午 ※移転準備のため、令和 8 年度は 11 月末日で終了予定 レファレンスサービスは随時受付
電子図書館サービスの拡充	非来館型サービスを充実するため、広報あげお、SNS、講座等により電子図書館サービスの利用者拡大を図る。 ○利用促進のための PR 活動（チラシの作成、配布等） ○電子図書館サービス使い方に関するマニュアルを本館及び各分館に設置
青少年サービス	読書離れといわれる青少年世代に対し、本への関心を促すための各種事業を展開する。 ○青少年向け電子書籍の収集 ○青少年向けの進路や社会生活に関する資料を収集
子どもの読書活動支援センター事業	『上尾市子どもの読書活動推進計画』（あげお子ども読書プラン）に基づき、家庭・地域・学校の読書活動の推進を図る。 ○あっぱいぶっくるセット本、えほんあっぱいぶっくる、学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセットの貸出 ○学校図書館支援員の指導や助言 ○読み聞かせボランティアの育成や技術向上のための事業の実施 ○家庭・学校・地域向け読書推進事業の実施
ブックスタート事業	絵本を活用した親子のふれあいや、乳幼児の早い時期から読書に親しむ環境づくりの一環として、4 か月児健診時に、あかちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを行い、絵本を配布する。
セカンドブック事業	文字が読めるようになり、知識を得る喜びに溢れる小学 1 年生を対象に、市内全小学校でおはなし会を行い、読んだ本などを記録できる「読書パスポート」を配布する。 ブックスタート事業の次のステップとして実施。 実施時期：5 月 27 日(水)～7 月 3 日(金)

(2) 令和8年度社会教育関係団体補助金一覧

補助金名称	事業内容	交付団体	交付対象額	交付額(予定)
ボーイスカウト 上尾市連絡協議会 補助金	上尾市在住の青少年に、ボーイスカウトの組織活動に加わることによって、自らの健康を築き社会に奉仕できる能力や人生に役立つ技能を体得させる。	ボーイスカウト 上尾市連絡協議会	188,000 円	162,000 円
文化団体連合会 補助金	上尾市内の文化団体相互の連絡調整を図り、個々の文化活動を育成するとともに、市民文化の向上と文化芸術の振興・発展充実のため諸事業を展開する。	上尾市文化団体 連合会	812,136 円	750,000 円
まなびすと指導者 バンク活動推進会議 補助金	多くの市民に幅広い分野での魅力的な学習機会を提供するため、まなびすと市民講座、ちょっとだけ体験広場を実施する。	まなびすと指導者 バンク活動推進会議	300,000 円	300,000 円

※各団体の申請書、事業計画、予算等の詳細については別冊資料2を参照。

(3) 第6次生涯学習振興基本計画指標策定に係る事業紹介について

今年度から施行の第6次生涯学習振興基本計画（計画期間：令和8年度～令和12年度）について、初年度で計画における指標を決定することとしている。

このことについて、指標検討のため、主な生涯学習課事業について紹介する。

①放課後子ども教室・・・資料3

②子ども大学・・・・・・資料4

※計画運用のイメージ

実施時期（予定）	生涯学習課	社会教育委員
令和7年 8月～	次年度事業の計画	
(略)		
第6次生涯学習振興基本計画開始		
令和8年 4月	8年度事業開始 7年度事業自己評価	
7月	社会教育委員会議 ・7年度事業、自己評価報告 ・指標案の検討 ほか	
		7年度事業点検評価
8月～	点検評価による事業改善 及び9年度事業の計画	
10月	社会教育委員会議 ・新指標案の検討 ほか	
令和9年 2月	社会教育委員会議 ・9年度事業計画報告 ・新指標の決定 ほか	
令和9年 4月～	9年度事業開始および新指標の施行 8年度事業自己評価	
7月	社会教育委員会議 ・8年度事業、自己評価報告 ほか	
		8年度事業 新指標による点検評価
8月～	点検評価による事業改善 及び10年度事業の計画	
(略)		
令和10年 11月	生涯学習アンケート実施	
(略)		
令和11年 7月	社会教育委員会議 第7次計画（仮）策定スケジュール検討 ほか	
(略)		
令和12年 4月	(略) 計画全体自己評価	
5月～ 6月	社会教育委員会議 ・計画全体自己評価報告 ほか	
		計画全体点検評価
	点検評価による事業改善を踏まえた 第7次計画（仮）の検討	
(略)		
第7次生涯学習振興基本計画（仮）開始		

※第6次上尾市生涯学習振興基本計画より抜粋（P.23）

【資料 関係法令】

○社会教育法（抜粋）

（昭和二十四年六月十日法律第二百七号）

第三章 社会教育関係団体

（社会教育関係団体の定義）

第十条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

（審議会等への諮問）

第十三条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和二十三年法律第百二十号）第八条に規定する機関をいう。第五十一条第三項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

第四章 社会教育委員

（社会教育委員の設置）

第十五条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

第十六条 削除

（社会教育委員の職務）

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、左の職務を行う。

一 社会教育に関する諸計画を立案すること。

二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

第十八条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

○上尾市社会教育委員に関する条例

(昭和49年7月1日条例第36号)

(設置)

第1条 社会教育法(昭和24年法律第207号)第15条第1項の規定に基づき、上尾市社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

2 社会教育法第18条に規定する委員の委嘱の基準、定数及び任期については、この条例の定めるところによる。

(委嘱の基準)

第2条 委員は、次に掲げる者の中から、上尾市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

(定数)

第3条 委員の定数は、15人以内とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 第2条第1号及び第2号に掲げる委員は、委嘱された時における当該身分を失ったときは、その職を失う。

3 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、委員の任期中においても、これを解嘱することができる。

4 委員は、再任されることができる。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、委員に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 上尾市社会教育委員設置条例(昭和35年上尾市条例第2号)は、廃止する。

附 則(平成12年条例第2号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成12年条例第7号)抄

この条例は、平成12年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第5条及び第9条の規定 平成12年7月1日

附 則(平成26年条例第5号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○上尾市社会教育委員会議運営規則

(平成26年8月22日教委規則第15号)

上尾市社会教育委員会議運営規則（昭和35年上尾市教育委員会規則第1号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、上尾市社会教育委員に関する条例（昭和49年上尾市条例第36号）第5条の規定に基づき、上尾市社会教育委員（以下「委員」という。）の会議（以下単に「会議」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（議長及び副議長）

第2条 会議に、議長及び副議長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 議長は、会務を総理し、会議を代表する。

3 副議長は議長を補佐し、議長に事故のあるときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 会議は、議長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第4条 会議の庶務は、教育総務部生涯学習課において処理する。

（委任）

第5条 この規則に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、議長が会議に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年教委規則第5号）

1 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号。次項において「改正法」という。）の施行の日（平成27年4月1日）から施行する。

（経過措置）

2 改正法附則第2条第1項の場合においては、改正後の上尾市社会教育委員会議運営規則の規定は適用せず、改正前の上尾市社会教育委員会議運営規則の規定は、なおその効力を有する。

別冊資料 1

令和 8 年度公民館事業予定

目次

令和 8 年度公民館講座事業〔事業分類・生涯学習振興基本計画による体系〕・・・・・・・・ 1

令和 8 年度公民館事業計画 上尾公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

上平公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

平方公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

原市公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

大石公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 0

大谷公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 2

令和8年度公民館講座事業[事業分類・生涯学習振興基本計計画による体系]

令和8年度公民館 事業計画分類表 講座数 合計 142講座		世代別講座	一般教養講座	文化財・歴史講座	文化芸術講座	家庭生活講座	課題別講座	産官学民との連携講座	庁内他課との連携講座	人権講座	健康・スポーツ講座	成果の発表	ICTの活用・推進	若い世代向け
公民館名		29	25	8	24	26	13	18	4	5	28	7	6	23
1	上尾公民館 計21講座	4	4	2	3	5	4	4	1	1	6	1	1	4
2	上平公民館 計27講座	6	5	2	6	8	3	5	0	1	8	2	2	5
3	平方公民館 計23講座	6	4	1	5	5	2	3	0	1	5	1	1	4
4	原市公民館 計23講座	5	4	1	3	2	2	3	1	1	3	1	1	4
5	大石公民館 計21講座	4	4	1	4	4	1	1	0	0	4	1	0	3
6	大谷公民館 計21講座	4	4	1	3	2	1	2	2	1	2	1	1	3

第6次上尾市生涯学習振興基本計画における、講座事業分類

○講座事業分類

事業名	事業の概要
世代別講座	未就学児、学生、社会人、親子、高齢者等、参加者の年代のニーズに合わせた講座を実施します。
一般教養講座	人文科学・社会科学・自然科学等、広く物事の基礎とされる一般教養を学ぶ講座を実施します。
文化財・歴史講座	文化財や歴史を学び、過去の文化や社会などを知ること、現代が抱える問題や未来社会を考えるきっかけとなる講座を実施します。
文化芸術講座	美術や音楽等、文化芸術を身近に感じられるための講座を実施します。
家庭生活講座	手芸・料理など、生活文化を向上させ、普段の日常に潤いをもたらすことに繋げる講座を実施します。
課題別講座（新）	多文化共生、少子高齢化、障害等、社会や家庭、個人が抱える多様化した様々な課題についてを学ぶ講座を実施します。
産学官民との連携講座	高校、専門学校、大学等の教育機関や民間企業、任意団体等と連携し、それぞれの特色を生かした学習機会を提供する講座を実施します。
庁内他課との連携講座	上尾市の職員による、専門知識・技術・人材を生かした講座を実施します。
人権講座	様々な人権問題の認識と理解を深めるための講座を実施します。
健康・スポーツ講座	市民の健康意識の醸成を図り、心身ともに健康で元気な健康長寿社会の実現のため、健康やスポーツに関わる講座を実施します。

令和8年度 上尾公民館事業計画

NO	事業名	時期	事業のねらい・内容
世代別講座			
1	親子で学ぶ「お金」のはなし	7月	「人生100年時代」を生きる子どもたちが、自助努力で将来に備えられるよう親子で金融リテラシーを学ぶ。
2	夏休み子ども教室～ガラスサンドアートを作ろう～	7月	多くの砂の中から好きな色の砂を選び、ガラスに砂を重ね細かい作業を行うことでもののづくりの楽しさを学ぶ。
3	夏休み子ども教室～ダンスを踊ろう！～	8月	ダンスの基礎を学ぶとともに、踊る楽しさを体験する。
4	カラー粘土で自分だけの貯金箱を作ろう	8月	カラー粘土を使った造型の楽しさを体験し創造力を養う。
一般教養講座			
1	災害に備えるための地図とその活用	5月	国土地理院の専門家による講義で、災害に備えるための地図の見方やスマホの活用などを学ぶ。
2	文学講座「徒然草」	10月	古典文学の随筆「徒然草」を学ぶ。
3	上尾周辺地域の歴史を学ぶ	11月	国指定史跡黒浜貝塚を題材に縄文海進について学ぶ。
4	春の和菓子をつくる	2月	季節にちなんだ和菓子をつくることで、日本の伝統食文化を学ぶ。
文化財・歴史講座			
1	埼玉の城館とその歴史	10月	埼玉の城館の歴史を学ぶとともに、埼玉の城館の特性を理解する。
文化芸術講座			
1	ギターコンサート	10月	名曲の数々で、幅広いジャンルを綴る。
2	和の香りに親しむ	1月	お香についての知識を学び、オリジナルの匂い袋を作る。

家庭生活講座			
1	クラフトバンドでバッグを作ろう	7月	クラフトバンドを使い、オリジナルのバッグを作る。
2	プリザーブドフラワーでオシャレな仏花	7月	プリザーブドフラワーを使った仏花とメモリアルフラワーのアレンジメント。
課題別講座			
1	脳と身体を楽しく使って認知症・フレイル予防！	6月	脳トレと運動を組み合わせたエクササイズで、認知症・フレイルを予防、健康寿命の延伸につなげる。
産学官民との連携講座			
1	薬と健康	11月	日本薬科大学と連携し、薬と健康について専門家の講義で学ぶ。
2	脳のはたらきと私たちの健康	2月	人間総合科学大学と連携し、脳のはたらきを理解するとともに、健康との関連を学ぶ。
庁内他課との連携講座			
1	わたしノート(医療・介護連携ノート)の書き方	11月	安心して医療や介護を受けるため自分の情報を家族や支援者と共有するノートの書き方を学ぶ。
人権講座			
1	ジェンダー視点から考える防災・減災	2月	ジェンダーの視点から防災・減災の必要性や日ごろの備えについて学ぶ。
健康・スポーツ講座			
1	骨盤底筋トレーニングヨガ教室	7月	骨盤底筋を鍛えることで、女性特有の疾患の予防や改善などの効果が期待できる。
2	のどを鍛える健康声磨き	10月	声磨きが誤嚥予防・介護予防・健康づくりにつながることを理解し、のどを鍛える大切さを学ぶ。
グループ交流事業			
1	第49回上尾公民館まつり	6月	公民館利用サークルの活動の成果を発表する機会を提供し、地域住民との交流を図る場とする。

令和8年度 上平公民館事業計画

NO	事業名	時期	事業のねらい・内容
世代別講座			
1	デコパージュでバック作り	7月	デコパージュでかわいいバックを作る。
2	夏休み子ども教室 ～ガラスドームランプを作ろう～	7月	低学年の小学生を対象に、クラフトタイルを使ったオリジナルガラスドームランプを作る。
3	夏休みプログラミング教室	8月	プログラミング言語”スクラッチ”で、ゲームを作る。
4	グラスサンドアート ～ハロウィン～	10月	ハロウィンをイメージしたグラスサンドアートを作る。
5	脳トレ ～新聞活用術～	2月	高齢者対象に、新聞のコラム等を活用し、書く、読む、考えるを実践し、脳の活性化を図る。
6	AIを活用してみよう ～スマホ編～	3月	高齢者には手が出しづらいAIも覚えれば、すぐ生活の役に立つことをスマホを使って学ぶ。
一般教養講座			
1	多肉植物寄せ植え講座	10月	多肉植物の種類、育て方、増やし方を学び、寄せ植えを作る。
2	初心者のための囲碁教室	10月	普段の生活の中で触れることの少ない伝統文化である囲碁を学ぶ。
3	骨・カルシウムセミナー	1月	骨に欠かせないカルシウムなどの栄養素や、骨の健康を維持するポイントを学ぶ。
文化財・歴史講座			
1	考古学講座 ～遺跡から窺い知る縄文人の生活～	12月	大宮台地上に分布する縄文遺跡(中期)から縄文人の生活を窺い知るとともに、埋蔵文化財発掘調査の方法を学ぶ。
2	後北条家と埼玉の城址	2月	戦国時代後期埼玉を支配し、特徴ある多くの城を残した後北条家と埼玉の関わりを学ぶ。
文化芸術講座			
1	筆ペン講座 ～美文字を身につけよう～	11月	書くことの楽しさを通して、きれいなバランスの取れた文字を学ぶ。
2	金つぎを体験してみよう	12月	壊れてしまった大切な陶器を自分の手で蘇らせる金継ぎを体験する。
3	オカリナコンサート	2月	オカリナ奏者とオカリナグループとのコラボレーションを通して、オカリナの持つ音の響きや美しさを楽しむ。

家庭生活講座			
1	まるで本物みたいなスイーツソーブ講座	7月	パティシエ気分を楽しみながら、かわいいケーキソーブを作る。
2	アメリカンフラワー講座 ～暮らしに彩りを～	10月	クリスタルガラスの様な質感のアレンジフラワーで、日々の生活に彩りをそえる。
3	和菓子で楽しむクリスマス	12月	クリスマスにちなんだ、練り切り（和菓子）を作る。
課題別講座			
1	調理実習	9月	食生活改善協議会上平支部との共催で、健康に配慮した調理を学ぶ。
産学官民との連携講座			
1	明治安田生命出張講座 ～「睡眠」と「健康」の知恵袋～	8月	睡眠についての正しい知識を知り、よりよい睡眠をとるためポイントを学ぶ。
2	ストレスコーピング	9月	目の前のストレスにその都度どう対処するかを学ぶ。
3	特殊詐欺被害防止 ～ワークショップ講座～	3月	県政出前授業を利用して、オレオレ詐欺や特殊詐欺の最新の手口や被害情報などを学ぶ。
人権講座			
1	あなたの権利を守る ～自筆証書遺言書保管制度を知る～	10月	令和2年7月から開始された自筆証書遺言書保管制度について学ぶ。
健康・スポーツ講座			
1	ポールウォーキング講座	5月	エネルギー消費量が高く、効果的な有酸素運動を安全に楽しめるポールウォーキングを学ぶ。
2	女性のためのリフレッシュヨガ	9月	呼吸、姿勢、瞑想を組み合わせ、心も体もリラックスさせる。
3	ボクササイズにチャレンジ	10月	短時間でカロリー消費ができるボクササイズを体験する。
グループ交流事業			
1	作品展示発表会	11月	公民館活動グループが生涯学習活動で得られた成果を発表する場として、作品展示会を開催する。
2	音楽グループコンサート	11月	公民館活動グループが生涯学習活動で得られた成果を発表する場として、音楽グループコンサートを開催する。

令和 8 年度 平方公民館事業計画

NO	事業名	時期	事業のねらい・内容
世代別講座			
1	子どもアート	8月	子どもたちに楽しみを伝えながら創作意欲を育む
2	ドローン教室	8月	ドローンを使用するための規則や注意点を学び、実際に操作を体験する
3	ダンボールクラフト	8月	組立方法を自分で考えることで、モノづくりの楽しさと喜びを体験する
4	脳トレ健康麻雀	6月	健康的に賭けない麻雀で脳を活性化させる
5	A I 講座	7月	「A I とは何か」基本を学び、日常で便利に楽しく使うコツを身につける
一般教養講座			
1	親子でブルーベリー	7月	親子でブルーベリーを摘んでケーキを作る
2	気象講座	10月	最新の気候・気象を学び生活の備えを知る
3	古典・文学講座	12月	古典・文学の名場面をひも解きながら学ぶ
文化財・歴史講座			
1	歴史講座	5月	平方地域の遺跡について学ぶ
文化芸術講座			
1	四季を歌おう	5/9/12月	春夏秋冬に想いを寄せて、歌いながら心身ともにリフレッシュする
2	美術講座	2月	美術に触れる時間を創出することで芸術に触れるきっかけをつくる
3	落語講座	2月	日本の伝統的話芸である古典落語を楽しむ

家庭生活講座			
1	着物リメイク	10月	箆笥に眠っている着物をリメイクして、ベストやバッグ、ポシェットを作る
2	編み物教室	11月	手編みのあったかグッズを作る
3	そば打ち教室	11月	日本の伝統食文化の一つである「そば」を自分で打つ
課題別講座			
1	地域防災講座	9月	「風水害24」風水害発生時に適切な判断や行動をするための知識や行動指針を学ぶ
2	相続・終活講座	3月	よりよい未来のための「そうぞく」「ライフ&エンディング」について考える
産学官民との連携講座			
1	食改コラボ教室	10月	平方地区の食生活改善推進協議会と連携して食を学ぶ
2	薬膳講座	1月	簡単に手に入る食材で作る薬膳を学びながら料理を作る
人権講座			
1	人権講座	12月	近年の社会問題となっている諸課題に焦点をあてて自己啓発につなげる
健康・スポーツ講座			
1	スポーツ吹き矢教室	11月	初心者のためのスポーツ吹き矢を習い、健康増進につなげる
2	バランスボール	1月	日常的に手軽に続けられるエクササイズを習い、体幹を強化しながら基礎代謝の向上につなげる
グループ交流事業			
1	展示会・発表会	11月	公民館利用サークルの活動と成果を発表する機会として展示会・発表会を開催する

令和8年度 原市公民館事業計画

NO	事業名	時期	事業のねらい・内容
世代別講座			
1	夏休み子ども紙すき教室	7月	楮（こうぞ）を原料にした手すき和紙に押し花やビーズをはさみ、自分だけの和紙を作る。
2	夏休み子ども教室～プラモデルを作ろう～	8月	プラモデルの部品を一つ一つ組み立てていき、自分の手で完成品を作り上げることを通し楽しく学習する。
3	夏休み親子でクッキング～暑さに負けない旬レシピ～	8月	今が旬の食べ物について学び、親子で夏を元気に過ごすランチメニューを作る。
4	親子パン教室	1月	親子で協力しながら、おいしいパンを作る。
5	シニア向けスマートフォン教室	3月	スマートフォンに慣れていない高齢者が基本的な操作方法を学ぶ。
一般教養講座			
1	はじめてのNISA 将来に向けて知っておきたいお金の話	7月	預金と投資の違いからリスクを抑えるための考え方、制度を活用した資産形成の新少額投資非課税制度（NISA）について学ぶ働く世代の金融リテラシー講座。
2	文学講座 辞世の和歌・俳句から武将や偉人の人生を知る	10月	戦国時代の武将や偉人を取り上げ、辞世の句からその人物の人物や作品など、解説を交えて学ぶことで古典文学の学習意欲を高める。
3	落語講座 ～はらいち寄席～	11月	日本の伝統的な話芸である古典落語の魅力を知り、これを楽しむことにより心を豊かにする。
4	文学に見る小栗上野介忠順	2月	最後の幕臣と呼ばれた小栗上野介忠順を紀行文とともにたどる。
文化財・歴史講座			
1	日本の城の歴史	4月	古代から近世に至る城郭の変遷について、その歴史文化を学ぶ。
文化芸術講座			
1	ちりめん細工で招き猫作り～江戸時代の伝統を現代へ～	9月	江戸時代後期に広まったちりめん細工で、開運招福を願い愛らしい招き猫を作る。
2	歌唱講座	10月	誰もが知っている童謡や愛唱歌を歌い、心身のリフレッシュを図る。
3	伝統工芸「組み紐」	1月～2月	組み紐の歴史と基本的な技法を学び、オリジナルキーホルダーを作る。

家庭生活講座			
1	冬にうれしい手作り石けん～肌がよるこぶしっとり感～	11月	体に優しい素材を使って、保湿効果のある石けんを作る。
2	木目込人形体験	11月	木目込の技法を学び、干支の未（ひつじ）の置物を完成させる。
課題別講座			
1	原市日本語教室	通年	外国籍市民を対象とした実践的な日本語学習教室（原市日本語ボランティアサークルへの委託事業）
産学官民との連携講座			
1	からだのなかから元気に いきいき血管講座	6月	つまりや破れの原因となり、ひいては命にかかわる病気にもつながる血管の衰え。体からのサインを見逃さず、血管を元気にきれいに保つ生活を送るヒントを学ぶ。
2	日本薬科大学連携講座	2月	日本薬科大学と連携し、健康についての専門家を招き健康維持に役立つ講義を実施する。
庁内他課との連携講座			
1	食改との連携講座	12月	食生活改善推進員協議会原市地区との共催で実施し、食への関心を高め、料理を味わい楽しむ。
人権講座			
1	人権講座	9月	性別違和を抱えるマジシャンによるマジックを取り入れながら多様性について話しを聞く。
健康・スポーツ講座			
1	ココロとカラダを整える やさしい気功体操	5月～6月	中国に伝わる体内の気と血の巡りを良くする健康法を取り入れた体操を学び、病気の予防や健康維持につなげる。
2	快眠×こころの健康！眠りの質を高める実践講座	9月	心身ともに健康のために大切な睡眠について学ぶ。
グループ交流事業			
1	原市公民館活動サークル作品展示・発表会	3月	公民館利用サークルの活動成果の発表と地域住民との交流を図る。

令和 8 年度 大石公民館事業計画

NO	事業名	時期	事業のねらい・内容
世代別講座			
1	ホリデートレイン	7月	鉄道模型入門講座
2	夏休み紅花染め体験	8月	小学生を対象に、布と和紙を染める体験をする
3	こども図工教室	8月	夏休みの思い出に創作体験をして、ものづくりに興味を持つきっかけをつくる
4	書初め教室	12月	日本の伝統文化である書に向かい、真摯に書道を学ぶ
5	終活講座	9月	自分らしい最後を迎えるための知識などを学ぶ
一般教養講座			
1	故事成語、ことわざ、四字熟語の面白い話	1月	古代中国の出来事や伝説、古典文学を基にした言葉を学び、教訓とする
2	自然環境	10月	環境やみどりの保全、創出活動について学ぶ
3	写経会	10月	仏教の経典を書き写し、仏の教えに触れ、心の平安を得る
文化財・歴史講座			
1	文化財ウォーク	12月	まちを歩きながら地域の歴史と文化財を学ぶ
文化芸術講座			
1	陶芸教室	6月	手ごねでカップ、皿などを作る
2	生け花教室	3月	お正月に向けて花を生ける
3	フォークギター教室 (初中級編)	10月	令和7年度好評だった初級ギター教室の初中級編
4	大石ふれあいコンサート	11月	歌謡曲からJ-POPなど吹奏楽の生演奏で楽しむ

家庭生活講座			
1	配色サービス絵手紙の会	9月	絵手紙を書く
2	みそ作り	2月	埼玉県産の大豆と米を使い、まろやかな味噌を作る
3	そば打ち体験	12月	そばを打ちを体験して、日本の伝統的な食文化に触れる
産学官民との連携講座			
1	食生活講座	10月	健康で豊かな食生活を送る方法を学ぶ
人権講座			
1	県政出前講座、男女共同参画	2月	あらゆるジェンダーの視点を取り入れる
健康・スポーツ講座			
1	筋力作りとストレッチ	9月	日中に働いてる人へ、夜間に和室でゆったりストレッチをする機会をつくる
2	健康体操	11月	笑顔で元気に過ごせるように、運動する習慣を身につける
グループ交流事業			
1	大石公民館文化フェス	6月	大石公民館で活動するサークルの成果の発表や展示など

令和8年度 大谷公民館事業計画

NO	事業名	時期	事業のねらい・内容
世代別講座			
1	夏休み！UDトラックス で見て乗って体験しよう♪	8月	市内企業UDトラックスでトラック製造の歴史を学び、乗降・テストコース走行等を体験する
2	夏休み子ども折り紙教室～合体ロボットを折ろう～	7月	ツルの折り方を応用して、ヘッドパーツとレッグパーツを折り、立体的な合体ロボットを作る
3	夏休み体験教室～はじめての昆虫標本づくり～	7月	標本用の冷凍カブトムシを使って、図鑑では分からない立体的な昆虫の形態を学び、昆虫標本づくりを体験する
一般教養講座			
1	成り立ち・読み・四字熟語で学ぶ漢字の魅力	6月	漢字の成り立ちや歴史、難読漢字の背景と読み解くコツを紹介し、論語に由来する四字熟語を取り上げ、現代での意味・使い方を学ぶ
2	シルクロードを踏破して	3月	中国～イタリア間15,000kmを自転車の旅で見た世界の民の生活ぶりを知る
3	十二単が語る物語～平安時代の文学と文化を知る～	9月	「蜻蛉日記」を取り上げ、平安時代の文学と文化について学び、寝殿造りや十二単など平安の美しい文化も図版とともにその魅力を味わう
4	陶芸教室	1～3月	皿や茶碗の作り方、焼き方を学び、陶芸の魅力を味わう
文化財・歴史講座			
1	古事記と日本書紀	1月	『古事記』『日本書紀』に記された神話・伝承を比較して二つの書の差異を確認し、それぞれの書の特徴を学び、上代文学の世界を理解する
文化芸術講座			
1	新緑の中でゴッホと共に～ゴッホの名画の読み方・楽しみ方を学ぶ～	5月	上野の森美術館で開かれる「大ゴッホ展」に因み、名画からゴッホの生涯や心情、作品の歴史的背景を読み解く
2	はじめてのオカリナ～手作りオカリナで奏でる癒しの世界～	10～12月	オカリナの絵付けを通して手作業ならではの喜びと達成感を体験し、自作したオカリナを演奏して楽器と触れ合える機会を提供する
3	オカリナクリスマスコンサート	12月	オカリナによるクリスマスコンサート

家庭生活講座			
1	初夏を楽しむ編み物教室～かぎ針で編もう～	5月	夏向けの糸を使い、モチーフ編みでバッグを作る
2	季節の練り切り	10・2月	四季の移ろいを和菓子で表現した「練り切り」をその季節ごとに学ぶ
課題別講座			
1	らくらくAI入門～初めてでも安心！便利な活用術～	6月	日常生活の中で、身近にあるAI機能の理解を深めることにより、豊かなシルバー生活の創造を図る
産学官民との連携講座			
1	イギリス文化講座	9・10月	聖学院大学と連携し、イギリス文学に描かれる背景を学ぶ
庁内他課との連携講座			
1	食育に関する講座（郷土料理）	11月	食生活改善推進員協議会と共催で食と健康に関する調理実習を行う
2	環境に関する講座	2月	環境政策課と共催で環境に関する講座を行う
人権講座			
1	人権に関する講座	9月	人権への理解を深める
健康・スポーツ講座			
1	ZUMBA GOLD	5月	初心者も無理なく取り組めるダンスフィットネスプログラム「ZUNBA GOLD」で音楽に合わせて体を動かす
2	「べんがん」って何？	11月	中国の棒術・鞭杆（べんがん）の動作と技法を習い体幹を鍛え健康増進を図る
グループ交流事業			
1	サークル活動発表会	10月	大谷公民館の登録団体が日頃の成果を発表するとともに、サークル活動に興味のある市民との交流を図り、来場された方に参加してもらうきっかけを作る

別冊資料 2

社会教育関係団体補助金申請書等

目次

ボーイスカウト上尾市連絡協議会補助金	1
文化団体連合会補助金	4
まなびすと指導者バンク活動推進会議補助金	8
（参考）上尾市補助金等交付規則	13
（参考）上尾市社会教育関係団体補助金交付要	27

第1号様式（第5条関係）

補助金等交付申請書

令和8年6月10日

上尾市長 畠山 稔 様

申請者

住所又は所在地 氏名又は団体名 及び代表者氏名
 [REDACTED] ボーイスカウト上尾市連絡協議会
 会長 須賀 聡

上尾市補助金等交付規則第5条第1項の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	令和8年度	補助金等の名称	上尾市社会教育関係団体補助金 (ボーイスカウト上尾市連絡協議会補助金)
補助事業等の目的及び内容	ボーイスカウト活動を通して青少年の健全育成を図るための各種事業計画の実施		
補助事業等の効果	上尾市内の青少年の健全育成		
補助事業等の経費所要額	188,000円	交付申請額	162,000円
補助事業等の着手年月日(予定)	令和8年4月1日	補助事業等の完了年月日(予定)	令和9年3月31日
添付書類	☒ 事業計画書 ☒ 収支予算書 ☒ 前年度決算書 ☐ 工事実施設計書 その他 ()		
※担当課処理欄			

注 ※印の欄は記入しないこと。

用紙寸法 日本工業規格A列4番

令和8年度 上尾市連絡協議会一般会計収支予算(案)

自 令和8年4月1日

至 令和9年3月31日

◎ 収入の部

単位:円

項 目	予 算 金 額	説 明
1 団体会費	133,200	
1 上尾市連絡協議会	52,200	当初(前期)登録者:400円×130人 後期登録者:200円×10人
2 むさし地区協議会	81,000	当初(前期)登録者:600円×130人 後期登録者:300円×10人
2 補助金	162,000	
1 補助金	162,000	上尾市補助金
2 助成金	0	
3 行 事 費	0	
1 各団負担金	0	
4 雑 収 入	901	
1 雑 収 入	901	
6 繰 越 金	7,899	
1 繰 越 金	7,899	
合 計	304,000	

◎ 支出の部

単位:円

項 目	予 算 金 額	説 明
1 事 業 費	260,000	
1 上尾市連絡協議会活動費	10,000	合同イベントほか
2 むさし地区協議会活動費	81,000	むさし地区協議会活動費 (50Kmハイキング、パトローリー、定型外 訓練ほか)
3 加盟団体運営補助	169,000	(関節補助内訳) 上尾1団:29,000円、上尾4団:50,000円、 上尾9団:49,000円、上尾13団:41,000円
2 総 務 費	5,000	
1 総 務 費	5,000	消耗品費、印刷製本費ほか
3 会 議 費	2,000	
1 会 議 費	2,000	
4 渉 外 費	5,000	
1 渉 外 費	5,000	慶弔費
5 旅費・交通費	1,000	
1 旅費・交通費	1,000	
6 周年行事・全国大会等特別行事準備金	30,000	
1 周年行事・全国大会等特別行事準備金	30,000	特別会計ハ
7 予 備 費	1,000	
1 予 備 費	1,000	
合 計	304,000	

対象外(上位団体の活動負担金)

対象外

対象外

※ 加盟団体運営補助は、各団体において以下の勘定科目に使用すること。また、年度終了後に科目ごとの決算額を報告すること
(旅費、消耗品費、印刷製本費、使用料及び賃借料、備品費)

令和8年6月25日

ボーイスカウト上尾市連絡協議会

会 長 須 賀 聡

304,000-(81,000+5,000+30,000)=188,000(補助対象額)

令和8年度上尾市連絡協議会事業計画（案）

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

月	連絡協議会	地 区	行事・講習会等	日連・県連
4	・緑の羽根募金（担当：上尾各団）	08 名誉会議【地区表彰】 15 委員会 25 県連年次総会県連合同準備委員会・ 会場下見 29 会計監査		04 理事会/県連年次総会準備委員会 25 県連年次総会地区合同準備委員会・ 会場下見
5	・理事会	02 19NSJ5隊結隊式・保護者会 03-04 19NSJ5隊第1回訓練キャンプ 17 年次総会 20 委員会		03-06 WB研修所SC埼玉17期 6 宗教章（仏教章）講習会 9 理事会 30.31 全国大会/県連代表者会議 下旬～6月上旬 宗教章（仏教章）講習 会 本山参拝
6	・会計監査 ・年次総会	07 県連年次総会/一般社団法人県連社 員総会 10 全国防災キャラバン第1回実行委員 会 17 委員会		06 理事会 07 県連盟年次総会/富士・隼・菊スカ ウト顕彰会/19NSJ県連壮行会 21 WB研修所課程別埼玉14回 21 R S部門活性化セミナー
7		15 委員会 18-20 19NSJ5隊第2回訓練キャンプ ・全国防災キャラバン第2回実行委員会	12 第1回定型外訓練「C Sへのスムーズ な上進について」	4 理事会 11 関東ブロック会議
8			04-10 第19回日本スカウトジャンボリー 23 第2回定型外訓練「プロジェクト事例 研究会Part2」	
9		06 全国防災キャラバン 21 スカウトの日（各団） 16 委員会	21 スカウトの日（各団）	05 理事会（浦和合同庁舎） 20-23 WB研修所SC埼玉18期 21 スカウトの日（各団） 23 県連スカウトフォーラム 27 特別な配慮が必要なスカウトに関す るセミナー
10	・理事会 ・赤い羽根共同募金（担当：上尾13団）	21 委員会	26 県ボーイスカウト講習会（北武地区 担当）	03 理事会 10-12 コミベーシック関東6期 18 WB研修所課程別埼玉15回
11	・上尾シティハーフマラソン奉仕 ・上尾市青少年健全育成推進大会奉仕	18 委員会	01 第3回定型外訓練「ロープ結びに興味 をもってもらおう」 29 北ブロックセーフ・フロム・ハーム セミナー基本編【むさし地区担当】	07 理事会 14-15 コミ任務別研修関東6期 21-23 第26回全国スカウトフォーラム 29 組織活性・拡大セミナー
12	・ぐるっとくん地域めぐり作戦 ・歳末助け合い募金（担当：上尾1団）	16 委員会	07 第17回地区パトローリー	05 理事会 12 関東ブロック会議
1		20 委員会 ・名誉会議【日連表彰】	17 セーフ・フロム・ハームセミナー実 践編【北武地区担当】 31 第4回定型外訓練「ボーイ部門（内容 未定）」	09 理事会 24 県連スカウトアフターフォーラム 30 県連代表者会議・日連賀詞交歓会
2	・理事会	17 委員会 17 登録審査 ・名誉会議【日連・県連表彰】	・いきいきフォトコンテスト	06 理事会 06 県連育成会合同賀詞交歓会 07 PWD県大会 21 トレーナー研究集会【埼玉県連担 当】
3		17 委員会	07 県ボーイスカウト講習会【むさし地 区担当】 14 第5回定型外訓練「団を取り巻くコ ミュニケーション」 28 第18回50kmハイク	06-07 関東ブロック会議 06 BSA-PWD 07 VSプロジェクト発表会 13 理事会 21-22 コミ任務別研修団担当関東2期 ・富士代表表敬

令和8年度 上尾市連絡協議会重点目標

- 1 各団の活動の充実と組織の拡大を図る
- 2 楽しいプログラムの展開ができる魅力ある指導者の発掘と養成を実施する
- 3 スカウトの進歩・進級に対し、積極的に推進する
- 4 地域社会との連携強化を図る（市イベント奉仕含む）

第1号様式（第5条関係）

補助金等交付申請書

令和8年6月9日

上尾市長 畠山 稔 様

申請者

住所又は所在地
氏名又は団体名 上尾市文化団体連合会
及び代表者氏名 会長 横堀 鶴雄

上尾市補助金等交付規則第5条第1項の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	令和8年度	補助金等の名称	上尾市社会教育関係団体補助金 (上尾市文化団体連合会補助金)
補助事業等の 目的及び 内容	上尾市内文化団体の文化芸術活動の育成及び連絡調整を図り、総合的な力で 上尾市民芸術文化の向上に努める。 上尾市民の文化芸術振興、発展充実のため諸事業を展開するものである。		
補助事業等 の効 果	加盟団体の活動の充実発展、会員資質の一層の向上、更に上尾市民文化振興 のための公演、展示、講演会等。啓発奨励、調査研究、資料収集など多大な効果 が期待できる。		
補助事業等 の経費所要 額	812,136円	交付申請額	750,000円
補助事業等 の着手年月日 (予定)	令和8年4月1日	補助事業等の完了 年月日(予定)	令和9年3月31日
添付書類	☒ 事業計画書 ☒ 収支予算書 ☒ 前年度決算書 ☐ 工事実施設計書 その他(役員名簿)		
※担当課処理欄			

注 ※印の欄は記入しないこと。



(第5号議案)

令和8年度予算(案)

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

収入の部

(単位:円)

目	節	前年度決算額	本年度予算額	比較増減	備考
会費	年会費	40,000	25,000	△ 15,000	年会費5,000x5団体
	賛助会費	60,000	70,000	10,000	賛助会費7口
補助金	補助金	750,000	750,000	0	上尾市補助金
事業収入	事業収入	0	0	0	ステージ代
雑収入	雑収入	574	600	26	銀行利子
繰越金	繰越金	1,153	1,536	383	前年度からの繰越金
合計		851,727	847,136	△ 4,591	

支出の部

(単位:円)

目	節	前年度決算額	本年度予算額	比較増減	備考
	文化芸術祭費	463,711	470,000	6,289	文化芸術祭プログラム・ポスター・会場費・他
	会報印刷費	149,600	150,000	400	文化あげお
	文化振興会議費	23,000	25,000	2,000	文化振興の集い・交通費
運営費	会議費	16,600	20,000	3,400	役員会・総会等の会場代・他
	事務費	80,448	35,000	△ 45,448	封筒印刷・事務用品・コピー・他
	通信費	23,950	25,000	1,050	切手・はがき・他
	渉外費	0	10,000	10,000	参加補助費・他
	雑費	17,682	20,000	2,318	お礼品代・花代・他
	交通費	12,000	15,000	3,000	県教育委員会・他
	慶弔費	0	5,000	5,000	
表彰費	表彰費	13,200	15,000	1,800	表彰者氏名の筆耕料
備品購入費	備品購入費	0	0	0	
準備金	記念事業準備金	30,000	30,000	0	創立50周年記念事業
負担金	負担金	20,000	20,000	0	(一社)埼玉県文化団体連合会年会費
予備費	予備費	0	7,136	7,136	
合計		850,191	847,136	△ 3,055	

以上のとおり提案します

令和8年6月4日

上尾市文化団体連合会

会長 横堀 鶴雄

$$847,136 - 35,000 = \underline{\underline{812,136}}$$

(第4号議案)

令和8年度 上尾市文化団体連合会事業計画 (案)

令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年

年月日	曜	事業内容	会場
4月5日	日	・理事会 ①令和7年度総会について ②会則改定について	上尾公民館403室
4月15日	水	・会計監査	上尾公民館403室
4月28日	火	・理事会 ①上尾相撲甚句会の加入について ②会則改定について ③埼玉県文化団体連合会総会について	上尾公民館403室
5月23日	土	・理事会 ①総会について ②会則改定について	上尾公民館502室
5月30日	土	・理事会 ①総会について ②会則改定について	上尾公民館501室
6月4日	木	・令和8年度「定期総会」	上尾公民館401室
7月		・理事会・文化芸術祭実行委員会(第1回) ①令和8年度第42回上尾市文化芸術祭について	
8月		・理事会・文化芸術祭実行委員会(第2回) ①令和8年度第42回上尾市文化芸術祭について	
9月		・理事会・文化芸術祭実行委員会(第3回) ①令和8年度第42回上尾市文化芸術祭について ・第42回上尾市文化芸術祭プログラムの配布	
10月		・理事会 ①令和8年度第42回上尾市文化芸術祭について ②「第51回埼玉県文化振興の集い」について	
11月1日 ～ 11月3日	日 ～ 火	・第42回上尾市文化芸術祭開催	三井金属あげおコミュニティセンター
11月		・理事会 ①「第51回埼玉県文化振興の集い」について	

年月日	曜	事業内容	会場
12月		・理事会・文化あげお編集委員会 ①会報第42号「文化あげお」について ②各種表彰について（文化芸術祭の貢献者）	
令和9年			
1月		・理事会・文化あげお編集委員会 ①会報第42号「文化あげお」について ②「第51回埼玉県文化振興の集い」について	
2月6日	土	・第51回埼玉県文化振興の集いに参加	埼玉会館
2月		・理事会・文化あげお編集委員会 ①会報「文化あげお」の校正	
3月		・理事会・文化あげお編集委員会 ①会報「文化あげお」の発行及び配布 ②総会について	

第1号様式（第5条関係）

補助金等交付申請書

令和 8 年 5 月 27 日

上尾市長 畠山 稔 様

申請者

住所又は所在地

氏名又は団体名 上尾市まなびすと指導者

バンク活動推進会議

及び代表者氏名 会長 玉越敬彦

上尾市補助金等交付規則第5条第1項の規定により、次のとおり申請します。

補 助 年 度	令和 8 年度	補助金等の名称	上尾市社会教育関係団体補助金 (まなびすと指導者バンク活動推進会議補助金)	
補 助 事 業 等 の 目 的 及 び 内 容	上尾市の生涯学習活動の推進を図るため、「まなびすと市民講座」及び「ちょっとだけ体験ひろば」を開催し、あわせて指導者の援助・育成を行う。			
補 助 事 業 等 の 効 果	「まなびすと市民講座」及び「ちょっとだけ体験ひろば」を実施することにより、多くの市民に幅広い分野における生涯学習の機会を提供できる。また、指導者を援助・育成することにより、多くの市民の要望に合致した講座の開催や生涯学習活動の活性化が期待される。			
補 助 事 業 等 の 経 費 所 要 額	300,000円	交 付 申 請 額	300,000円	
補 助 事 業 等 の 着 手 年 月 日 (予定)	令和 8 年 7 月 1 日	補 助 事 業 等 の 完 了 年 月 日 (予定)	令和 9 年 3 月 31 日	
添 付 書 類	☒ 事業計画書 ☒ 収支予算書 ☒ 前年度決算書 ☐ 工事实施設計画書 ☒ その他 (会則、会員名簿)			
※担当課処理欄				

注 ※印の欄は記入しないこと。

用紙寸法 日本工業規格A列4番



収 支 予 算 書

団体名 上尾市なびすと指導者バンク活動推進会
 代表者氏名 玉越 敬彦

1 収 入

	費 目	予 算 額	内 容
1	補助金	300,000	
2	団体・受講者負担 (あれば記入・概算)	0	
3		0	
	合 計	300,000	

※収入と支出の合計は同じ金額になります

2 支 出

	費 目	予 算 額	内 容
1	謝金	150,000	3000円×50
2	旅費	0	
3	消耗品費 (※材料費は受講者負担)	5,000	用紙代・文房具
4	通信費	35,000	4000円×7 28,000円 7000円
5	印刷製本費	25,000	チラシ印刷 5000円 ポスター 20,000円
6	使用料	85,000	市民講座 25,000円 体験広場 60,000円
7	保険料	0	
8	その他	0	
	合 計	300,000	

令和 8 年度特別会計

予算 (参考)

1.収入の部

項目	予算額	内容
補助金	300,000	市からの補助金
団体、受講者負担	0	
その他	0	
合計	300,000	

2. 支出の部

項目	予算額	内容
講師謝礼	150,000	3 0 0 0 円 x 5 0 コマ 講座数 5 0 コマ 謝礼 3 0 0 0 円 / コマ
教材・消耗品	5,000	用紙代・文房具
通信費	35,000	4 0 0 0 円 x 7 回 2 8 0 0 0 円 ハガキ等 7 0 0 0 円
印刷製本費用	25,000	チラシ印刷 5 0 0 0 円 ポスター等 2 0 0 0 0 円
使用料	85,000	市民講座 2 5 0 0 0 円 体験広場 6 0 0 0 0 円
保険料	0	
その他	0	
合計	300,000	

令和 8 年度 事業計画

1. 市民講座

日時：令和 8 年 7 月から令和 9 年 3 月まで

会場：平方東・富士見・芝川の 3 小学校をメインの会場とし、また、あげお富士住建ホール（文化センター）・三井金属あげおコミュニティーセンター・イコス上尾も使用する。

講師：まなびすと指導者バンク活動推進会議の講師

2. ちょっとだけ体験広場

日時：令和 9 年 1 月 10 日（日）

場所：三井金属あげおコミュニティーセンター

講師：まなびすと指導者バンク活動推進会議の講師

3. ホームページ委員会

市民講座やちょっとだけ体験広場を公開する。

種々の活動を記載する個人情報公開する。

4. 研修

会員の意向をアンケートで確認する。また、生涯学習課主催ボランティア研修等に積極的に参加する。

令和8年度まなびすと指導者バンク活動推進会議事業計画

	団体名		上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議
	代表者氏名		玉越 敬彦
	連絡先	氏 名	玉越 敬彦
		電話番号	
目的及び趣旨	上尾市の生涯学習活動の推進を図るため、「まなびすと市民講座」及び「ちょっとだけ体験広場」を開催し、市民の生涯学習活動の発展に寄与し、あわせて、生涯学習活動の指導者の育成を行う		
主たる実施会場	富士見小、芝川小、平方東小 三井金属あがおコミュニティセンター	予算	300,000円 (内訳は別紙収支予算書のとおり)

実施予定内容

	日 時	内容	講師(指導者)	会 場	募集人数
1	8月29日(土) (10:00~12:00) 他3回	俳句を始めませんか	清水 山彦	富士見小	30人
2	8月29日(土) (13:30~15:30) 他1回	月を鍛える楽しい 折紙	渡邊 芳恵	富士見建 あがお小	15人
3	9月7日(日) (13:30~15:30) 他3回	フレイル予防運動	小牟田 健治	三井金属 あがおコニ ティ-センタ-	15人
4	8月29日(土) (10:00~11:30)	カウダの中、てどうも ているの?	添田 啓子	芝川小	10組
5	11月14日(土) (13:30~15:30) 他1回	飾って楽しい書道	柴田 千賀子	富士見小	15人
6	月 日() (: ~ :)				
7	月 日() (: ~ :)	まなびすと市民講座	令和9年3月迄実施		
8	1月10日(日) (10:00~16:00)	ちょっとだけ体験広場	大野 恵子 他	三井金属 あがおコニ ティ-センタ-	600人

改正

平成3年2月22日規則第5号

平成6年3月30日規則第16号

令和3年7月15日規則第50号

令和6年8月8日規則第49号

令和8年3月31日規則第42号

上尾市補助金等交付規則

(趣旨)

第1条 この規則は、補助金等に係る事務の適正な運営を図るため、補助金等の交付に関する手続、補助金等の交付を受ける者の負担する義務及びその者に対する市長の権限等に関し基本的事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 補助金等 市が市以外の者（個人又は団体）に対して交付する補助金、助成金、利子補給金その他相当の反対給付を受けない給付金（市長の指定するものを除く。）をいう。
- (2) 補助事業等 補助金等の交付の対象となる事務又は事業をいう。
- (3) 補助事業者 補助金等の交付を受けて補助事業等を行う者をいう。

(補助事業者の責務)

第3条 補助事業者は、法令、条例、規則等及びこれらの規定に基づく市長の命令並びに補助金等の交付の目的に従って、誠実かつ効果的に補助事業等を行うようにしなければならない。

(補助金等の交付)

第4条 補助金等は、毎会計年度予算の定めるところに従い、かつ、この規則の定めるところにより交付するものとする。

(補助金等の交付の申請)

第5条 補助金等の交付を受けようとする者は、補助金等交付申請書（第1号様式）に次に掲げる書類を添えて、市長の定める期日までに提出しなければならない。

- (1) 事業計画書

- (2) 収支予算書
- (3) 前年度決算書
- (4) 工事の執行にあつては実施設計書
- (5) その他市長が必要と認める書類

2 市長は、補助事業等の目的及び内容により必要がないと認めるときは、前項の添付書類の一部を省略させることができる。

(補助金等の交付の決定)

第6条 市長は、補助金等の交付の申請があつたときは、当該申請に係る書類の審査及び必要に応じて行う実地調査等により当該申請に係る補助金等の交付が法令及び予算で定めるところに違反しないかどうか、補助事業等の目的及び内容が適正であるかどうか、金額の算定に誤りがないかどうか等を調査し、補助金等を交付すべきものと認めたときは、速やかに交付の決定をするものとする。

2 市長は、交付する補助金等の財源の全部又は一部を国、県支出金その他特定収入に求める場合にあっては、当該収入が確定した後でなければ前項の決定をしてはならない。ただし、急施を要する補助事業等その他特に必要と認められる補助事業等については、この限りでない。

3 市長は、第1項の場合において適正な交付を行うため必要があるときは、補助金等の交付申請に係る事項に修正を加えて交付の決定をすることができる。

4 市長は、第1項の審査及び調査の結果により補助金等を交付することが不適当と認めたときは、速やかに当該申請者に対してその旨を通知するものとする。

(補助金等の交付の条件)

第7条 市長は、補助金等の交付を決定する場合には、次に掲げる事項につき条件を付するものとする。

- (1) 補助事業等に要する経費を変更し、又は補助事業等の内容を変更（市長が定める軽微な変更を除く。）しようとする場合においては、市長の承認を受けるべきこと。
- (2) 補助事業等を中止し、又は廃止する場合においては、市長の承認を受けるべきこと。
- (3) 補助事業等が予定の期間内に完了しない場合又は補助事業等の遂行が困難となった場合においては、速やかに市長に報告して、その指示を受けるべきこと。

2 市長は、補助金等の交付の目的を達成するため必要があるときは、前項に定める条件のほか、必要な条件を付し、又は指示することができる。

(交付決定の通知)

第8条 市長は、補助金等の交付を決定したときは、速やかに申請をした者に対し、補助金等交付決定通知書（第2号様式）により通知するものとする。

(申請の取下げ)

第9条 補助金等の交付を申請した者は、前条の規定による通知を受領した場合において、当該通知に係る補助金等の交付の決定内容又はこれに付された条件に不服があるときは、市長が指定する期日までに文書をもって当該申請を取り下げることができる。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る補助金等の交付の決定は、なかったものとみなす。

(計画変更等の承認)

第10条 補助事業者は、補助事業等の計画を変更（市長の定める軽微な変更に係るものを除く。）しようとするとき、又は補助事業等を中止し、若しくは廃止しようとするときは、遅滞なく補助事業等計画変更、中止（廃止）申請書（第3号様式）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 補助事業者は、補助事業等が予定の期間内に完了しないとき、又は補助事業等の遂行が困難となったときは、遅滞なくその原因及びこれに対する措置を市長に報告し、その指示を受けなければならない。

3 市長は、第1項の申請書の提出があった場合又は前項の報告があった場合には、交付の決定を取り消し、又は変更することができる。

4 市長は、前項の規定により補助金等の交付の決定を取り消し、又は変更した場合において、当該取消し又は変更に係る部分に関し既に補助金等が交付されているときは、期限を定めて、その全部又は一部の返還を命ずるものとする。

(状況報告)

第11条 補助事業者は、市長の要求があったときは、補助事業等の遂行状況について、当該要求に係る事項を市長に報告しなければならない。

(補助事業等の遂行の命令)

第12条 市長は、補助事業等が補助金等の交付の決定の内容又はこれに付した条件に従って遂行されていないと認めるときは、補助事業者に対し、これらに従って補助事業等を行うべきことを命ずることができる。

(実績報告)

第13条 補助事業者は、当該補助事業等が完了したとき、又は補助金等の交付の決定に係る会計年度が終了したときは、市長が指定する期日までに、補助事業等実績報告書（第4号様式）に次に掲げる書類を添えて市長に報告しなければならない。第10条第1項の規定により中止又は廃止の承認をした場合も同様とする。

- (1) 収支決算書
- (2) 契約書、領収書の写し
- (3) その他市長が必要と認める書類

2 市長は、補助事業等の目的及び内容により必要がないと認めるときは、前項の添付書類の一部を省略させることができる。

(補助金等の額の確定等)

第14条 市長は、前条第1項の規定により実績報告書を受けた場合においては、当該補助事業等実績報告書等の書類を審査し、及び必要に応じて実地に調査し、その報告に係る補助事業等の成果が補助金等の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めたときは、交付すべき補助金等の額を確定し、補助金等確定通知書（第5号様式）により当該補助事業者に対し、通知するものとする。

(是正のための措置)

第15条 市長は、前条の規定による審査又は調査の結果、補助事業等の成果が補助金等の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合しないと認めたときは、当該補助事業等について、これに適合させるための措置をとるべきことを当該補助事業者に対して命ずることができる。

2 第13条の規定は、前項の命令により補助事業者が必要な措置をした場合について、準用する。

(補助金等の交付時期)

第16条 補助金等は、第14条の規定により確定した額を補助事業等が完了した後において交付するものとする。ただし、市長が補助金等の交付の目的を達成するため特に必要があると認めるときは、補助事業等の完了前に補助金等の全部又は一部を交付することができる。

2 補助事業者は、前項の規定により補助金等の交付を受けようとするときは、補助金等交付請求書（第6号様式）を市長に提出しなければならない。

(交付手続の特例)

第17条 市長は、補助金等の交付の目的、補助事業等の内容その他の事由により、当該補助金等の

交付手続が第5条から前条までの規定によりがたいと認めるときは、別に定めるところにより補助金等を交付することができる。

(交付決定の取消し)

第18条 市長は、補助事業者が次の各号のいずれかに該当するときは、補助金等の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により補助金等の交付を受けたとき。
- (2) 補助金等を他の用途に使用したとき。
- (3) 前2号のほか、補助事業等に関して補助金等の交付の決定の内容又はこれに付した条件その他この規則又はこれに基づく市長の命令に違反したとき。

2 前項の規定は、補助事業等について交付すべき補助金等の額の確定があった後についても適用する。

3 第8条の規定は、第1項の規定による取消しをした場合について準用する。

(補助金等の返還)

第19条 市長は、前条第1項の規定により補助金等の交付の決定を取り消した場合において、補助事業等の当該取消しに係る部分に関し、既に補助金等が交付されているときは、補助事業者に対し、補助金等返還命令書（第7号様式）により期限を定めてその返還を命ずるものとする。

2 市長は、補助事業者に交付すべき補助金等の額を確定した場合において、既にその額を超える補助金等が交付されているときは、前項の規定の例により、その返還を命ずるものとする。

(加算金及び延滞金)

第20条 補助事業者は、第18条第1項の規定に基づく取消しにより、補助金等の返還を命ぜられたときは、当該命令に係る補助金等の受領の日から納付の日までの日数に応じ、当該補助金等の額（その一部を納付した場合におけるその後の期間については、既納額を控除した額）につき年10.95パーセントの割合で計算した加算金を市に納付しなければならない。

2 補助金等が2回以上に分けて交付されている場合における前項の規定の適用については、最後の受領の日を受領したものとし、当該返還を命ぜられた額がその日に受領した額を超えるときは、当該返還を命ぜられた額に達するまでに順次さかのぼりそれぞれの受領の日において受領したものとする。

3 第1項の規定により加算金を納付しなければならない場合において、補助事業者の納付した金額が返還を命ぜられた補助金等の額に達するまでは、当該納付金額は、まず当該返還を命ぜられ

た補助金等に充てられたものとする。

4 補助事業者は、補助金等の返還を命ぜられ、これを納期日までに納付しなかったときは、納期日の翌日から納付の日までの日数に応じ、その未納付額につき年10.95パーセントの割合で計算した延滞金を市に納付しなければならない。

5 前項の規定により延滞金を納付しなければならない場合において、返還を命ぜられた補助金等の未納付額の一部が納付されたときは、当該納付の日の翌日以後の期間に係る延滞金の計算の基礎となるべき未納付額は、その納付金額を控除した額によるものとする。

(財産の処分の制限)

第21条 補助事業者は、補助事業等により取得し、又は効用の増加した次に掲げる財産を補助金等の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付けし、又は担保に供しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。ただし、補助金等の交付の目的及び当該財産の耐用年数を勘案して市長が定める期間を経過した場合は、この限りでない。

(1) 不動産及びその従物

(2) 機械及び重要な器具で市長が定めるもの

(3) その他市長が補助金等の交付の目的を達成するため特に必要があると認めて定めるもの

(関係書類の整備)

第22条 補助事業者は、補助事業等に係る経費の支出を明らかにした書類及び帳簿を常に整備しておかなければならない。

(調査等)

第23条 市長は、補助金等に係る予算の執行の適正を期するため必要があるときは、補助事業者に対して報告をさせ、又は当該職員に関係帳簿、書類その他の物件を調査させることができる。

(その他)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

1 この規則は、昭和54年4月1日から施行する。

2 この規則施行前に補助金等が交付され、又は補助金等の交付の意思が表示されている事務又は事業に関しては、なお従前の例による。

附 則 (平成3年規則第5号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 6 年規則第16号）

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 3 年 7 月15日規則第50号）

この規則は、令和 3 年 8 月 1 日から施行する。

附 則（令和 6 年 8 月 8 日規則第49号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和 8 年 3 月31日規則第42号）

この規則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

第1号様式（第5条関係）
第1号様式(第5条関係)

補助金等交付申請書

年 月 日

(宛先)

上尾市長

申請者

住所又は所在地

氏名又は団体名
及び代表者氏名

上尾市補助金等交付規則第5条第1項の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	年度	補助金等の 名 称	
補助事業等 の目的及び 内容			
補助事業等 の 効 果			
補助事業等 の経費所要 額	円	交 付 申 請 額	円
補助事業等 の着手年月 日 (予定)	年 月 日	補助事業等の完 了年月日(予定)	年 月 日
添 付 書 類	☐ 事業計画書 ☐ 収支予算書 ☐ 前年度決算書 ☐ 工事実施設計書 その他()		
※ 担当課処理 欄			

注 ※印の欄は記入しないこと。

第2号様式（第8条関係）
第2号様式（第8条関係）

補助金等交付決定通知書

第 号
年 月 日

住所又は所在地

氏名又は団体名
及び代表者氏名 様

上尾市長

年 月 日付けで申請のあった補助金等の交付については、次のとおり決定したので、上尾市補助金等交付規則第8条の規定により通知する。

補助年度	年度	補助金等の 名 称	
補助事業等 の 名 称			
補助対象金 額（率）	円（ ）		
交付金額	円	交付予定期 時 期	
交付条件	1 補助事業等に要する予算を変更し、又は補助事業等の内容を変更（市長が認める軽微な変更を除く。）しようとする場合においては、市長の承認を受けるべきこと。 2 補助事業等を中止し、又は廃止する場合においては、市長の承認を受けるべきこと。 3 補助事業等が予定の期間内に完了しない場合又は補助事業等の遂行が困難となった場合においては、速やかに市長に報告して、その指示を受けるべきこと。 その他の条件		

注 上記の交付決定に対して不服がある場合は、この通知書受領の日から 日以内に文書で取下げをすること。

第3号様式（第10条関係）
第3号様式(第10条関係)

補助事業等 計画変更
中止(廃止) 申請書

年 月 日

(宛先)

上尾市長

申請者

住所又は所在地

氏名又は団体名
及び代表者氏名

上尾市補助金等交付規則第10条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付決定 通知年月日	年 月 日	交付決定 通知番号	第 号
補助年度	年度	補助金等の 名称	
補助事業等 の名称			
補助事業等 の内容	変更前		
	変更後		
変更又は中 止(廃止)の 理由			
変更又は中 止(廃止)の 年月日	年 月 日(予定)		
添付書類			

第4号様式（第13条関係）
第4号様式（第13条関係）

補助事業等実績報告書

年 月 日

（宛先）

上尾市長

補助事業者

住所又は所在地

氏名又は団体名
及び代表者氏名

上尾市補助金等交付規則第13条の規定により、次のとおり報告します。

交付決定 通知年月日	年 月 日	交付決定 通知番号	第 号
補助年度	年度	補助金等の 名称	
補助事業等 の名称			
補助事業等 の施行場所			
着手年月日	年 月 日	完了年月日	年 月 日
補助金等の 交付決定通 知額	円	補助金等の 既交付額	円
補助事業等 の経費精算 額	円		
補助事業等 の経過及び 内容			
添付書類 1 収支決算書 2 契約書・領収書の写し 3 その他()		※ 報告事項審査結果	

注 ※印の欄は記入しないこと。

第5号様式（第14条関係）
第5号様式(第14条関係)

補助金等確定通知書

第 号
年 月 日

補助事業者

住所又は所在地

氏名又は団体名
及び代表者氏名 様

上尾市長

年 月 日付けで実績報告のあった補助事業等については、次のとおり補助金等の額を確定したので、上尾市補助金等交付規則第14条の規定により、通知する。

交付決定 通知年月日	年 月 日	交付決定 通知番号	第 号
補助年度	年度	補助金等の 名称	
補助金等の交付決定通知 額	円		
補助事業等の経費精算額	円(補助対象)		
補 助 率			
補助金等の交付確定額	円		
(交付決定通知額)－(交 付確定額)	円		

第 6 号様式（第16条関係）
第 6 号様式(第 16 条関係)

補 助 金 等 交 付 請 求 書

年 月 日

(宛先)

上尾市長

補助事業者

住所又は所在地

氏名又は団体名
及び代表者氏名

上尾市補助金等交付規則第 16 条第 2 項の規定により、次のとおり請求します。

交 付 決 定 通知年月日	年 月 日	交 付 決 定 通 知 番 号	第 号
補 助 年 度	年度	補 助 金 等 の 名 称	
補 助 事 業 等 の 名 称			
補助事業の	交付決定通知額	円	
	交付確定額	円	
補 助 金 等 の 既 交 付 額	年 月 日交付	円	
	年 月 日交付	円	
	年 月 日交付	円	
	計	円	
今 回 交 付 請 求 額	円		
未 交 付 額	円		
添 付 書 類	1 補助金等交付決定通知書又は補助金等確定通知書の写し 2 3		

第7号様式（第19条関係）
第7号様式(第19条関係)

補助金等返還命令書

第 号

年 月 日

補助事業者

住所又は所在地

氏名又は団体名及び代表者氏名 様

上尾市長



上尾市補助金等交付規則第19条の規定により、次のとおり返還を命ずる。

返還すべき 金 額	円	返 還 期 限	年 月 日まで
返還を命ず る 理 由			
返 還 方 法			
交 付 決 定 通知年月日	年 月 日	交 付 決 定 通 知 番 号	第 号
補 助 年 度	年度	補 助 金 等 の 名 称	
補助事業等 の 名 称			
補助金等の 交付決定通 知 額	円	補 助 金 等 の 交 付 確 定 額	円
補助金等の 既 交 付 額	年 月 日交付	円	
	年 月 日交付	円	
	年 月 日交付	円	
	計	円	

改正

令和3年3月25日市長決裁

令和8年3月23日市長決裁

上尾市社会教育関係団体補助金交付要綱

上尾市社会教育関係団体補助金交付要綱（昭和54年4月1日市長決裁）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 市は、社会教育関係団体の健全な育成を図るため、当該団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

2 前項の補助金の交付に関しては、上尾市補助金等交付規則（昭和54年上尾市規則第4号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

（補助対象団体）

第2条 補助金の交付を受けることができる社会教育関係団体は、おおむね次に掲げる要件を具備する団体とする。ただし、政治活動、宗教活動又は営利活動を行う団体については、補助金の交付を受けることができない。

- （1） 主として社会教育に関する事業を行い、かつ、当該事業による成果を期待することができる団体であること。
- （2） 定款又は定款に準ずる団体規約を有していること。
- （3） 団体意志を決定し、及びその決定した事項を執行し、並びに当該団体を代表する機構又は機関が確立していること。
- （4） 自ら経理し、及び監査する会計機構を有していること。
- （5） 団体活動の本拠としての事務所を有していること。

（補助の対象及び補助金の額）

第3条 補助金の交付の対象となる事業及び経費並びに補助金の額は、次のとおりとする。

- （1） 補助対象事業 前条に規定する補助対象団体が行う社会教育に関する事業
- （2） 補助対象経費 前号の事業に要する経費のうち次のア及びイに掲げる補助金の区分に応じ当該ア及びイに定める経費

ア 団体運営補助金 報償費、旅費、消耗品費、食糧費（懇親会等の飲食費を除く。）、印刷製本費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費並びに負担金

イ 事業費補助金 報償費、旅費、消耗品費、食糧費（懇親会等の飲食費を除く。）、印刷製本費、役務費、委託料、使用料及び賃借料並びに備品購入費

(3) 補助金の額 前号の経費の額の範囲内で毎年度市長が定める額

(交付申請書の提出期限)

第4条 規則第5条第1項の交付申請書の提出期限は、補助金の交付を受けようとする年度の6月30日とする。

(実績報告書の提出期限等)

第5条 規則第13条第1項の実績報告書の提出期限は、補助金の交付の決定のあった日の属する年度の3月31日とする。

2 規則第13条第1項第3号の市長が必要と認める書類は、補助事業に関する成果報告書とする。

3 規則第13条第2項の規定に基づき、同条第1項の実績報告書には、同項第2号に掲げる書類の添付は、要しない。

(補助金の交付時期)

第6条 補助金は、規則第16条第1項ただし書の規定に基づき、第3条第1号の補助対象事業の完了前にその全部を交付する。

2 市長は、規則第16条第2項の規定による交付請求書の提出を受けたときは、前項の規定に基づき、速やかにその交付請求書に添付された補助金等交付決定通知書の写しに記載する交付金額の補助金を交付するものとする。

(関係書類の保管)

第7条 規則第22条の規定により整備する書類及び帳簿は、当該補助事業の完了の日の属する会計年度の翌会計年度から起算して5年間保管しておかなければならない。

附 則

この要綱は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）の施行の日（平成20年12月1日）から施行する。

附 則（令和3年3月25日市長決裁抄）

(施行期日)

1 この要綱は、決裁の日から施行する。（後略）

附 則（令和8年3月23日市長決裁）

この要綱は、令和8年4月1日から施行する。

別冊資料3

生涯学習課 事業紹介①

放課後子ども教室

1

1. 放課後子ども教室とは

2

1. 放課後子ども教室とは

放課後に子どもたちが安心して活動できる居場所の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的とした事業です。市立小学校や公民館を主な活動場所とし、地域の大人や公民館利用団体の参画を得て、様々な学習や体験活動等を実施します。



3

2. 放課後児童クラブ（学童）との違い

4

2. 放課後児童クラブ（学童）との違い

（１）事業の目的

- 放課後子ども教室
全ての児童を対象に、放課後の安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行う。
- 放課後児童クラブ
共働き等、様々な理由により保育が必要な児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供する。

5

2. 放課後児童クラブ（学童）との違い

（２）従事者

- 放課後子ども教室
 - ・コーディネーター、サポーターに特別な資格不要
 - ・主に地域の方の参画により実施
- 放課後児童クラブ
 - ・放課後児童支援員の配置義務あり

6

2. 放課後児童クラブ（学童）との違い

（３）実施主体

- 放課後子ども教室
教育委員会（生涯学習課）
- 放課後児童クラブ
市長部局（青少年課）

7

3. 放課後子ども教室の1日

8

3. 放課後子ども教室の1日

統括コーディネーター、放課後コーディネーター出勤 業務開始

- ・教室の準備（教室実施日）
- ・プログラム、講座の企画・運営
- ・講師選定、調整

etc



9

3. 放課後子ども教室の1日

放課後活動リーダー、放課後活動サポーター出勤 教室準備



10

3. 放課後子ども教室の1日

放課後、参加児童は会場へ

※学校、学年に応じて迎えが必要となる参加児童は、サポーターが学校へ迎えに行きます



11

3. 放課後子ども教室の1日

会場に着いた児童から、宿題や読書等、思い思いに過ごします



12

3. 放課後子ども教室の1日

特別講座がある日は、みんなで一緒に楽しめます



13

3. 放課後子ども教室の1日

終了時刻 保護者が児童をお迎えにきます

※放課後児童クラブ参加者は、放課後活動サポーターが児童を各学童まで送ります



14

4. 上尾市のあゆみ

15

4. 上尾市のあゆみ

平成31年度	公民館を主な活動場所とする原市小、大石小の2校で事業開始
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大により中止
令和3年度	事業再開
令和4年度～	引き続き2校で実施
令和8年度	校舎内を主な活動場所とする富士見小、芝川小で事業開始することで、既存教室と併せて4教室となる



16

5. 令和8年度実施概要

17

5. 令和8年度実施概要

○参加対象者

対象となる各4校に通う児童

○参加人数

申込・抽選を経て、原則1教室あたり30人程度

○参加費

参加費は無料。

ただし、保険料、学習教材費、材料費等、個人に還元されるものは自己負担とし、必要額を別途徴収

18

5. 令和8年度実施概要

○開講日時

令和8年6月から令和9年3月末日までの給食がある平日で、教育委員会が定めた日

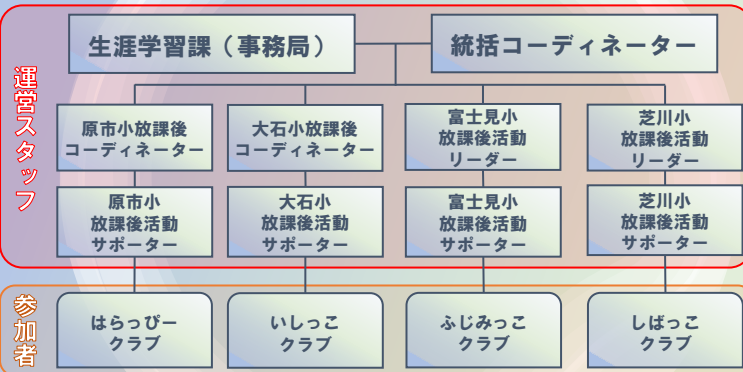
・原市小	(通称：はらっぴークラブ)
火曜日	授業終了後から16時30分まで
・大石小	(通称：いしっこクラブ)
木曜日	授業終了後から16時45分まで
・富士見小	(通称：ふじみっこクラブ)
月曜日	授業終了後から16時15分まで
・芝川小	(通称：しばっこクラブ)
金曜日	授業終了後から16時15分まで

19

6. 運営体制

20

6. 運営体制



21

6. 運営体制

○生涯学習課（事務局）

- ・事業統括管理
- 参加者募集
- コーディネーター、サポーター募集
- 会場等との連絡調整
- 備品、消耗品管理
- 事業予算管理



その他

22

6. 運営体制

○統括コーディネーター

○放課後コーディネーター（ともに有償ボランティア）

- ・プログラム、講座の企画・運営
- 講師選定、調整
- 放課後子ども教室だより作成
- 放課後活動サポーターへの指示、シフト作成
- 放課後児童クラブ（学童）、保護者等との連絡・調整
- コーディネーターを設けない教室の運営、講座企画（統括のみ）



その他

23

6. 運営体制

○放課後活動リーダー（有償ボランティア）

- ・コーディネーターを置かない教室で開催日の進行を務める
- 統括コーディネーターの補助
- 放課後活動サポーターへの指示や助言



その他

- ※講座企画や出勤管理などは、統括コーディネーターが担う
- ・富士見教室、芝川教室に配置（教室/1名）

24

6. 運営体制

○放課後活動サポーター（有償ボランティア）

- ・主に現場での児童見守り
- 参加児童受入準備、受付
- 参加児童の安全管理
- 保護者等への引き渡し、放課後児童クラブへの送り届け



その他

- ・4教室すべてに配置（1日/5名～6名）

25



はらっぴー

はらっぴー教室公式キャラクター

7. 原市小学校（はらっぴークラブ）



26

7. 原市小学校（はらっぴークラブ）

原市公民館を拠点に平成31年度から事業開始。

令和7年度実績

期 間 令和7年6月10日(火)から令和8年3月5日(木)
 開催日数 56日（火曜、木曜教室それぞれ28日開催）
 参 加 者 29人（延べ706人）
 火曜教室（1、2年生）：14人（延べ353人）
 木曜教室（3～6年生）：15人（延べ353人）



27

7. 原市小学校（はらっぴークラブ）

原市公民館を拠点に平成31年度から事業開始。

令和7年度実績

開催講座（講師）

- ・考古学者になろう！（生涯学習課職員）
- ・スズムシを観察してみよう！（あげおスズムシの会）
- ・電車でGO！（公民館登録団体）
- ・マジックに挑戦！（上尾マジッククラブ）



ほか

28

7. 原市小学校（はらっぴークラブ）



令和8年度予定

期 間 令和8年6月2日(火)から令和8年3月16日(火)

開催日数 28日

参 加 者 31人（令和8年6月2日現在）

29



いしっぴー

いしっこクラブ公式キャラクター

8. 大石小学校（いしっこクラブ）



30

8. 大石小学校（いしっこクラブ）



大石公民館を拠点に平成31年度から事業開始。

令和7年度実績

期 間 令和7年6月3日(火)から令和8年2月26日(木)

開催日数 55日（火曜教室27日、木曜教室に28日開催）

参 加 者 28人（延べ697人）
火曜教室（3～6年生）：14人（延べ326人）
木曜教室（1、2年生）：15人（延べ371人）

31

8. 大石小学校（いしっこクラブ）



大石公民館を拠点に平成31年度から事業開始。

令和7年度実績

開催講座（講師）

- ・ あげお郷土かるたであそぼう！（上尾市 青少年課）
- ・ おなか元気教室（埼玉ヤクルト販売（株））
- ・ バレーボール教室（埼玉上尾メディックス）
- ・ 吹き矢に挑戦！（公民館登録団体）

ほか

32

8. 大石小学校（いっこクラブ）



令和8年度予定

期 間 令和8年6月4日(木)から令和9年3月11日(木)

開催日数 28日

参 加 者 30人（令和8年6月4日現在）

33

9. 令和8年度新規開講教室

34

9. 令和8年度新規開講教室

富士見小学校（ふじみっこクラブ）

富士見小学校特別教室を拠点に令和8年度から事業開始。

令和8年度予定

期 間 令和8年6月1日(月)から令和9年3月15日(月)

開催日数 28日

参 加 者 30人（令和8年6月1日現在）

35

9. 令和8年度新規開講教室

芝川小学校（しばっこクラブ）

芝川小学校特別教室を拠点に令和8年度から事業開始。

令和8年度予定

期 間 令和8年6月19日(金)から令和9年3月12日(金)

開催日数 28日

参 加 者 26人（令和8年6月19日現在）

36

10. 開催校の拡大における今後の課題

37

10. 開催校の拡大における今後の課題

(1) 会場の確保、調整

～令和7年度 公民館を主な活動場所として原市小、大石小の2校で開講

令和8年度 学校施設開放（特別教室）事業で活用する教室を主な活動場所として、富士見小、芝川小で新規開講

→事業拡大にあたっては、学校の敷地内が主な活動場所となる必要があるため、余裕教室や体育館など、教室開催時に提供が可能となる施設や部屋を学校側と調整していく。

38

10. 開催校の拡大における今後の課題

(2) 人材確保

実施教室（学校）それぞれにコーディネーター、サポーター等スタッフの配置が必要となる

→事業拡大と共に、人材探しの難易度が上昇する。

自治会や学校運営協議会など、地域に根差した組織や団体に事業周知や募集を定期的に行ない、担い手が不足にならないよう務める。

39

御清聴ありがとうございました

40

I. アンケート回答件数

アンケート回答者	回答件数
原市公民館放課後子供教室 参加児童	8
大石公民館放課後子供教室 参加児童	13
原市公民館放課後子供教室 保護者	5
大石公民館放課後子供教室 保護者	12
放課後子供教室 サポーター	16

原市公民館放課後子供教室 アンケート結果（児童用）

【1】放課後子供教室に参加した理由を教えてください。（あてはまるもの全部）

質問事項	回答数
① 楽しそうだから	2
② いろいろな体験活動ができそうだから	3
③ 友だちが参加するから	3
④ 違う学年の子と遊べるから	1
⑤ 新しい友だちができそうだから	0
⑥ お兄さん、お姉さん、弟や妹がいっしょに参加するから	1
⑦ 地域の大人のひとと交流できそうだから	2
⑧ 親にすすめられたから	3
⑨ その他	0
未回答	0

〈その他〉

【2】放課後子供教室は楽しかったですか。

質問事項	回答数
① とても楽しかった	5
② まあまあ楽しかった	3
③ あまり良くなかった	0
未回答	0

【3】【2】で①とても楽しかった、②まあまあ楽しかった を選んだ人は、楽しかったことを3つまで選んで番号を○でかこんでください。

質問事項	回答数
① 友だちと遊べる	6
② 地域の大人のひとと話ができる	4
③ のんびりできる	0
④ 宿題（勉強）ができる	3
⑤ いろいろなことが体験できる	6
⑥ おしゃべりできる	0
⑦ 本が読める	0
⑧ その他	1
未回答	0

〈その他〉

- ・好きなサポーターの先生がいたから

【4】 【2】で③あまり楽しなかったを選んだ人は楽しなかったことの番号を○でかこんでください。

質問事項	回答数
① 自由に遊べない	0
② きらいなことややりたくないこともやらなくてはいけない	0
③ 大人の人と話をすること	0
④ いやがることやうるさくする人がいる	0
⑤その他	0
未回答	8

【5】 放課後子供教室に来てから友だちがふえましたか。

質問事項	回答数
①ふえた	7
②かわらない	1
③へった	0
未回答	0

【6】 放課後子供教室に来てから大人の知り合いがふえましたか。

質問事項	回答数
①ふえた	6
②かわらない	2
③へった	0
未回答	0

【7】 放課後子供教室に行ってから、次のことがどのように変わりましたか。

質問事項	ふえた	変わらない	へった	未回答
① ひとりで遊ぶこと	0	6	2	0
② ゲームをしたりまんがを読んだりすること	0	8	0	0
③ 外で遊ぶこと	3	3	2	0
④ 家の人と話をすること	5	3	0	0
⑤ 大人の人とあいさつをしたり、話をすること	4	4	0	0
⑥ 近所の人からほめられること	2	6	0	0

【8】楽しかったと思うプログラムを3つまで選んで○でかこんでください。

プログラム	回答数
本の読み聞かせ	0
あげお郷土かるた	1
考古学者になろう	0
フォークダンス	0
スズムシ観察	0
ボーイスカウトスキル	0
はらっピー防災講座	0
昔から伝わるおまじない	0
ホリデートレイン『電車でGO!』	0
ガイドヘルパー体験	0
マジック体験	1
吹き矢	5
野菜スタンプカードづくり	2
わくわく運動教室	1
おなか元気教室（ヤクルト）	0
将棋	2
原市の歴史を知ろう	0
おやつ作り	6
クリスマスリースづくり	0
お茶のお作法	0
よさこい踊り	0
紙ひこうきを飛ばそう	2
ミュージカル鑑賞	2
卓球	2
昔話をきこう	0
七夕飾りづくり	0
モルック	0

【9】 放課後子供教室であなたはどんなことをしたいですか。3つまで選んでください。

質問事項	回答数
① いろいろな遊びを教えてほしい	2
② 自由に遊びたい	1
③ お祭りなどの行事をたくさんしてほしい	0
④ 勉強（宿題）を教えてほしい	0
⑤ スポーツをしたい	6
⑥ 工作をしたい	3
⑦ 料理をしたい	6
⑧ 手芸をしたい	3
⑨ その他	1
未回答	0

〈その他〉

・ダンス

【10】 放課後子供教室に参加して思ったこと・感じたことを自由に書いてください。（原文のまま）

- ・しゅくだいじかんがなくて、うるさくてやだった。スポーツとりょうりだけたのしかった。
- ・二年生もやっているあそびをやりたい。一年生のときは5回ぐらいやすんじゃったから、二年生になってもつづけたい。いろんなあそびをやりたい。スポーツもいっぱいいてほしいです。
- ・かみひこうきがたのしくて、いえでいっぱい、いまもつくっています。ありがとうございました。
- ・1年間ありがとうございました。ミュージカルなど、とても楽しかったです。うるさい子達がいって大変そうでした。
- ・いろいろなことができて楽しかった。特に、ふき矢とたっ球が楽しかった。またやりたい。ありがとうございました。

原市公民館放課後子供教室 アンケート結果（保護者用）

【1】あなたがお子さんを放課後子供教室に参加させたいと思った具体的な理由は何ですか。（3つまで）

質問事項	回答数
① 子供が参加したいというから	2
② いろいろな活動ができそうだから	4
③ 楽しそうだから	1
④ 子供が安心して遊べるから	3
⑤ 友達が一緒に行くから	2
⑥ 兄弟姉妹が参加するから	0
⑦ 他の学年の子供とも一緒に遊べるから	0
⑧ 地域の大人の人と交流できそうだから	1
⑨ 新しい友達ができそうだから	1
⑩ ゲームなどで家で遊ぶよりもよいから	0
⑪ 家にいても暇だから	1
⑫ 仕事などで放課後に保護者が家にいないから	0
⑬ その他	0
未回答	0

【2】お子さんを放課後子供教室に参加させて良かったですか。

質問事項	回答数
① 大変良かった	4
② 良かった	1
③ あまり良くなかった	0
④ その他	0
未回答	0

・毎週火曜日が楽しみだった。他の習い事に通わせるよりも料金が安いし、交流ができるので良いと思った。

・季節の行事やいろいろな体験を経験できたこと

・いろいろな活動が体験できてよかったです。

・（良かった点）今年もいろいろな体験ができて良かった。（良くなかった点）食べ物がからむものは、アレルギーや衛生面が心配だった。

・家庭や学校だけでは経験できない遊びや体験をすることができ、とても楽しんでいた。また放課後は、学童に通っている子も多いので、放課後は家で遊ぶことが多かったので、週1回でも友だちと遊べる場ができて良かった。

原市放課後子供教室 保護者

【3】放課後子供教室の実施回数と曜日はいかがですか。

質問事項	回答数	意見
<回数> 週1回で良い	4	
<回数> もっと増やしてほしい	1	週2～3回
質問事項	回答数	意見
<曜日> 火曜日又は木曜日で良い	5	
<曜日> 他の曜日が良い	0	

【4】お子さんが放課後子供教室に参加してから、変わったと思うことはどのようなことですか。（複数回答可）

【5】【4】の中で、特に変わったと思うことはどのようなことですか。

質問事項	【4】	【5】
① 家の中よりも屋外でよく遊ぶようになった	1	1
② 違う学年の友達とよく遊ぶようになった	2	1
③ 誰とでも遊ぶようになった	2	0
④ 祭りやスポーツ大会など地域の行事に積極的に参加するようになった	0	0
⑤ 宿題や勉強を積極的にやるようになった	0	0
⑥ テレビゲームをしたりマンガを読んだりすることが少なくなった	1	0
⑦ 地域の大人のひととあいさつをしたり、話をしたりするようになった	2	1
⑧ 自分より年下の子の面倒をよく見るようになった	0	0
⑨ 自分で考えて遊ぶようになった	2	1
⑩ 以前よりも活発で明るくなった	0	0
⑪ 落ち着いた行動が取れるようになった	0	0
⑫ ルールや決まりを守れるようになった	0	0
⑬ 我慢強くなった	0	0
⑭ 大人の言うことを聞くようになった	0	0
⑮ 家の手伝いを積極的にするようになった	0	0
⑯ 興味があることは自分で進んで調べたりするようになった	2	0
⑰ 後片付けを積極的にするようになった	0	0
未回答	1	1

原市放課後子供教室 保護者

【6】お子さんが放課後子供教室に参加したことによって、あなたご自身の気持ちや暮らし方などに何か変化はありましたか。自由にお書きください。

・子どもが楽しかった教室のことを家でも話したり、見せてくれたりし、もっといろいろな体験をさせたいとなりました。また、家庭でもやってみようの話になり、良い機会をもらえました。ありがとうございました。

・16：30まで安心できる場所ですぐ居場所のおかげで心にゆとりができました。終わった後は駄菓子屋に一緒に行って、地域の人と交流できたり、楽しい時間を過ごせました。

・放課後毎日家で遊んでいたのが、2学期終わり頃から、はらっぴーの日以外も遊ぶ約束をしてこれるようになり、外へ出て遊びに行けるようになって嬉しかった。週1回でも、大人の方に見守られて遊んでくれる時間ができ、安心して仕事を長い時間できる日が増えてありがたかった。

【7】放課後子供教室の活動についてお子さんと話をしたり、教室で習ったことを家庭で親子で行うなどをしたことがありますか

質問事項	回答数
① 良くしている	1
② 時々している	3
③ ほとんどしない	1
④ したことがない	0
未回答	0

自由記述

- ・おやつの本を借りて家でつくる
- ・料理、紙ひこうき、卓球、クリスマスリース作り、紐結び、など
- ・今日はどんな活動をして何がおもしろかったよ、など話す。
- ・紙ひこうき→とても気に入っていて、いどこに作り方を教えて、競って飛ばしたりしていた。・クリスマスアドベントBOX→毎日開けるのをとても楽しみにしていた。料理→オレオマフィン作りました。

【8】お子さんが放課後子供教室に参加するようになってから、親子の会話の頻度に変化はありましたか。

質問事項	回答数
① とても増えた	1
② やや増えた	3
③ 変わらない	1
④ やや減った	0
⑤ とても減った	0
未回答	0

原市放課後子供教室 保護者

【9】あなたは、お住まいの地域で放課後子供教室が実施されていることにより、地域において変わったなと思うことはありますか。

質問事項	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	未回答
① 子供たちが外で遊んでいる様子をよく目にするようになった	0	3	2	0
② 地域の大人と子供達がいさづを交わしたり、話したりしている様子をよく目にするようになった	0	4	1	0
③ 地域の大人同士がいさづを交わしたり、よく話をするようになった	0	4	1	0
④ 祭りなどの地域行事や子供の大会に参加する子供が増えた	0	4	1	0
⑤ 祭りなどの地域行事や子供の大会に参加する大人が増えた	0	4	1	0
⑥ 危険な子供の行動に大人が注意するようになるなど、地域がより安全になった	0	5	0	0
⑦ 学校や地域の行事に参加する保護者が増えた	0	5	0	0

【10】今後の「放課後子供教室」に、どのようなことを望みますか。（複数回答可）

質問事項	回答数
① いろいろな体験活動を充実してほしい	5
② 子供にとって安心・安全な居場所にしてほしい	3
③ 子供がやりたいことをやらせてほしい	0
④ 地域の大人がもっと参加するようにしてほしい	0
⑤ 勉強（宿題）を教えてほしい	0
⑥ 実施回数を増やしてほしい	2
⑦ その他	0
未回答	0

・⑥ 娘が1年生の時にやりたいと希望したものの、定員オーバーでできず、念願のはらっぴーでした。回数を増やし、2チームにする等、希望者みんなが参加できる教室であれば大変嬉しいです。

原市放課後子供教室 保護者

【11】 あなたは、放課後子供教室は、どのような点で効果や利点があると思いますか。（複数回答可）

質問事項	回答数
① 子供が異学年の子と交流できる点	4
② 地域の大人同士が交流できる点	2
③ 子供が地域の大人と交流できる点	3
④ 学校と地域、家庭とが連携できる点	2
⑤ 地域伝統文化を子供に体験させられる点	5
⑥ 子供が安心して過ごせる居場所ができる点	3
⑦ 子供が自由に遊びや体験ができる点	0
⑧ 特に有効だと思わない	0
⑨ その他	0
未回答	0

【12】 その他（自由記述）

・1年間いろいろな経験をさせていただき、ありがとうございました。日々の忙しさの中で一緒にやろうと思っていたことも、行動に移せなかったことが多かったので、とてもありがたかったです。なかなか落ち着かない学年の子供達を見るのはとても大変だったと思いますが、今後につなげていただけたらと思います。本当にありがとうございました。

・大変お世話になりました。ありがとうございました。またご縁をいただき参加できれば有難いです。今後も地域の子どもたちの為によりしく願います。

・1年間本当に楽しく充実した時間を過ごせたこと、感謝しています。低学年で、話をきけない、騒がしい等、大変なことも多く、とてもご迷惑をおかけしてしまったと思います。そんな低学年をまとめながら、楽しい時間を作ってもらい、経験も沢山させてもらい、成長を感じる一年でした。大人の方とお話することも大好きなので、普段関われない方々と関われるのも良かったです。お友達と放課後に遊ぶこともできて良かったです。週1回、仕事を長い時間働けるのも助かりました。また来年度もぜひ宜しくお願い致します！！

大石公民館放課後子供教室 アンケート結果（児童用）

【1】放課後子供教室に参加した理由を教えてください。（あてはまるもの全部）

質問事項	回答数
① 楽しそうだから	10
② いろいろな体験活動ができそうだから	7
③ 友だちが参加するから	6
④ 違う学年の子と遊べるから	1
⑤ 新しい友だちができそうだから	4
⑥ お兄さん、お姉さん、弟や妹がいっしょに参加するから	0
⑦ 地域の大人の人と交流できそうだから	0
⑧ 親にすすめられたから	3
⑨ その他	1
未回答	0

〈その他〉

- ・去年からやって楽しかったから

【2】放課後子供教室は楽しかったですか。

質問事項	回答数
① とても楽しかった	9
② まあまあ楽しかった	4
③ あまり良くなかった	0
未回答	0

【3】【2】で①とても楽しかった、②まあまあ楽しかった を選んだ人は、楽しかったことを3つまで選んで番号を○でかこんでください。

質問事項	回答数
① 友だちと遊べる	10
② 地域の大人の人と話ができる	0
③ のんびりできる	2
④ 宿題（勉強）ができる	8
⑤ いろいろなことが体験できる	10
⑥ おしゃべりできる	3
⑦ 本が読める	0
⑧ その他	0
未回答	0

【4】 【2】で③あまり楽しくなかったを選んだ人は楽しくなかったことの番号を○でかこんでください。

質問事項	回答数
① 自由に遊べない	0
② きらいなことややりたくないこともやらなくてはいけない	0
③ 大人の人と話をすること	0
④ いやがることやうるさくする人がいる	0
⑤その他	0
未回答	13

【5】 放課後子供教室に来てから友だちがふえましたか。

質問事項	回答数
①ふえた	8
②かわらない	4
③へった	0
未回答	1

【6】 放課後子供教室に来てから大人の知り合いがふえましたか。

質問事項	回答数
①ふえた	9
②かわらない	2
③へった	0
未回答	2

【7】 放課後子供教室に行ってから、次のことがどのように変わりましたか。

質問事項	ふえた	変わらない	へった	未回答
① ひとりで遊ぶこと	4	4	5	0
② ゲームをしたりまんがを読んだりすること	5	7	1	0
③ 外で遊ぶこと	9	2	2	0
④ 家の人と話をすること	5	6	2	0
⑤ 大人の人とあいさつをしたり、話をすること	10	1	2	0
⑥ 近所の人からほめられること	2	9	2	0

【8】楽しかったと思うプログラムを3つまで選んで○でかこんでください。

プログラム	回答数
・吹き矢	
・おりがみ	
・七夕の短冊を書く	
・あげお郷土かるた	
・ギンギシプロペラづくり	
・バレーボール（埼玉上尾メディックス）	
・考古学者体験	
・おなか元気教室	
・紙ひこうきを飛ばそう	
・マジック体験	
・おやつづくり	
・一閑張り	
・校庭でレクリエーション	
・ホリデートレイン『電車でGO！』	
・ミュージックベル	
・クリスマスパーティー	
・あみもの	
・絵手紙	
・ボッチャ	
・ガイドヘルパー体験	
・ハッピーハロウィン	
・自由あそび、外遊び	
・七夕飾りをつくろう	

【9】 放課後子供教室であなたはどんなことをしたいですか。3つまで選んでください。

質問事項	回答数
① いろいろな遊びを教えてほしい	8
② 自由に遊びたい	2
③ お祭りなどの行事をたくさんしてほしい	2
④ 勉強（宿題）を教えてほしい	0
⑤ スポーツをしたい	5
⑥ 工作をしたい	8
⑦ 料理をしたい	5
⑧ 手芸をしたい	2
⑨ その他	2
未回答	1

〈その他〉

- ・ しりとり

【10】 放課後子供教室に参加して思ったこと・感じたことを自由に書いてください。（原文のまま）

- ・ 来年ども、行きたい。楽しかった。とくに、おり紙です。また外遊びをしたいです。
- ・ すごくたのしかった。
- ・ いろんなことをおしえてくれて楽しかった。
- ・ うるさいひとがいてあまりしゅうちゅうできなかった。
- ・ いろんな体験ができてうれしかった。
- ・ たのしかったです。また2年生でもやりたいです。手げい。木ようびいがいも行きたいです。まいしゅうもくようびがたのしみでした。
- ・ とてもたのしかったです。
- ・ せんせいとあみものをしてたのしかったです。いろんなことをおしえてくれてありがとうございました。
- ・ 体いくかんで自由あそびが楽しかったです。手げいでマフラーをもうどあんでみたいです。
- ・ おやつ作りやマジックが楽しかったです。
- ・ ピザづくりがおもしろかった。

大石公民館放課後子供教室 アンケート結果（保護者用）

【1】 あなたがお子さんを放課後子供教室に参加させたいと思った具体的な理由は何ですか。（3つまで）

質問事項	回答数
① 子供が参加したいというから	3
② いろいろな活動ができそうだから	11
③ 楽しそうだから	6
④ 子供が安心して遊べるから	2
⑤ 友達と一緒にいくから	0
⑥ 兄弟姉妹が参加するから	0
⑦ 他の学年の子供とも一緒に遊べるから	1
⑧ 地域の大人の人と交流できそうだから	5
⑨ 新しい友達ができそうだから	3
⑩ ゲームなどで家で遊ぶよりもよいから	3
⑪ 家にいても暇だから	0
⑫ 仕事などで放課後に保護者が家にいないから	0
⑬ その他	0
未回答	0

【2】お子さんを放課後子供教室に参加させて良かったですか。

質問事項	回答数
① 大変良かった	12
② 良かった	0
③ あまり良くなかった	0
④ その他	0
未回答	0

- ・石っこクラブで覚えた折り紙を家で何度もやったり楽しそうでした。
- ・お家に帰ってくると、「今日はこれを作ったよ!」と嬉しそうに報告をしてくれて、私もとても嬉しかったです。
- ・いろいろな経験をさせてもらったから
- ・少人数の低学年だけのクラスだったため、子どもが安心して楽しめたと思う。親としても、先生方の目が良く届いていたと思い、安心して通わせられた。学校と家庭以外での居場所となれる。
- ・毎回、楽しんで行っていた。
- ・毎回、楽しそうに感想を教えてくれた。
- ・習い事をさせていないので、色んな体験が出来るのがとても良かった。
- ・家庭で経験させてあげられないことを、経験させていただけて、とても良かったです。
- ・自主的に考えたり、友だちと話したりする機会が増えるのは良いと思う。
- ・教室を楽しみにしている様子だったので、参加させて良かったです。

【3】放課後子供教室の実施回数と曜日はいかがですか。

質問事項	回答数	意見
<回数> 週1回で良い	8	
<回数> もっと増やしてほしい	4	・2～3回(1) ・2回(3)
質問事項	回答数	意見
<曜日> 火曜日又は水曜日で良い	9	
<曜日> 他の曜日が良い	2	・水曜以外 ・木曜 ・火曜がよい

原市放課後子供教室 保護者

- 【4】 お子さんが放課後子供教室に参加してから、変わったと思うことはどのようなことですか。(複数回答可)
 【5】 【4】の中で、特に変わったと思うことはどのようなことですか。

質問事項	【4】	【5】
① 家の中よりも屋外でよく遊ぶようになった	1	0
② 違う学年の友達とよく遊ぶようになった	3	2
③ 誰とでも遊ぶようになった	4	0
④ 祭りやスポーツ大会など地域の行事に積極的に参加するようになった	3	1
⑤ 宿題や勉強を積極的にやるようになった	2	0
⑥ テレビゲームをしたりマンガを読んだりすることが少なくなった	0	0
⑦ 地域の大人のひととあいさつをしたり、話をしたりするようになった	4	3
⑧ 自分より年下の子の面倒をよく見るようになった	1	1
⑨ 自分で考えて遊ぶようになった	6	4
⑩ 以前よりも活発で明るくなった	0	0
⑪ 落ち着いた行動が取れるようになった	0	0
⑫ ルールや決まりを守れるようになった	2	0
⑬ 我慢強くなった	0	0
⑭ 大人の言うことを聞くようになった	1	0
⑮ 家の手伝いを積極的にするようになった	0	0
⑯ 興味があることは自分で進んで調べたりするようになった	6	0
⑰ 後片付けを積極的にするようになった	1	0
未回答	0	1

【6】お子さんが放課後子供教室に参加したことによって、あなたご自身の気持ちや暮らし方などに何か変化はありましたか。自由にお書きください。

・教室で何をしたら話してくれるので、親子の会話が増えました。教室での様子を写真に撮って配布してくださるので、親も活動内容をイメージしやすく、楽しく会話ができています。

・一緒に教わったことを家でもやったり、話したりすることが増えた。休みの日に実際に古墳を見たり、資料館に行ったりと行動範囲が広がりました。

・宿題を終えて帰ってきて、私も娘も気持ち的な余裕ができました。娘もお友達と先生たちと遊んだことをとっても楽しそうに話してくれて毎回楽しみでした！

・子供から教えてもらうことが増えた。

・地域の子どもののかかわりをもっと深めていきたいと思った。

・幅の広い活動にふれる機会となった。

・子供が毎週木曜日を楽しみに過ごしており（石っこがあるので）その様子を見ていて、子が楽しんでいるのがわかり嬉しかった。2年生や、他クラスの子とも交流があり、また、地域の方やいろんな年齢の方々と接する機会は、子供にとって、良い刺激になったと思う。また、地域の活動や行事に興味を持つようになった。

・もっといろいろなものに興味をもってもらえるよう、子ども目線で考えるようになった。

・「今日は石っこ教室だよ」と伝えと、「やったー！」と喜んで学校へ行きます。子供の笑顔が見られて、私も嬉しくなります。

・安心して子を預けられるので、家事にゆとりができました。16時半までなので、病院や買い物等、自分の時間が増えました。

【7】放課後子供教室の活動についてお子さんと話をしたり、教室で習ったことを家庭で親子で行うなどをしたことがありますか

質問事項	回答数
① 良くしている	4
② 時々している	8
③ ほとんどしない	0
④ したことがない	0
未回答	0

自由記述

- ・編み物の毛糸で遊んだりしていました。
- ・おり紙、あみもの
- ・マフラー作り、折り紙
- ・おかし作り
- ・ゆびあみ、切絵、おりがみ、マジック、紙ひこうきとばし
- ・吹き矢で高得点・バレーボール
- ・クッキーづくり、ボードゲーム、かるた
- ・体験系の日は特に楽しかった！と帰りの車から話をしてくれました。
- ・紙ひこうき・おやつ作り・あみもの
- ・よく、教室でやっていたことを、家庭でも何度も作っていました。どれも楽しかったのだと思います。
- ・手品の本を図書館で借りてみた。行田で古墳を見に行き登ってみた。指編みを家でも妹の分を作ってくれました。
- ・おやつづくり、あみもの

【8】お子さんが放課後子供教室に参加するようになってから、親子の会話の頻度に変化はありましたか。

質問事項	回答数
① とても増えた	0
② やや増えた	9
③ 変わらない	3
④ やや減った	0
⑤ とても減った	0
未回答	0

原市放課後子供教室 保護者

【9】あなたは、お住まいの地域で放課後子供教室が実施されていることにより、地域において変わったと思うことはありますか。

質問事項	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	未回答
① 子供たちが外で遊んでいる様子をよく目にするようになった	3	8	1	0
② 地域の大人と子供達があいさつを交わしたり、話したりしている様子をよく目にするようになった	4	8	0	0
③ 地域の大人同士があいさつを交わしたり、よく話をするようになった	4	7	1	0
④ 祭りなどの地域行事や子供の大会に参加する子供が増えた	6	5	1	0
⑤ 祭りなどの地域行事や子供の大会に参加する大人が増えた	5	6	1	0
⑥ 危険な子供の行動に大人が注意するようになるなど、地域がより安全になった	1	8	2	1
⑦ 学校や地域の行事に参加する保護者が増えた	1	9	1	1

【10】今後の「放課後子供教室」に、どのようなことを望みますか。（複数回答可）

質問事項	回答数
① いろいろな体験活動を充実してほしい	12
② 子供にとって安心・安全な居場所にしてほしい	8
③ 子供がやりたいことをやらせてほしい	1
④ 地域の大人がもっと参加するようにしてほしい	0
⑤ 勉強（宿題）を教えてほしい	1
⑥ 実施回数を増やしてほしい	5
⑦ その他	0
未回答	0

原市放課後子供教室 保護者

【11】 あなたは、放課後子供教室は、どのような点で効果や利点があると思いますか。（複数回答可）

質問事項	回答数
① 子供が異学年の子と交流できる点	7
② 地域の大人同士が交流できる点	1
③ 子供が地域の大人と交流できる点	8
④ 学校と地域、家庭とが連携できる点	2
⑤ 地域伝統文化を子供に体験させられる点	5
⑥ 子供が安心して過ごせる居場所ができる点	7
⑦ 子供が自由に遊びや体験ができる点	6
⑧ 特に有効だと思わない	0
⑨ その他	0
未回答	2

【12】 その他（自由記述）

・今年も参加させていただきありがとうございました。来年も参加する気満々なので、よろしくお願いいたします。

・とても充実した木曜日でした。他の学校の人からもうらやましがられる「石っこクラブ」でした。先生方も1年間ありがとうございました。また来年も入れたらよろしくお願いします。

・3年間、本当にお世話になりました。娘は毎週火曜日を楽しみにしており、いつも石っこクラブに救われていました。私も、もっと子どもへの関心を増やし、地域へ貢献出来たらと思いました。

・約1年間ありがとうございました。先生方やボランティアの方々がいつもあたたかく子供たちを見守り、導いてくださっているのが伝わってきました。入学式直前に、県外から引っ越してきたこともあり、親子ともども見知らぬ土地で不安もありましたが、石っこクラブに通うことで、先生方や地域の方、子どもも他のクラスや学年のお友達と交流でき、地域とつながりができて、石っこに参加して本当に良かったと思っています。ありがとうございました。また来年も通いたいと子供が申しています！！

・初めて参加させていただきましたが、子供が学校よりも楽しみにしている時間でした。家ではなかなか体験させてあげられないことをたくさん教えていただき、とても感謝しています！

・1年間ありがとうございました。たくさんの経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

・家にいるだけではできない遊びや体験をさせてくださり、とても良い経験になりました。ありがとうございました！

教育活動サポーター アンケート結果

【1】放課後子供教室を実施したことによって、参加している子供たちの様子や態度に何か変化は見られましたか

質問事項	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	未回答
① 自分より年下の子供の面倒をよく見るようになった	7	11	1	0
② 以前よりも活発になった	9	8	2	0
③ 落ち着いた行動が取れるようになった	5	13	1	0
④ 自分勝手な行動が少なくなった	3	9	5	2
⑤ 相手を思いやり、気を配るようになった	4	13	2	0
⑥ ルールや決まりを守れるようになった	4	13	2	0
⑦ 言葉や礼儀正しい行動が取れるようになった	8	10	1	0
⑧ 我慢強くなった	4	13	2	0
⑨ 大人の言うことを良く聞くようになった	6	10	3	0
⑩ 後片付けなどを積極的にするようになった	8	10	1	0
⑪ 興味があることは自分で調べたりするようになった	12	7	0	0
⑫ 誰とでも遊ぶようになった	7	4	1	0

〈その他〉

- ・子供教室に参加することを楽しみにしている。たくさんの体験を通じ、確実に成長している。
- ・毎年参加している子供たちは慣れてきて下の子に教えているのを見て頼もしく思いました。
- ・机やいすなどの片づけや、モップがけなど、お手伝いをしてくれる子どもたちが増えました。
- ・学年に関係なく、活発で元気な子供と冷静で少し控えめな子供との差があるため、静かに宿題をしている子供にとってちょっと迷惑そうな場面がありました。このような時はボランティアはどのように対処すればと悩みます。
- ・体が動かす日程を増やしたらいいと思います。
- ・集団生活でのルール、相手の事を思いやる気持ち、心身の成長が喜ばしい限りです。
- ・昨年からお世話になったため、以前の子供達の様子や態度の変化がわからない質問内容もありました。低学年と高学年とは多少違いますが、何人かは元気が良すぎて私たちの言うことをきいてくれない子供たちがいました。
- ・元気な子に大人しい子が遠慮している感じがしましたが、次第に大人しい子なりに居場所を見つけ、それなりに楽しんでいるようでした。
- ・自由時間は、同性同士で遊ぶことが多く、男子は将棋や囲碁ゲーム、女子は折り紙、シールづくり、ゲーム等、授業中、グループで活動するときは、学年に関係なく協力しあっています。1年生の男子ですが、普段、やんちゃでイタズラをしては困らせることもあります。興味のあることは、例えば本に集中している様子が見られました。なぞときゲームなど、本を見て覚えたそうです。
- ・参加する子供たちによって、性格の違いが大いに目立ち、全体を通していつも統制が取れているという状態ではないように思えた。・自己主張が多く、たびたび言い合いの場もあり、仲裁に入ることもしばしば。成長の証でしょうか。
- ・年度当初は走りまわったり、大声を出していた児童も徐々に良くなったように感じました。
- ・友達とにぎやかに入室していたが、1人で1番に来るようになった。「急いできた！」という話で宿題をはじめていた。

放課後子供教室 サポーター

【2】放課後子供教室に参加したことによって、あなたご自身の気持ちや暮らし方などに何か変化はありましたか

質問事項	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	未回答
① 地域でいろいろな子供に声をかけ、交流を持つようになった	9	7	1	3
② 地域の人とあいさつを交わしたり、よく話したりするようになった	9	6	1	3
③ 地域の様々な問題を地域の人と話したりするようになった	3	12	1	3
④ 地域の子供に対する意識や関心が高くなった	12	6	0	1
⑤ 子供の居場所づくりに関する意識や関心が高くなり、子供教室に積極的に参加するようになった	10	5	1	3
⑥ 町会や自治会などの地域の団体・組織の活動に以前より積極的に参加するようになった	7	11	0	1
⑦ 地域の学校や子供の集まる施設について意識や関心が高くなった	7	9	0	3
⑧ 地域の人の中に知人や友人が増えた	5	10	1	3
⑨ 地域の人に「子供教室」への参加を呼びかけた	5	9	2	3

〈その他〉

- ・子供一人一人の個性が十人十色で言葉の選び方に注視できることを意識できるようになりました。
- ・子供たちのその日の顔色を監視するようになった
- ・地域の方々と関わる事により、いろいろ話すようになり協力し子供たちを見守ることができました。
- ・児童が、学校の登下校するときに出会った時は、積極的に挨拶を交わすよう心掛けています。子ども教室外で出会った時に声をかけられたりするととても嬉しく親しさを感じます。
- ・地域に子供が少なくなり、話すことがなくなった。外で遊ぶ子供たちの声も聞こえなくなりました。
- ・別にありませんが、以前から地域の見守りを行っていますので変化はありません。
- ・4月から町内会の班長です。関心を持って取り組んでいきたいと思っています。

放課後子供教室 サポーター

【3】あなたは、放課後子供教室は、どのような点で効果や利点があると思いますか。（3つまで）

質問事項	回答数
① 子供が異学年の子と交流できる点	9
② 地域の大人同士が交流できる点	1
③ 子供が地域の大人と交流できる点	9
④ 学校と地域、家庭とが交流できる点	3
⑤ 地域伝統文化を子供に体験させられる点	12
⑥ 子供が安心して過ごせる居場所ができる点	13
⑦ 特に有効だと思わない	0
⑧ その他	8
未回答	0

〈その他〉

・各項目に利点があり、3つを選ぶことに苦慮しました。子供たちが「今日は楽しかった」と言って帰られたらホッとします。

・子供が興味があり物の作りがかなり良いと思います。

・毎回何か新しい発見があります。かわいいです。

・特に子供たちとのコミュニケーション（信頼関係）が持てたと思います。

・茶道はなかなか経験できませんので、良かったと思います。

・学校や家庭ではできない体験ができる点。地域の大人と交流ができる事や地域伝統文化など学べる点

・静かに宿題をしている子もいれば、部屋の中を走り回りふざけ合う子もいます。が、どんなに騒いでいても興味関心のある内容には集中している様子を見ると、この教室での経験が「自分の好きなことを見つけられる」機会になってくれればと思います。

放課後子供教室 サポーター

【4】今後、放課後子供教室の取り組みをより発展させていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（3つまで）

質問事項	回答数
① 指導員やサポーター・ボランティアの協力・拡充	8
② 子供のニーズに合った実施内容の改良	9
③ 指導員やサポーター・ボランティアの研修の充実と資質向上・情報交換の場づくり	1
④ 多くの子供が参加できる場所や開催日の検討	7
⑤ 地域の方の理解と協力	0
⑥ 学校の理解と協力	5
⑦ 保護者の理解と協力	0
⑧ 人件費や活動費などの各種経費の確保	3
⑨ 行政の継続した支援	13
⑩ その他	11
未回答	0

〈その他〉

- ・行政の継続支援をはじめ、指導員・サポーター・ボランティア等の協力など子供たちが安心して楽しく参加できる場所作りを提供できるよう、社会、地域交流に取り組むことが大事なことと思います。
- ・知らない事、やってみたら楽しい、各種の講座により多くの知識や経験が豊富でありますように。
- ・予算の問題があると思いますが、学童以外にも、いろいろな小学校で（地域の施設等で）放課後子供教室を取り組んでほしいです
- ・来年度は週1の実施とのことで、曜日により他の習い事で参加できない子もいると思います。これまでのように週2の開催が良かったかなと思います。
- ・以前はコーディネーターの先生に「お任せ」という感じでしたが、今年度は桑原さんが入ってくださり協力体制ができてとても良かったと思います。
- ・参加できる場所がもっと増えることを楽しみにしています。
- ・お二人のコーディネーターのご尽力により、講座の内容がベストだと思います。
- ・自分の乏しい経験と感覚で教室に参加させていただいております。この身には研修が必要だと痛感しているところです。よろしくお願いいたします。

【5】その他（自由記述）

- ・講座によって興味がないと自分勝手な行動になる子があります。子どもによっては他の子を仲間にとりこんで講座に支障をきたすことがある。注意はしますがなかなか難しいです。

- ・子供たちにとって、今迄経験してなかった遊びを地域のボランティアの方々の協力により、遊びの環境づくり～体験活動まで、指導していただき、楽しい時間を皆で共有して、参加できたこと。これまでになく大きな収穫となり思い出に残る機関であったように思います。

沢山の子供たちがこうした場所で体験活動をし成長の糧に加えていってほしいと思います。

- ・子どもが欠席をする場合…同じクラスの子もから「〇〇ちゃんは今日学校を欠席したよ」と聞いて休みだとわかることがあります。連絡がコーディネーターの先生に伝わっていないことが度々ありました。

- ・孫のような年代の子どもたちと一緒にいろいろな体験や遊びができて楽しいです。このような機会をいただき感謝しています。

- ・子供たちの様子をよく観察し、けっして強制せず、良い悪いのメリハリを持ち、遠くから様子を見て子供の支援にあたっては、その子供の状況や背景を正しく見立てることだと思いました。

- ・昨年まで全員名札で対応しましたが、今年はそれがなくなり必要に応じて着用していました。名札着用すれば子供たちの名前が着用しない場合より覚えやすいと思いました。

- ・私事 来年度から子供教室の編成変更予定と伺い、これまでの木曜日参加可能でサポーターとして学ばせていただいたのですが調整できず、参加できなくなり、とても残念に思います。またご縁がありましたらぜひ参加したいと思います。共に学ばせていただき、ありがとうございました。

- ・お世話になり、ありがとうございました。お子さんによって、言葉かけに対して、反抗的な態度が見られることがありました。どの程度、注意してよいものか、難しかったです。言うてはいけない言葉や、危険なことは黙認できず、強めに注意しました。子どもたちは、放課後の楽しい居場所として来ているので、良い気持ちで帰ってもらいたいですが…。全体的には、どのお子さんも楽しく活動できたと思います。

- ・学年を越えて交流の場であったこと。子供たちが安心して過ごせる場所でもあった。指導者のカリキュラムづくりに頭が下がる思いを持った。ご苦労様でした。

生涯学習課 事業紹介②

子ども大学



別冊資料 4

1. 子ども大学とは

1. 子ども大学とは



大学教授や地域の専門家等が講師となり、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行う事業。NPOや自治体が運営の母体となったり、大学や団体、自治体等が実行委員会を組織したりと「地域の教育力」を結集した運営が行われている。

1. 子ども大学とは



※埼玉県WEBサイトより引用
<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/station/kodomodaigaku.html>

1

2

3

4

1. 子ども大学とは



チュービンゲン大学

- ・2002年、ドイツのチュービンゲン大学で初めて開催。子どもたちの間で人気を博しヨーロッパ中に広がる。
- ・平成21年3月、日本初「子ども大学かわごえ」誕生。埼玉県はこの取組をモデルに、県内の子ども大学開校を推進。

5

1. 子ども大学とは

埼玉県内の
子ども大学開校状況



全52校

※令和7年度現在 中止含む

あげお子ども大学、子ども大学あげお・いな・おけがわ、子ども大学あさか、子ども音楽大学いるま、子ども大学おがわ、子ども和紙大学おがわ・ひがしちぶ、越生子ども未来大学、子ども大学かすかべ、子ども大学かそ、子ども大学かわぐち、子ども大学かわごえ、子ども大学きたもと、子ども大学きょうだ、子ども大学くき、子ども大学くまがや・なめがわ、子ども大学こうのす、子ども大学こしがや・まつぶし、子ども大学SAITAMA、子ども大学さつて、子ども大学さやま、子ども大学さやま・いるま、子ども大学しき、子ども大学すぎと、特別支援子ども大学☆すばる★、子ども大学そうか、ときがわ一つ星大学こども学部、子ども大学ところざわ、子ども大学とだ、子ども大学にいざ、子ども大学にしいるま、子ども大学はすだ・しらおか、子ども大学はとやま、子ども大学はにゅう、子ども大学はんのう、子ども大学ひがしまつやま、子ども大学ひだか、子ども大学ふかや、子ども大学☆ふじみ、子どもスポーツ大学☆ふじみ、子ども文化芸術大学☆ふじみ、子ども大学ふじみ野、子ども大学ほんじょう、子ども大学みさと、子ども大学みやしろ、子ども大学みよし、八潮子ども夢大学、子ども大学よしかわ、子ども大学よしみ、子ども大学よりい、子ども大学らんざん、子ども大学わこう、子ども大学わらび

6

2. 上尾市の取り組み

2. 上尾市の取り組み



(1)子ども大学あげお・いな・おけがわ
平成23年度開校。
聖学院大学・日本薬科大学・上尾市教育委員会・伊奈町教育委員会・桶川市教育委員会の5団体で実行委員会を組織し運営。

7

8

2. 上尾市の取り組み



(2) あげお子ども大学

平成26年度開校。上尾市単独の事業。

9

2. 上尾市の取り組み

これまでの歩み

平成23年度	・聖学院大学、日本薬科大学、埼玉県教育局、上尾市教育委員会、伊奈町教育委員会、桶川市教育委員会、NPO法人マナビバの7団体による「子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会」発足。 ・11月、「子ども大学あげお・いな・おけがわ」開校。
平成25年度	・同年度末をもって、埼玉県教育局、NPO法人マナビバが「子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会」から脱会。以降は5団体による組織を継続。
平成26年度	・聖学院大学と上尾市との包括協定に基づく連携事業として「あげお子ども大学」開校。次年度以降は上尾市単独の事業として継続。
令和 2年度	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子ども大学2事業を中止。
令和 3年度	・募集人数を60名から40名に絞り「子ども大学あげお・いな・おけがわ」再開。 ※「あげお子ども大学」は中止継続。
令和 4年度	・「あげお子ども大学」再開（募集人数は変更せず）。
令和 5年度	・「子ども大学あげお・いな・おけがわ」の募集人数を60名に戻し実施。

10

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

11

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

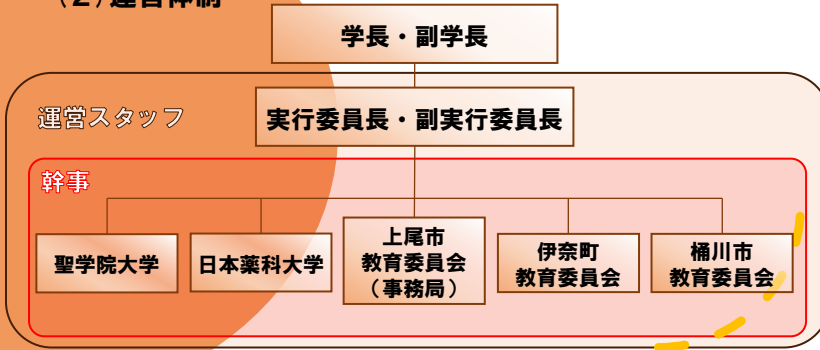
(1) 概要

運営体制	二大学三自治体の実行委員会形式による運営
講義数	全5回 ※各大学2回、各自治体が年度ごとに交代で1回を企画・実施
対象者	上尾市・伊奈町・桶川市在住の小学校5・6年生
定員	60名 ※応募者が定員を超えた場合は抽選
募集方法	各自治体の広報誌・ホームページ掲載、対象児童へチラシ配布、SNS発信 等
参加費	1,500円
特長	二大学の特色、三自治体の地域の魅力を生かした幅広い種類の講義の実施

12

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(2) 運営体制



13

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(2) 運営体制

学長・副学長	聖学院大学・ 日本薬科大学	※主に各大学の学長がそれぞれ就任
実行委員長・ 副実行委員長		実行委員会総括 ※各大学の運営スタッフが就任
事務局	上尾市	事務処理、実行委員間の調整、その他 庶務
会計		実行委員会予算管理
幹事	聖学院大学・ 日本薬科大学	講義企画・実施
	上尾市・伊奈 町・桶川市	学生募集、学生との連絡調整、 講座企画・実施

14

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績

実施日、会場 (全5回)	①6月14日(土) 聖学院大学 ※入学式 好きなことを仕事にする—子どもに英語を教える仕事を体験しよう—
	②7月26日(土) 聖学院大学 あなたの国のマナーを教えて！—外国でラクに暮らせるヒミツを留学生と考えよう！—
	③8月2日(土) 学校法人佐藤栄学園 埼玉自動車大学校 ※伊奈町企画 自動車のメカニズムを知ろう！
	④8月23日(土) 日本薬科大学 食べ物の中のブドウ糖を検出してみよう
	⑤8月30日(土) 日本薬科大学 ※修了式 遺伝子のレベルでお肉の種類を調べてみよう！—これで君も科捜研？—
参加者	上尾市 41名
	桶川市 10名
	伊奈町 12名
計 63名(延べ参加人数 268名) ※応募者69名のうち6名辞退	

15

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義1日目

講義	「好きなことを仕事にする —子どもに英語を教える仕事を体験しよう—」
日時	6月14日(土) 9時20分から11時30分
会場	聖学院大学 チャペル、エルピスホール
講師	東 仁美 先生(聖学院大学)
内容	小学校英語指導者の資格取得を目指す大学生等と一緒に、子ども向けの英語教材作成等のワークショップを行う。



16

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義1日目

- 講 義 「好きなことを仕事にする
—子どもに英語を教える仕事を体験しよう—」
- 出席者 57名
- 感想
- ・英語を教える人の立場になって、いつもと違うことを考えられた
 - ・絵本を作ることが楽しかった。英和辞典で言葉を書くことが難しかった
 - ・好きなことを仕事にする幸せさと、みんなとの交流が心に残った



e t c

17

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義2日目

- 講 義 「あなたの国のマナーを教えて！
—外国でラクに暮らせるヒミツを留学生と考えよう！—」
- 日 時 7月26日(土) 10時から11時45分
- 会 場 聖学院大学 2号館 2403教室
- 講 師 ロバート・ローランド 先生（聖学院大学）
- 内 容 留学生等とコミュニケーションを取りながら、異文化コミュニケーションを体験する。



18

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義2日目

- 講 義 「あなたの国のマナーを教えて！
—外国でラクに暮らせるヒミツを留学生と考えよう！—」
- 出席者 53名
- 感想
- ・留学生の話しが聞けて楽しかった。日本・ベトナム・インドの違いが知れて面白かった。
 - ・地域ごとにマナーが違って面白かった。不思議なマナーや習慣があって面白かった。
 - ・日本ではダメなことでも、外国ではいいということがわかった。



e t c

19

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義3日目

- 講 義 「自動車のメカニズムを知ろう！」
- 日 時 8月2日(土) 9時30分から12時15分
- 会 場 学校法人佐藤栄学園 埼玉自動車大学校
- 講 師 埼玉自動車大学校教員
- 内 容 自動車の仕組みやメカニズムを学ぶとともに、実際の車両を使用した点検やスポーツカーの乗車等を体験する。



20

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義3日目

講 義 「自動車のメカニズムを知ろう！」

出席者 49名

感想

- ・電気自動車は環境に優しく速い。あまり無駄がないことがわかった
- ・お父さんが、タイヤを移動させるとき、重くて転がしている理由がわかった
- ・スポーツカーに乗った時、思ったよりも速くてびっくりした

e t c



21

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義4日目

講 義 「食べ物の中のブドウ糖を検出してみよう」

日 時 8月23日(土) 9時から12時

会 場 日本薬科大学 研究実習棟 3階実験室

講 師 篠崎 文夏 先生(日本薬科大学)

内 容 身近な食べ物からブドウ糖を検出する実験を行い、どの野菜や果物がより多くのブドウ糖を含んでいるか比べてみる。



22

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義4日目

講 義 「食べ物の中のブドウ糖を検出してみよう」

出席者 52名

感想

- ・色々な食べ物を使ってブドウ糖を検出することが出来て楽しかった
- ・でんぷんはブドウ糖が集まってできているということを知った。大根の糖度が意外と高かった
- ・もやしはブドウ糖が少ない。ぶどうは多いということがわかった

e t c



23

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義5日目

講 義 「遺伝子のレベルでお肉の種類を調べてみよう！—これで君も科捜研?—」

日 時 8月30日(土) 9時から12時30分

会 場 日本薬科大学 研究実習棟 3階実験室

講 師 齋藤 博 先生(日本薬科大学)

内 容 正体の伏せられた数種類の肉が用意され、何の動物の肉かをPCR法により特定する実験を通じて、遺伝子技術に触れる機会を得る。



24

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 講義5日目

講 義 「遺伝子のレベルでお肉の種類を
調べてみよう！ーこれで君も科捜研？ー」

出 席 者 57名

感 想 ・お肉の遺伝子だけで、肉の種類がわかってすごい
と思った。他の肉の遺伝子も調べてみたい
・遺伝子実験ができることが珍しく、楽しかった。学
校では見ない器具がたくさんあってびっくりした。
・繊細な作業は難しかったけれど楽しかった

e t c



25

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 最終アンケート（参加者）

学習に参加してみて、どんな感想を持ちましたか。（複数回答可）

選択肢	回答数	全体の 回答割合
講義がわかりやすく、楽しく学習できた	51名	81.0%
興味を持って進んで学習に取り組めた	46名	73.0%
なるほどと思ったり、心に残ったりすることが多かった	39名	61.9%
新しい友だちができてよかった	34名	54.0%
来年も参加してみたい	29名	46.0%

26

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 最終アンケート（参加者）

満足度はどうですか。

選択肢	回答数	全体の 回答割合
とても満足	48名	76.2%
まあまあ満足	7名	11.1%
あまり面白くなかった	0名	0.0%
つまらなかった	0名	0.0%

27

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和7年度実績 最終アンケート（保護者）

感 想 ・お兄さん、お姉さんたちに教えてもらう機会があっ
て良かった。学校の先生とは違う方と接する機会が
刺激になる部分もあった
・参加する前は、めんどくさがっていたが、参加した
後は必ず来てよかった。楽しかったと言っていた。
小学生では体験できない経験をして、弟が既に参加
したいと言っていた
・初対面の子とグループディスカッションをするとい
う貴重な機会となり、積極性が身についたと思う

e t c

28

3. 子ども大学あげお・いな・おけがわ

(3) 令和8年度実施予定

実施日、会場 (全5回)	①6月27日(土) 聖学院大学 ※入学式 みんなが安心して暮らせる街にするには？—福祉とソーシャルワークを学ぼう—
	②7月11日(土) 元荒川水循環センター ※桶川市企画 水の中の世界をのぞいてみよう—下水道と微生物のはたらき—
	③7月25日(土) 聖学院大学 ソーシャルワーカーを体験しよう！—スクールソーシャルワーカーになって考えてみよう—
	④8月23日(土) 日本薬科大学 味覚の不思議 —味覚を科学的に考える—
	⑤8月30日(土) 日本薬科大学 ※修了式 放射線と放射能
参加者	上尾市 43名 ※前年度比 +2名
	桶川市 7名 -3名
	伊奈町 7名 -5名
	計 57名 -6名

29

4. あげお子ども大学

30

4. あげお子ども大学

(1) 実施概要

運営体制	上尾市生涯学習課単独の運営
講義数	全3回
対象者	上尾市在住の小学校5・6年生
定員	30名 ※応募者が定員を超えた場合は抽選
募集方法	自治体の広報誌・ホームページ掲載、対象児童へチラシ配布、SNS発信 等
参加費	不定 ※実施する内容に応じて設定
特長	上尾市内のみならず、近隣市町村の大学や企業等に講師を依頼し、幅広い種類の講義を実施する

31

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績

テーマ	いろいろな芸術に触れてみよう ※令和7年度は統一テーマを決めて実施
会場	上尾市立富士見小学校特別教室
実施日 (全3回)	①3月 7日(土) 自分発見！アートの世界
	②3月14日(土) 日本の伝統楽器 お箏（こと）を弾いてみよう！
	③3月21日(土) 古代文字を書いてみよう
参加者	24名（延べ参加人数 60名）※応募者26名のうち2名辞退

32

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績 講義1日目

講 義 「自分発見！アートの世界」
 日 時 3月7日(土) 午前9時30分から正午
 講 師 鈴木 佳子 先生
 (日本美術展会友、埼玉県美術家協会・上尾市美術家協会会員)
 内 容 前半は座学で自己表現について学び、後半は参加者が自由に持ち込んだ画材を使用して、思い思いの絵を描く。



33

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績 講義1日目

講 義 「自分発見！アートの世界」
 出席者 23名
 感想
 ・絵にかいて自分の好きなものを表せました。家でも定期的に絵をかいてみたいです。
 ・前から絵をかくのが好きでしたが、もっと好きになりました。他の人と話しながらかくのも楽しかった。
 ・私は図工が苦手でしたが、今日先生が様々なコツを教えて下さり、頑張りたいと思いました。自分らしさを表せるように絵を楽しみたいです。



e t c

34

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績 講義2日目

講 義 「日本の伝統楽器お箏（こと）を弾いてみよう！」
 日 時 3月14日(土) 午前9時30分から正午
 講 師 清水 和鳳 先生（山田流箏術教授、上尾市文化団体連合会理事）
 沖田 千織 先生（生田流沢井箏曲院講師、上尾高校箏曲部指導者）
 内 容 日本の伝統楽器であるお箏の弾き方を学び、簡単な曲を演奏する。



35

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績 講義2日目

講 義 「日本の伝統楽器お箏（こと）を弾いてみよう！」
 出席者 18名
 感想
 ・ことのことをとてもよくしれた。引きかたなどが、分かりやすかった。
 ・げんはおくにいくにつれ音の高さが低くなることがわかった。げんの数さえ分かれば簡単にひけた。
 ・さくらさくらが学校のやつよりむずかしかったからおどろいた。でも楽しかった。



e t c

36

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績 講義3日目

講 義 「古代文字を書いてみよう」
 日 時 3月21日(土) 午後1時30分から4時
 講 師 権田 瞬一 先生
 (大東文化大学 文学部中国文学科助教、日展出展歴多数)
 内 容 様々な古代文字と漢字の成り立ちを学び、実際に筆で古代文字を書いてみる。



37

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績 講義3日目

講 義 「古代文字を書いてみよう」
 出席者 19名
 感想 ・かい書やぎょう書などの言葉をはじめて知った。甲骨文、金文、大篆の言葉もはじめて知った。
 ・本当に絵のような文字もあって、習字というより絵をかいているような感覚でした。
 ・文字の歴史を学ぶ事が出来ました。実際に書く事で楽しさを味わえました。更に深く調べてみたいです。



e t c

38

4. あげお子ども大学

(2) 令和7年度実績 最終アンケート(参加者)

学習に参加してみて、どんな感想を持ちましたか。(複数回答可)

選択肢	回答数	全体の回答割合
講義がわかりやすく、楽しく学習できた	16名	66.7%
興味を持って進んで学習に取り組めた	16名	66.7%
なるほどと思ったり、心に残ったりすることが多かった	16名	66.7%
新しい友だちができてよかった	11名	45.8%
5年生：来年もあったら参加してみたい 6年生：中学生になっても、同じようなイベントがあったら参加したい。	17名	70.8%

39

4. あげお子ども大学

(3) 令和7年度実績 最終アンケート(参加者)

満足度はどうですか。

選択肢	回答数	全体の回答割合
とても満足	18名	75.0%
すこし満足	1名	4.2%
つまらなかった	0名	0.0%

40

4. あげお子ども大学

(3) 令和7年度実績 最終アンケート（保護者）

- 感想
- ・1日目の美術で、みんなで褒め合う空気が心地よかったようで、自己肯定感が上がったと話していた。
 - ・学校では学べない事を学べてとてもよい機会になりました。また参加させていただきたいです。
 - ・他の学校の子たちと交流できたのが良かったようで、同じ中学に通う子と入学式で会おうと言ってきたようです。
 - ・スポット的なものよりも3回参加することで、子ども同士の交流がよくできたようで、とても楽しそうでした。 e t c

41

4. あげお子ども大学

(3) 令和8年度実施予定

※未定



42

5. 今後の課題

43

5. 今後の課題

(1) 応募者の安定した確保

①子ども大学あげお・いな・おけがわ 過去10年の応募人数の変遷

年度	上尾市	伊奈町	桶川市	応募者計	備考
令和8年度	43名	7名	7名	57名	応募期限延長
令和7年度	46名	12名	11名	69名	
令和6年度	31名	12名	2名	45名	応募期限延長
令和5年度	43名	8名	7名	58名	
令和4年度	37名	2名	7名	46名	募集人数40名
令和3年度	45名	15名	10名	70名	募集人数40名
令和2年度	—	—	—	—	事業中止
平成31年度	37名	5名	18名	60名	
平成30年度	57名	8名	15名	80名	
平成29年度	36名	4名	12名	52名	

44

5. 今後の課題

(1) 応募者の安定した確保

②あげお子ども大学 過去10年の応募人数の変遷

年度	応募者	備考
令和8年度	—	募集前
令和7年度	26名	
令和6年度	17名	
令和5年度	22名	
令和4年度	44名	
令和3年度	—	事業中止
令和2年度	—	事業中止
平成31年度	28名	
平成30年度	47名	
平成29年度	32名	

45

5. 今後の課題

(1) 応募者の安定した確保

③対応策



- ・対象児童にとって魅力あると感じる
テーマの講義の企画と実施
- ・子ども大学事業の広報活動、宣伝
- ・自治体の連携強化

46

御清聴ありがとうございました

47

子ども大学あげお・いな・おけがわ アンケート結果

1. 講義アンケート

(1) 1日目 「好きなことを仕事にする ―子どもに英語を教える仕事を体験しよう―！」

●実施日時

6月14日(土) 入学式、講義 9時20分から11時30分

●開催場所・講師

聖学院大学 チャペル (入学式)
エルピスホール (講義) 東 仁美 先生

●内容

小学校英語指導者の資格取得を目指す大学生等と一緒に、子ども向けの英語教材作成等のワークショップを行う。

●参加人数

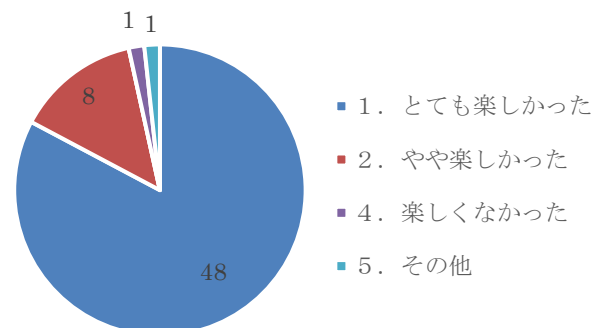
57人

●授業アンケート結果

①今日の学習は楽しかったですか？

1. とても楽しかった	48人
2. やや楽しかった	8人
3. あまり楽しくなかった	0人
4. 楽しくなかった	1人
5. その他	1人

計 58人



※「その他」は記入者が独自に追加した選択肢。

②今日の学習の感想(ためになったこと、心に残ったことなど)

- ・英語を教える人の立場になって、いつもと違うことを考えられた
- ・絵本を作ることが楽しかった。英和辞典で言葉を書くことが難しかった
- ・好きなことを仕事にする幸せさと、みんなとの交流が心に残った
- ・英語を教える立場についてわかった。英語の単語を覚えられた
- ・自分の得意なことや好きなことを仕事にしてみたいと思った。班のみんなとの活動することも楽しかった
- ・英和辞典で知らない言葉を覚えた
- ・学校の先生の仕事が思っていたよりも大変だった
- ・英和辞典を使って自分の知っている単語を引いていくと、自分が知っている単語がいっぱいあると感じた
- ・英語の辞書の引きかたがわかった
- ・絵をかくことが楽しかった
- ・辞書を引くことが楽しくて、家でもやりたいと思った
- ・好きなことで得意なことを仕事にすることができたら楽しくて幸せなことがわかった
- ・英語を使って絵本を作ること。英語で読み聞かせをすることが楽しかった
- ・みんなが優しくて楽しく作業をすることができた
- ・たくさんの人と会話ができて楽しかった
- ・英語を教える時の工夫がたくさんわかった。これから、誰かに何かを教えるときに活用したい
- ・教わる側ではなく、教える側で学ぶことができてよかった
- ・学校以外で、またやりたいと思うことが心に残った
- ・紙芝居で色を塗って、自分で英語を言うことができた
- ・英語を教える人になるには、そう簡単ではない

- ・違う市の人と一緒に勉強ができて心に残った
- ・辞書を引いて、色々な単語があり、もっとたくさん知りたいと思った
- ・辞書で知っている単語を探す体験は、初めてで面白かった
- ・知っている単語を見直すことができた。新しい単語を学ぶことができた
- ・付箋に単語を書くことが楽しかった。次回も楽しみ
- ・辞書が引きやすかった
- ・好きなことを仕事に出来る人は少なく、その仕事を辞めることはもったいないことがわかった
- ・教師の視点から考えると、大変なことがたくさんあるなどと思った
- ・英語の大切さを改めて知ることができた。辞書引き学習は家でもやりたい。好きなことを仕事にすることは素敵なことだと思った。でも好きだから悩んでしまうこともあると思った
- ・英語自体は好きではないけれど楽しめた。皆さんが色々経験したことを知って、自分のやりたいこと、出来ることを精一杯頑張ろうと思った。会ったことのない色々な人と関わって楽しかった
- ・チャペルのパイプオルガンが心に残った
- ・自分で単語を調べて書くことが心に残った。自分で書いて覚えるということは、英語をもっと知りたいということがわかった
- ・色々な英語の覚え方があることが心に残った

(2) 2日目 「あなたの国のマナーを教えて！—外国でラクに暮らせるヒミツを留学生と 考えよう！」

●実施日時

7月26日(土) 10時から11時45分まで

●開催場所・講師

聖学院大学 2号館 2403教室 文化・文化財保護担当

●内容

留学生等とコミュニケーションを取りながら、異文化コミュニケーションを体験する。

●参加人数

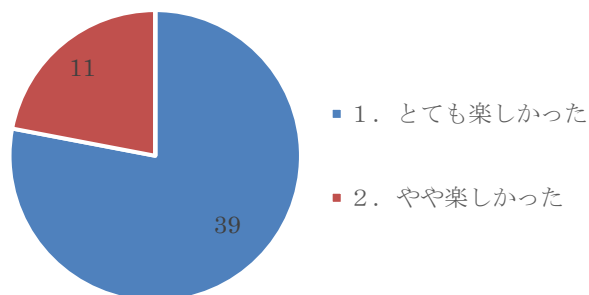
53人

●授業アンケート結果

①今日の学習は楽しかったですか？

1. とても楽しかった	39人
2. やや楽しかった	11人
3. あまり楽しくなかった	0人
4. 楽しくなかった	0人

計 50人



②今日の学習の感想（ためになったこと、心に残ったことなど）

- ・留学生の話しが聞けて楽しかった。日本・ベトナム・インドの違いが知れて面白かった。
- ・将来、外国に行く、住むことがあるかもしれない。外国のマナーを知ったり、日本のマナーを教えたりしたい。
- ・色々な国の習慣やマナーを知れた。
- ・色々な国、マナーがあるんだと思った。
- ・留学生とたくさん話せて嬉しかった。
- ・マナーが大切であるという考えが深まった。インドネシアでは、相手を大切にするという気持ちから、しっかりと握手をするということが心に残った。
- ・国によって、マナーや習慣が違うことがわかった。
- ・ベトナムでは、お茶碗を持たずに食べるということにびっくりした。

- ・ベトナムでは、ごみを分別しないことにびっくりした。
- ・他の班の意見を聞くことができた。
- ・日本以外のマナーや習慣がわかり、国の文化がわかった。
- ・中国の挨拶が「今日ご飯食べたか」というものでびっくりした。
- ・インドネシアの握手が、日本人でも意味が同じだなと思った。
- ・地域ごとにマナーが違って面白かった。不思議なマナーや習慣があって面白かった。
- ・日本とま全く違ったマナーが、たくさん聞けて面白かった。
- ・色んな国のルールやマナーを知ることができた。特に中国が面白かった。
- ・それぞれの国の、誕生日プレゼントの意味が色々あって面白かった。
- ・驚くことがたくさんあって充実した時間だった。
- ・色んな国の人と話すことができた。
- ・それぞれの国や習慣を知らない人が聞いたらびっくりするかもしれないが、教えれば理解してもらえて暮らしやすくなるのではないかと思った。
- ・周りの子や外国の方と一緒に、マナーや習慣を学べて楽しかった。自分が聞いて珍しいと思ったことでも、国の人にとっては当たり前のことなので、もっと知りたいと思った。
- ・日本ではダメなことでも、外国ではいいということがわかった。
- ・外国のマナーなどについて学ぶことができた。また、日本のことを知ってもらうこともできた。文化の違いについて学ぶことが出来て楽しかった。
- ・マナーを考えること、ごみの分別が難しいと思った。
- ・マナーがどういうものなのか改めてわかった。国や地域で違うため面白かった。
- ・インドネシアの挨拶は握手で行うこと。挨拶で愛を伝えることが素敵だと思った。わたしは、それぞれのマナーを尊重するだけでなく、行ったときに実行できるようにしたい。
- ・中国の方が教えてくれたことが心に残った。同じ発音でも嫌な意味のものはプレゼントしない。ナンを分けて食べないなど、面白い文化だなと思った。留学生の皆さんが優しく接してくれたので嬉しかった。妹にも「子ども大学いいよー」と教えたい。みんなと仲良くできた。
- ・日本では当たり前のことでも、他の国では違うこと。日本でも地域によって違うこともあった。
- ・マナーはルールのようなものだと思っていたけれど、地域や文化、宗教や歴史などが加わっていてびっくりした。
- ・海外旅行に行ったことがないので、外国の文化について知れて良かった。

(3) 3日目 「自動車のメカニズムを知ろう！」

●実施日時

8月2日(土) 9時30分から12時15分まで

●開催場所・講師

学校法人佐藤栄学園 埼玉自動車大学校 埼玉自動車大学校教員

●内容

自動車の仕組みやメカニズムを学ぶとともに、実際の車両を使用した点検を体験する。

●参加人数

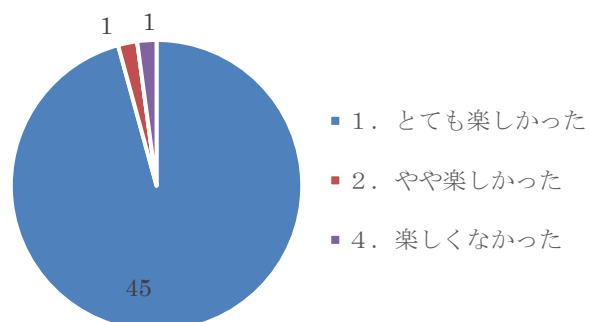
49人

●授業アンケート結果

①今日の学習は楽しかったですか？

1. とても楽しかった	45人
2. やや楽しかった	1人
3. あまり楽しくなかった	0人
4. 楽しくなかった	1人

計 47人



②今日の学習の感想（ためになったこと、心に残ったことなど）

- ・最初の乗り比べ体験では、GTR とリーフの違いが桁違いだった。FF やFR の違い、メリットやデメリットがわかった。整備のときは、わかりやすく教えてくれた。自動車の仕組みがとてもわかった
- ・スポーツカーに乗った時、思ったよりも速くてびっくりした
- ・電気自動車とガソリンで走る車の違いが心に残った
- ・エンジンの構造をCGでわかりやすく説明してくれて、とてもわかりやすかった。乗車体験では、スポーツカーが速くてびっくりした
- ・乗車体験が心に残った
- ・車について、様々なことが知れた。スピードが速い車に乗った時、楽しかった
- ・スポーツカーのスピードが、体が後ろに行くくらい速くて楽しかった
- ・エンジンの仕組みを詳しく知ることができた
- ・タイヤを付けたり外したり楽しかった。いつもは触れることができない所も触れていい経験ができた。また、スポーツカーに乗ったり、タイヤを外したりしたい
- ・普段見れない所が見れて楽しかった
- ・電気自動車は環境に優しく速い。あまり無駄がないことがわかった
- ・車のことがたくさんわかった。電気自動車がとても静かなことに驚いた
- ・車の中の構造や、エンジンの動きなど、車についてよく知れました
- ・ピストンエンジンで車を動かしていることがわかった。スポーツカーに乗り、座席に張り付いたような感じだった。自動車の下側を初めて見た
- ・自動車のメカニズムを知り、触れて特別な体験ができて楽しかった
- ・車のエンジンの動き、裏側など見ることが出来てよかった
- ・自動車の整備と2つの車の乗車体験が特に楽しかった
- ・車の動き、FF・FRがあることがわかった。4つの工程も知れた
- ・環境への負担があること、ないこと、色々な種類があって面白かった
- ・電気自動車とレーシングカーの速度が違って面白かった
- ・FF・FRの意味を知り、すごくためになった
- ・電気自動車は静かで加速もあり、発電もできるすごい車だとわかった
- ・タイヤの空気を抜いたり、水を入れたり、エンジンを付けて楽しかった
- ・普段は体験できないことで楽しかった
- ・お父さんが、タイヤを移動させるとき、重くて転がしている理由がわかった
- ・GTRが楽しかった
- ・車のことが実習を通して知れた
- ・車のエアバック、速度について知れた
- ・車のことを色々知れた。FFやFRのこと、ガソリンのことなど知らなかったことも知れた。お兄さんたちの対応も面白くて楽しかった
- ・ピストンの数は3や6がすごく安定しているとわかった
- ・スポーツカーのフルスピードに乗ったことが楽しくて心に残った。吸気、反射区、爆発、膨張、排気の工程を知れた
- ・スポーツカーがジェットコースターみたいで楽しかった
- ・エンジンの作りも学べて、車についてもっと知りたくなった
- ・自動車の作りを知ったり、運転席のボタンを押したり楽しかった
- ・説明だけではなく、実際に乗ったり、動かしたりすることが出来て楽しみながら学べた。自動車を作ることの大変さを知ることが出来た
- ・混合器が火花で爆発してエンジンが動いていることがわかった

(4) 4日目 「食べ物の中のブドウ糖を検出してみよう」

●実施日時

8月23日(土) 9時から12時まで

●開催場所・講師

講義：日本薬科大学 研究実習棟 3階実験室 篠崎 文夏 先生

●内容

身近な食べ物からブドウ糖を検出する実験を行う。

●参加人数

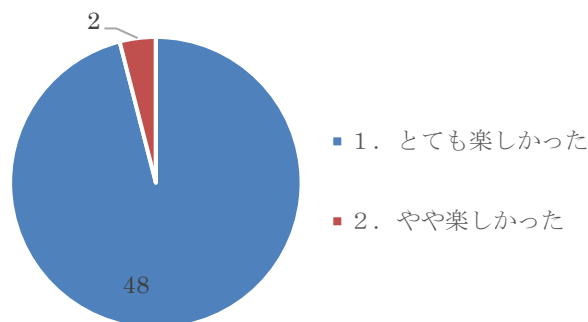
52人

●授業アンケート結果

①今日の学習は楽しかったですか？

1. とても楽しかった	48人
2. やや楽しかった	2人
3. あまり楽しくなかった	0人
4. 楽しくなかった	0人

計 50人



②今日の学習の感想(ためになったこと、心に残ったことなど)(抜粋)

- ・他の食べ物でもやってみたい。大根が意外だった
- ・初めて使う道具が多くて楽しかった
- ・実験が楽しかった。結果が面白かった
- ・色々な食べ物を使ってブドウ糖を検出することが出来て楽しかった
- ・ブドウ糖は甘いものに入っていると思っていたので、野菜にも入っていることを知り驚いた。また、薬学部ではこんなことを学ぶんだなと知ることができた。これからは成分を考えてみたい
- ・甘い場所がわかったので、食べ物を食べる時、どの辺を食べたら美味しいかわかった
- ・普通に生活をしていたら気づかないようなこと、調べることができないことが学べて新しい発見も多く楽しかった
- ・実験もでき、すごくわかりやすかった
- ・ぶどうが一番甘いということがわかった
- ・糖に種類や甘さの比べ方が色々あった
- ・紫になるのが早くてびっくりした
- ・みんなで協力して実験することができた。いつもの授業ではできないことができてよかった
- ・もやしはブドウ糖が少ない。ぶどうは多いということがわかった
- ・大根が予想していた結果と大きく違ったのでとてもびっくりした。ぶどうは他の食べ物に比べると甘いということがわかった
- ・でんぷんはブドウ糖が集まってできているということを知った。大根の糖度が意外と高かった
- ・普段できないことができて満足だった
- ・ぶどう以外にもたくさんブドウ糖があることを知った
- ・いつもと違う実験で難しかった。色々な野菜や果物のブドウ糖が知れてよかった
- ・初めに予想した結果と全然違って驚いた。説明も丁寧でわかりやすかった
- ・もっとたくさんの糖度を測ってランキングを作りたい
- ・最後にやった豆知識がためになった
- ・糖度を面白い実験で知れてよかった
- ・食べ物全てにブドウ糖が入っていることがわかった
- ・ヨウ素液みたいに紫色に反応して面白かった

- ・リンゴにブドウ糖が少なかった
- ・予想通り、ぶどうが一番ブドウ糖が高く、もやしが一番低かった
- ・レモンの中の糖度を検出する方法が小学校の理科の何倍も難しかった
- ・オレンジの甘さを色々な物を使って調べることができた。試薬と BRIX%で結果が違うことに驚いた。見たことがない機械がたくさんあって楽しかった
- ・ブドウ糖と聞いたことはあったけれど、詳しく知らなかった。どんな果物に多いかも知らなかったの、これで知ることができた。BRIX%の実験が一番楽しかった
- ・全員、フルーツを絞るのが上手だった
- ・フルーツ絞りが楽しかった
- ・糖は糖が合わさってできているということがためになった。リンゴが意外と少なくて驚いた

(5) 5日目 「遺伝子のレベルでお肉の種類を調べてみよう！—これで君も科捜研？—」

●実施日時

8月30日(土) 9時から12時30分まで

●開催場所・講師

講義、修了式：日本薬科大学 研究実習棟 3階実験室 齋藤 博 先生

●内容

PCR 法により肉の種類を特定する実験を通じて、遺伝子技術に触れる。

●参加人数

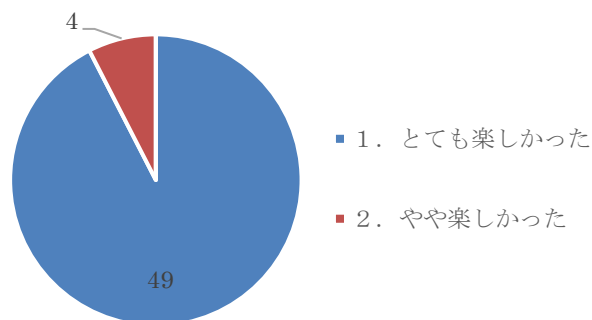
57人

●授業アンケート結果

①今日の学習は楽しかったですか？

1. とても楽しかった	49人
2. やや楽しかった	4人
3. あまり楽しくなかった	0人
4. 楽しくなかった	0人

計 53人



②今日の学習の感想（ためになったこと、心に残ったことなど）（抜粋）

○実験が楽しかった

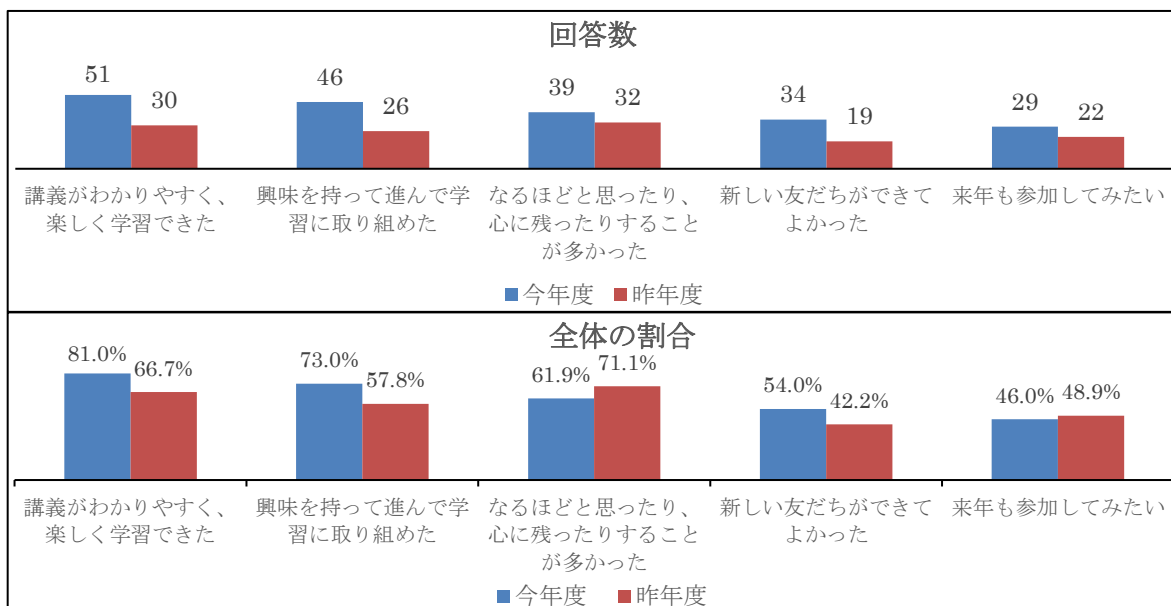
- ・お肉の遺伝子だけで、肉の種類がわかってすごいと思った。他の肉の遺伝子も調べてみたい
- ・夢は薬剤師だったので、とても楽しかった。この大学に行きたいと思った
- ・遺伝子のが、どの動物がどのくらい高いのか知ることができた
- ・お肉のことを調べるだけで3時間かかった。丁寧に行うことが大変だった。今度は魚もやってみたい
- ・予想は違ったけれど、見分け方が知れた
- ・マイクロピペットは用途に合わせて使うということがわかった
- ・遺伝子の検査前の手順をやってみて難しかった
- ・遺伝子が想像以上に多くてびっくりした
- ・今まで使ったことのない器具に触れることが出来て嬉しかった。親からの遺伝子を受け継いで自分は生きているのだと実感した
- ・遺伝子実験ができることが珍しく、すごく楽しかった。学校では見ない器具がたくさんあってびっくりした
- ・普通に過ごしていたら気づかないような遺伝子の勉強ができて楽しかった
- ・鹿肉も入れてほしい
- ・小学校では絶対に習わない授業で、難しかったけれど面白かった
- ・お肉の種類は電気泳動装置で知れる
- ・繊細な作業は難しかったけれど楽しかった

- ・機械の中に入れるのが難しかった
- ・考えたことのない実験、知らない言葉を知れて、新しい友達も出来て楽しかった
- ・遺伝子研究をしている人は大変だなと思った
- ・お肉以外の遺伝子の話も楽しかった
- ・お肉が何のお肉か当てられて嬉しかった
- ・DNAを入れるのが緊張した
- ・人の遺伝子の数がわかった
- ・普段使うことのない道具や言葉に触れられて新鮮で楽しかった
- ・馬と人間の遺伝子が、馬にも少しあるとわかった
- ・目に見えないものがたくさん調べられて楽しかった
- ・普段使わない単位を使ったことが心に残った
- ・DNA の数が心に残った
- ・PCR のことが少しわかった
- ・班のみんなと一緒に色々な検査ができてよかった
- ・PCR、電気泳動、肉の見分け方が難しかったけれど、色々なことがわかった
- ・人は染色体は46本あることがわかった
- ・遺伝子が20,000本あることに驚いた
- ・DNA の大きさが違うことが知れてすごかった
- ・遺伝子のが、前よりもわかってよかった。実験も面白かった
- ・マーカーが楽しかった
- ・コロナの検査にも使われていることがわかった
- ・遺伝子で何の生き物なのか分かるということに驚いた

2. 最終アンケート 回答者数 55人

1. 学習に参加してみて、どんな感想を持ちましたか。(複数回答可)

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
講義がわかりやすく、楽しく学習できた	51人	81.0%	30人	66.7%
興味を持って進んで学習に取り組めた	46人	73.0%	26人	57.8%
なるほどと思ったり、心に残ったりすることが多かった	39人	61.9%	32人	71.1%
新しい友だちができてよかった	34人	54.0%	19人	42.2%
来年も参加してみたい	29人	46.0%	22人	48.9%

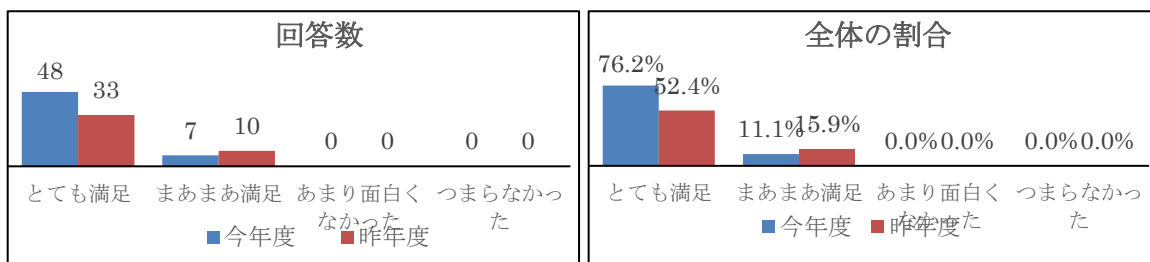


2. どんな学習が楽しかったですか。自由に書いてください。

- ・自動車学校 ・薬科大学の実験 ・スポーツカーに乗ったこと ・遺伝子を調べたこと
- ・エンジンの仕組みについて ・ブドウ糖の検出 ・自分で体験できる学習
- ・車のタイヤを外したこと、エンジンをかけたこと ・聖学院での授業
- ・2日目の講義で他国のマナーが知れたこと ・外国人との交流

3. 満足度はどうですか。

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
とても満足	48人	76.2%	33人	52.4%
まあまあ満足	7人	11.1%	10人	15.9%
あまり面白くなかった	0人	0.0%	0人	0.0%
つまらなかった	0人	0.0%	0人	0.0%



4. 来年やってほしい学習があったら書いてください。

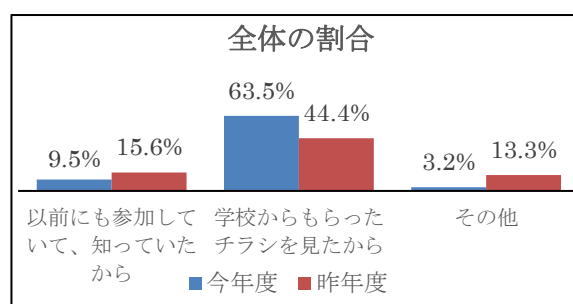
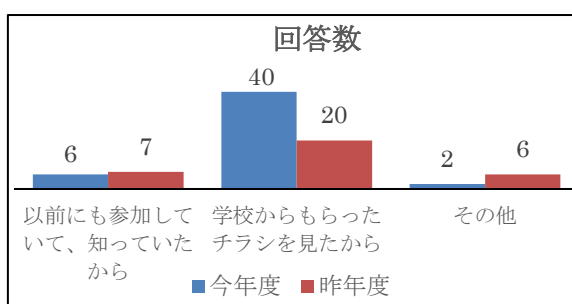
○スマホの構造 ・時計の分解 ・服のデザイン ・コスプレ ・看護 ・美容師 ・保育
 ・自動車 ・図工 ・社会 ・今のままで十分 ・プログラミング ・料理系 ・栄養学
 ・野菜について ・歯の豆知識 ・宇宙 ・国語 ・ご飯の美味しさについて ・科捜研
 ・鉱石の研究 ・動物の生体 ・虫について ・薬科大学 ・警察体験 ・DNA
 ・パイプオルガン ・他の糖の検出 ・自動車の整備、運転 ・キリスト教について

(3) 保護者アンケート（回答者 31名）

1. 「子ども大学」を何でしりましたか。（複数回答可）

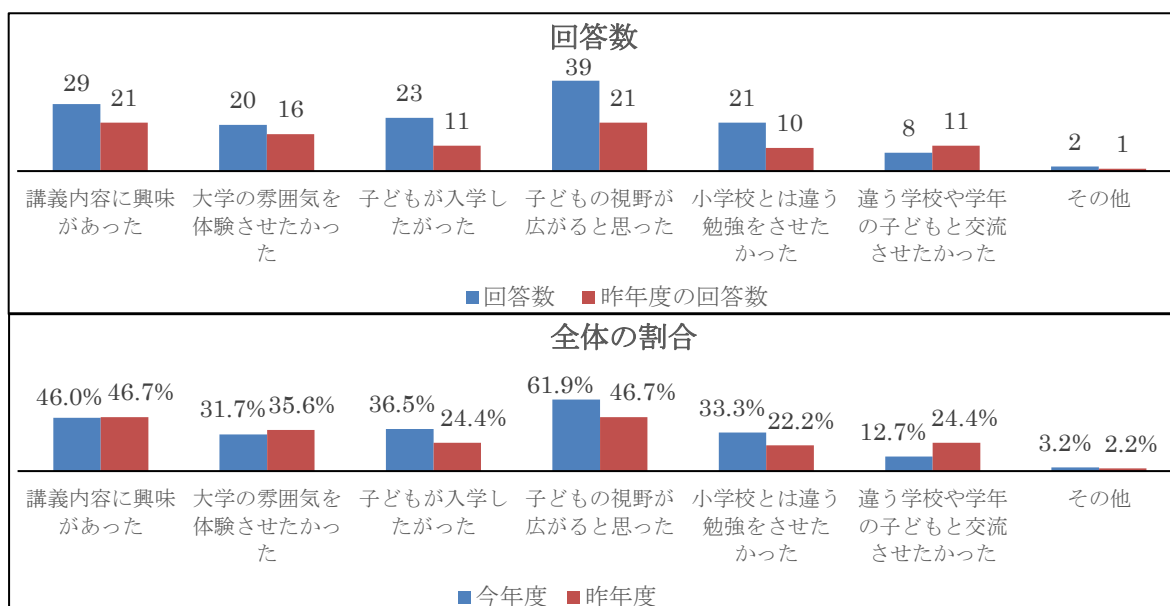
選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
以前にも参加していて、知っていたから	6人	9.5%	7人	15.6%
学校からもらったチラシを見たから	40人	63.5%	20人	44.4%
その他	2人	3.2%	6人	13.3%

※「その他」の回答 兄弟が参加していたから



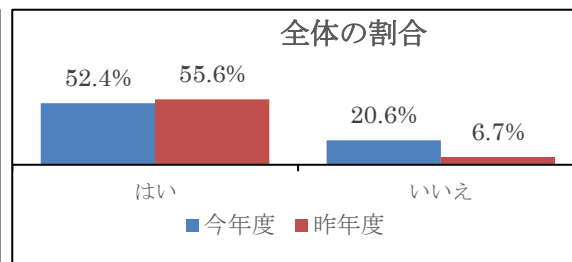
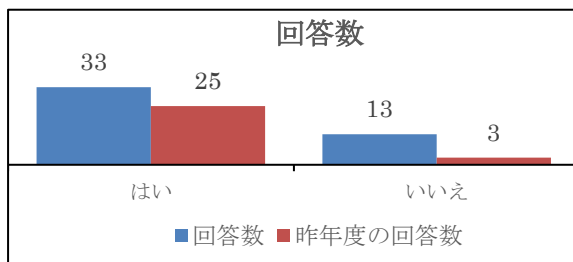
2. 「子ども大学」の入学動機に該当するものは次のうちどれですか。（複数回答可）

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
講義内容に興味があった	29人	46.0%	21人	46.7%
大学の雰囲気を経験させたかった	20人	31.7%	16人	35.6%
子どもが入学したかった	23人	36.5%	11人	24.4%
子どもの視野が広がると思った	39人	61.9%	21人	46.7%
小学校とは違う勉強をさせたかった	21人	33.3%	10人	22.2%
違う学校や学年の子どもと交流させたかった	8人	12.7%	11人	24.4%
その他	2人	3.2%	1人	2.2%



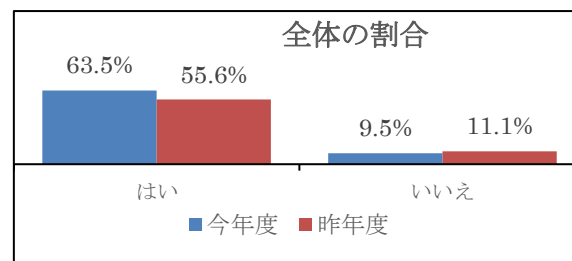
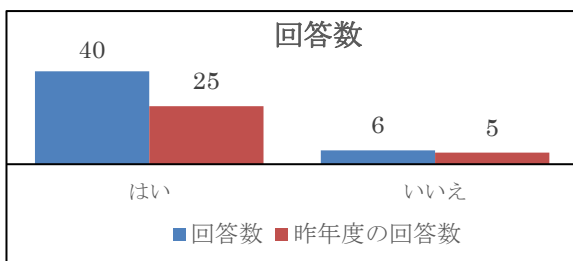
3. 家庭で子どもが自発的に学習の振り返りや、講義内容に触れることはありましたか

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
はい	33人	52.4%	25人	55.6%
いいえ	13人	20.6%	3人	6.7%



4. 学生に配布した学習レポートをご覧になったことがありますか。

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
はい	40人	63.5%	25人	55.6%
いいえ	6人	9.5%	5人	11.1%



5. 学ばせてみたい講義や科目等がありましたら、お書きください。(重複回答あり)

- ・電気、基板について/信号、電波について ・宇宙科学 ・資産投資 ・車の塗装
- ・異文化を学び、日本を知る ・食生活（添加物・農作物） ・継続的に観察ができるもの
- ・自然災害 ・社会分野 ・体験、実験 ・パイプオルガン ・スポーツ、運動 ・顕微鏡実験
- ・実技ができる職業体験 ・外国人との交流 ・薬の役割 ・プログラミング ・アニメ制作
- ・PCを使った授業 ・ゲーム、音楽を作る授業 ・建築 ・音楽、楽器演奏、曲作り ・心理学
- ・病院での手術、ロボットの講義 ・英語関係 ・メカニズムについて ・看護 ・薬剤師
- ・スポーツ科学 ・料理 ・歌 ・演劇 ・保育 ・ものづくり

6. 「子ども大学」に参加させてみて、感想やご意見などありましたらお書きください。

- ・お兄さん、お姉さんたちに教えてもらう機会があつて良かった。学校の先生とは違う方と接する機会が刺激になる部分もあった
- ・普段の勉強とは違い、目をキラキラさせて取り組んでいる姿が見れて良かった
- ・身近に大学がこんなにあることを初めて知った。小学生でも楽しめる実験で取り組みやすかった。大学で学んだことが生活の中で、話し合ったり気に掛けるきっかけとなった
- ・毎回、楽しかったと目を輝かせていた。初回の講義に使った辞書引きが楽しかったと言っていた。当初は、日菓の授業を楽しみにしていたが、どの講義も楽しく来年も参加したいと言っていた
- ・夏休みは体験・ワークショップが色々あるが、子ども大学は、なかなか体験できないことが体験できるので有難かった。小学生で大学の中に入ったり、専門の方と接することができるだけでもすごいと思った。このような機会を今後も続けてほしい

- ・他の体験イベントより、1回の時間が長く充実していた。各グループにアシスタントがついてのサポートが良かった。留学生と触れ合い、外国のマナーなどを知り、子どもの意識も変わった。GTRに親も乗りたかった。保護者への配慮も行き届いており、非常に良い環境を提供していただき、参加して大正解だった
- ・当初、案内を見た時に、どれも子どもの興味をそそる内容だと思った。進学の見分岐点に立たされた時に急に、自分の勉強したい分野を選ぶことは難しいことだと思う。早い段階で、学問や仕事にはたくさんの種類があるということを知る機会があつて、とてもいい経験だった。子どもも毎回、講義を楽しみにしていて、報告もたくさんしてくれた。大学に入りたいという気持ちも強まり、小学校での勉強も頑張ると言っていた。周辺地域にこのような魅力的な大学がいくつもあるということを知った
- ・普段興味がなかった外国のことに面白みを感じて、家でたくさん話してくれた
- ・多種多様な講義を受講させることができ、とても良い機会となった
- ・来年も受講したいと言っていた
- ・知らないことが学べて、毎回楽しんで取り組んでいた。先の選択肢が広がる機会となった
- ・3時間の授業は少し長く感じたようだったが、大学の中で勉強ができて将来のイメージができたと思う
- ・参加する前は、めんどくさがっていたが、参加した後は必ず来てよかった。楽しかったと言っていた。小学生では体験できない経験をして、弟が既に参加したいと言っていた
- ・興味があるもの、そうでないものでも、本人は楽しんで学べたと思う。子ども大学での内容を今後の生活で活かしてほしい
- ・毎回、分野の異なる講義内容なので、飽きずに意欲的に参加していた
- ・始めは乗り気ではない様子だったが、実際参加してみると色々と知らないことを学べて楽しく過ごしていた。講義内容が少し難しく、小学生には難しく理解出来なかった。早口だったり、声が小さかったり、もう少し小学生に寄り添った内容にしてもらえると本人も楽しく参加できたと思う
- ・初めての参加だったが、とても良い経験ができた。「面白い」や「いまいち」という気持ちを大切に視野を広げて学びたいと思えるものを見つけるきっかけにしてほしい
- ・普段、家庭や学校では体験できないこと、興味のあるとは言えない分野を体験・体感することができた。今回の学習が将来、少しでも刺激になると信じたい
- ・子どもが毎回終わるたびに「楽しかったー」と顔をキラキラさせて戻ってくるのが印象的だった。自動車の授業の時は、保護者も学校ツアーが出来て、カッコいい車や塗装室なども見せてくださり、とても楽しい1日だった
- ・普段、考えてみたことがないことを、班の子どもたちと協力して答えを導きだせたこと、発言したことがとても良い経験になった。毎回、帰りは誇らしい顔で印象的だった。やはり「学び」は大事だと思った
- ・初対面の子とグループディスカッションをするという貴重な機会となり、積極性が少し身についたと思う
- ・今回は「自動車のメカニズムを知ろう」に興味があり参加したが、他の分野に触れることで興味が広がった。年齢の近い、お手伝いの学生さんがいたことで親しみやすかったと思う
- ・将来自分が学んでいく分野や将来就く職業は少しずつ絞られていくが、他の分野のことは未知あるいは無知のままであるため、その道に進む、進まないではなく「知る」ということは興味の第一歩だと思う
- ・専門的なカリキュラムで、とても興味を引くものだった。3市で共同しての実施であったため、濃い内容だと感じた
- ・小学校とは違った、大学を今の時期にイメージだけでなく自分の目で触れられたことが良かった
- ・子どもが今まで知らなかったことを学んだことにより、知識や経験が増えて子どもの視野が広がった。この経験は、今後も役立つものだと感じている

- ・今回の内容はどれも面白く、普段の小児生活とは別の角度からの切り口で勉強、学習に取り組むことができた
- ・緊張しながら楽しく取り組んでいる姿が見られた。色々な分野のことに触れ、興味を持つ機会が出来たので参加させて良かった
- ・座学だけでなく、実際に自分で体験できてよかった。女の子なので、車への興味はなかったが「タイヤ交換することがあったら任せて」と嬉しそうに話してくれたのが印象的だった
- ・学習の様子が、保護者も見られる講義がほとんどだったのが良かった。自動車学校での1人ずつG T Rに乗車させてもらえたのが、相当楽しく心に残ったと言っていた
- ・少し難しい部分が多く「わからなかった」と言うことがあったが、その中でも1つでも2つでも理解して興味を持ってくれたので、参加させて良かった
- ・行く前は慣れない環境で「行きたくない」と言っていたが、帰ってくると「楽しかった」と言っていた
- ・様々な分野の講義を受けることができ、子どもにとって良い機会となった。当初、興味があった分野以外にも講義を通して興味を持った様子も見られて、親としても意外な気づきとなった。参加させて良かった

あげお子ども大学 アンケート結果

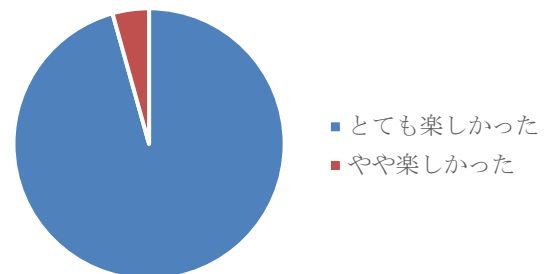
1. 各講義内容及びアンケート結果

(1) 1日目

- ・タイトル 「自分発見！アートの世界」（はてな学、生き方学）
- ・実施日時 令和8年3月7日（土） 午前9時30分から正午まで
- ・開催場所 上尾市立富士見小学校 生活科室
- ・講師 鈴木 佳子（日本美術展会友、埼玉県美術家協会・上尾市美術家協会会員）
- ・内容 前半は自己表現について学び、後半は参加者が自由に持ち込んだ画材を使用して、思い思いの絵を描いた。
- ・参加人数 23名
- ・アンケート結果

1. 今日の学習は、どうでしたか。

ア とても楽しかった	22人
イ やや楽しかった	1人
ウ あまり楽しくなかった	0人
エ 楽しくなかった	0人



2. 今日の学習の感想《ためになったこと・心に残ったこと》

- 絵にかいて自分の好きなものを表せました。家でも定期的に絵をかくてみたいです。
- 絵の元は、文字（象形文字） 絵は、自己表現になる。
- 絵にかんしての勉強や、はじまりのことについて初めて知れた。
- ・音楽と絵はつながっている!!
 - ・明るいふいんきと先生のおかげで楽しくできました。
 - ・スタッフさん、先生のおかげです。ありがとうございました。
- 前から絵をかくのが好きでしたが、もっと好きになりました。他の人と話しながらかくのも楽しかったです。
- 一人一人がげん石ということをし、はじめてしりました。
- 前までは絵が苦手だったけれど、今日やってみて、とても好きになりました。いろいろな話をしてくれていろいろなことを学べたのでとても良かったです。
- 現実ではなくても絵では自由に書けたのでとても楽しく自由に絵を書くことができました。
- のうについてしてよかった。いろいろほめてもらってうれしかった。
- 絵をかくのがすごくたのしかったです。
- 大・中・小の大きさを猫くことです。
- 右脳と左脳がわかった。
- 絵は自由！いい絵がかけた。
- 自分を知ることが重要だと分った。
- ・自分が興味をもったことをかくという考えにすると、もっと色々なものが思いついたり、絵の可能性が広がったりしました。
 - ・絵の中に大・中・小をいれることを、これからは心がけたいと思いました
- 今日は絵をうまく見せるためのこう図やかき方を学びました。学校での授

業で活かしていきたいです。

○画材が同じでも、かきかたや色づかいは人によってちがうことがわかった。

○大・中・小の話です。そして、ものすごく絵を書くのが楽しかったです。

○絵のこうずや、色の組み合わせを学んで、かくことができました。とても楽しかったです。

○ほ色や、だん色、寒色は7：3でかくといいということがためになったと思います。

○自由に学校とかでは、書けないから自由に好きな物を使って書くのは、とても楽しかったです。

○私は図工が苦手でしたが、今日先生が様々なコツを教えて下さり、頑張りたいと思いました。自分らしさを表せるように絵を楽しみたいです。ありがとうございました

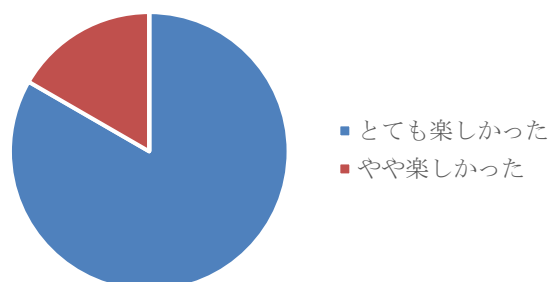
(2) 2日目

- ・タイトル 「日本の伝統楽器 お箏（こと）を弾いてみよう！」（生き方学、ふるさと学）
- ・実施日時 令和8年3月14日（土） 午前9時30分から正午まで
- ・開催場所 上尾市立富士見小学校 大会議室
- ・講師 清水 和鳳（山田流箏術教授、上尾市文化団体連合会理事）
沖田 千織（生田流沢井箏曲院講師、上尾高校箏曲部指導者）
- ・内容 お箏の弾き方を学び、簡単な曲を演奏する。
- ・参加人数 18名

・アンケート結果

1. 今日の学習は、どうでしたか。

ア とても楽しかった	15人
イ やや楽しかった	3人
ウ あまり楽しくなかった	0人
エ 楽しくなかった	0人



○茶つみが少しむずかしかったけど、少しできるようになりました。先生の音楽もすごくかっこよかったです

○さくらさくらが学校のやつよりむずかしかったからおどろいた。でも楽しかった。

○ゆびがいたかった、いがいとかんたんにできた しらない曲もひくことができて、よかったです。

○学校の音楽でやったときとは違い、とても詳しく学習することができました。最初は音の出し方もうまくできなかったのですが、最後はだいたいひけるようになりました。様々な曲を練習することができました。

○ことがひけた

○コトの、引く時1～10が分からなくて、引くのをあきためてしまったけど、おしえてもらって、ちょっとは、覚えることができました。コトについて、くわしく知ることができました。

○学校ではさくらしかひかなかったけれど、夕やけこやけやとんぼのめがねなどの学校でやらなかったものをひけてよかったです。同時に音をならすのも覚えられて良かったです。

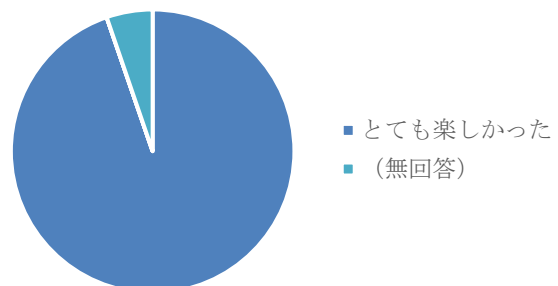
- ことは昔は、おとをちょうせいするきかいがなかったから、耳で音をきいてちょうせいしていたことをはじめてしった。すこしひけるようになった。
- ふだん学校でもあまりことをひいたことがなかったのですが、今回ことをたくさんひいてみて、ひくときは、力を入れてひかないといい音がならないことや、ことでもいろいろな手の使い方でひくやり方があるということが分かりとても勉強になりました。
- ふ通をはちがうことの音ぷの打ち方が知れた。
- 学校ではあまりひかなかったので今日たくさんひけてとてもよかったです。ことでいろいろな曲をひいてみて楽しかったです。もっといろんな曲をひいてみたいと思いました。
- 琴は学校でしが触った事なくて、今回プロの方に教えて頂いてとても良い経験になりました。難しかったけれど、楽しかったです。ありがとうございました
- ことのことをとてもよくしれた。引きかたなどが、分かりやすかった。
- 柱こじ 柱を変える事で、音が変わる 十二などいっしょの音 九△九九などのひき方
- 知っている曲をおことをひいて、楽しかったです。個人的に「糸車」が一番好きでした。周りの人が助けてくれて、いい勉強になりました。次回もがんばりたいです。
- げんは、おくにいくにつれ、音の高さが低くなることがわかった。げんの数さえ分かれば、けっこう簡単にひけたので、今後もこのような機会があったらやってみたいと思った。
- ヲ巾だったら少し押す。オ九だったら強く押すということがためになりました。

(3) 3日目

- ・タイトル 「古代文字を書いてみよう」(はてな学、ふるさと学)
- ・実施日時 令和8年3月21日(土) 午後1時30分から4時まで
- ・開催場所 上尾市立富士見小学校 生活科室
- ・講師 権田 瞬一 先生(大東文化大学 文学部中国文学科 助教、日展出展歴多数)
- ・内容 漢字の成り立ちを学び、実際に筆で古代文字を書いてもらう。
- ・参加人数 19名
- ・アンケート結果

1. 今日の学習は、どうでしたか。

ア とても楽しかった	18人
イ やや楽しかった	0人
ウ あまり楽しくなかった	0人
エ 楽しくなかった	0人



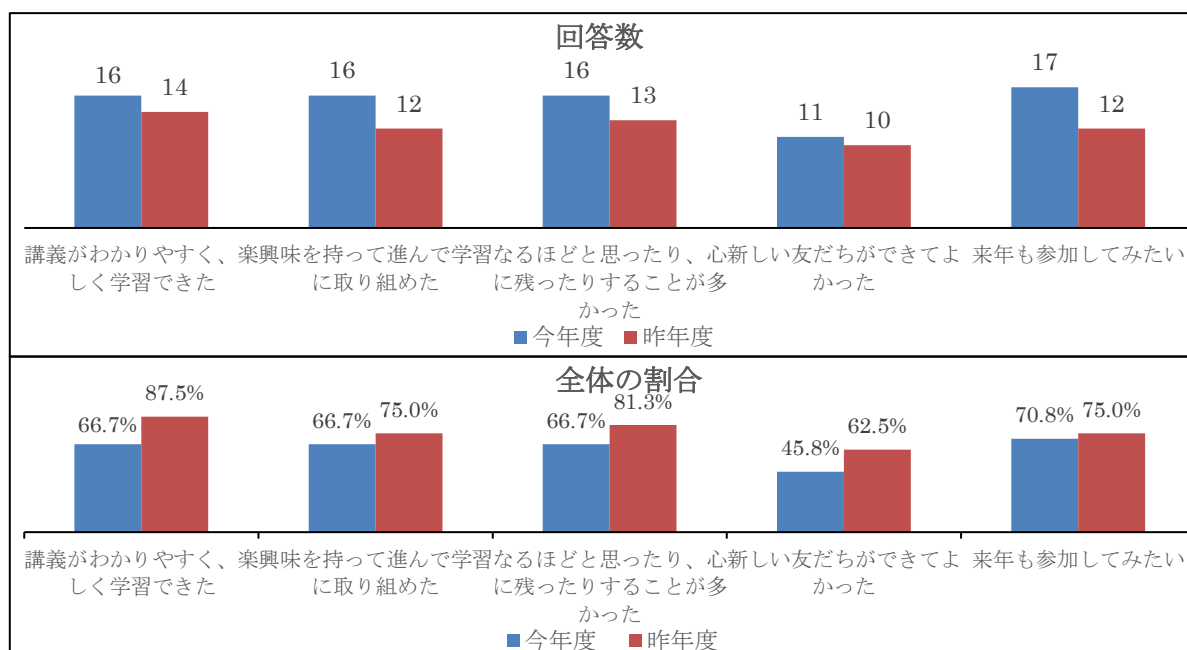
- 筆の太さや強さなどを教わることができました。
- 篆書、隸書、草書、行書、楷書などの書体がたくさんあることがわかった。
古代文字を見た時、この字かな?と思ったものが全然ちがくておどろいた
- 私は書写がにがてでいた。けれどこれは絵を書いているみたいでたのしかったです。

- ・字の変化が分った。
 - ・過去（カコ）の文字をかくとき、どうしてもアレンジがしたくて、アレンジしまくった。一つの漢字にも、いろんなかき方があるんだなと思いました。
- 本当に絵のような文字もあって、習字というより絵をかいているような感覚でした。また、文字をかくことが少し好きになりました。
- ・芸術は自由なんだなと思いました
 - ・字を書くとき、勢いで書くとうまくできると思いました。→強弱をつけるとよいと思った
- 昔にできた文字は、今とはちがう形で進化していっていると知って、漢字ドリルなどの字の成り立ちにきょうみがわいた。
- 今、私たちが使っている漢字は、約2800年にもわたって変化しながらできた漢字だと分かりとてもおどろきました。そして、たくさんのふときの漢字もあることが分かりました。
- 3000～3300年前から文字が出来たなんてすごいと思いました。
- 知らなかった昔の文字をたくさん知れました。一つの文字でもいろいろな書き方があっておもしろかったです。他の文字のいろんな書き方も知りたかったです。
- かい書やぎょう書などの言葉をはじめて知った。甲骨文、金文、大篆の言葉をはじめて知った。
- ・まゆを書く時に目力を付けた。・まゆの部分の太さかげんが難しかった。
- 古代文字やかんじのなりたちが分かりました
- むかしの漢字がおもしろかった
- 先生がやさしくて、アットホームなふいんきでできました。自由にできるからこそ生まれるアイデアがあったり、初めて知る文化にふれたりできました
- 文字の歴史を学ぶ事が出来ました。実際に書く事で楽しさを味わえました。更に深く調べてみたいです。ありがとうございました。
- 走りがき用の漢字や、普通にかく用のかんじで分かれていることがおもしろいと思いました。
- こうこつ文字の種類をしれました。あと「」が「行」きとしておどろきました

(3) 最終アンケート（回答者 19名）

問. 3日間の学習に参加してみて、どんな感想を持ちましたか。（複数回答可）。

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
講義がわかりやすく、楽しく学習できた	16	66.7%	14	87.5%
興味を持って進んで学習に取り組めた	16	66.7%	12	75.0%
なるほどと思ったり、心に残ったりすることが多かった	16	66.7%	13	81.3%
新しい友だちができてよかった	11	45.8%	10	62.5%
5年生の方：来年もあったら参加してみたい 6年生の方：中学生になっても、同じようなイベントがあったら参加したい。	17	70.8%	12	75.0%



問. どんな学習が楽しかったですか。自由に書いてください。

○1時間目のアートが自由にかけるといのはようちえんぶりなので、良かったです

○ことをひいてみる学習

○書写と絵を書くことが楽しかった。

○・友達絵のこうずを見てまなびました。

・字の書き方をアレンジしたこと

○複数人でやることで、アドバイスし合ったりして自分の作品をより向上させることができました。また、普段は親しんでいないものも取り組めて楽しかったです。

○・自分で好きな絵をかくのが楽しかったです。

・字を、古代文字で二度書きをするのが楽しかったです。

○自由に表現できる学習。

○ほかの友達作品や文字、音を聞いたりするのが楽しかったし、学びになりました。

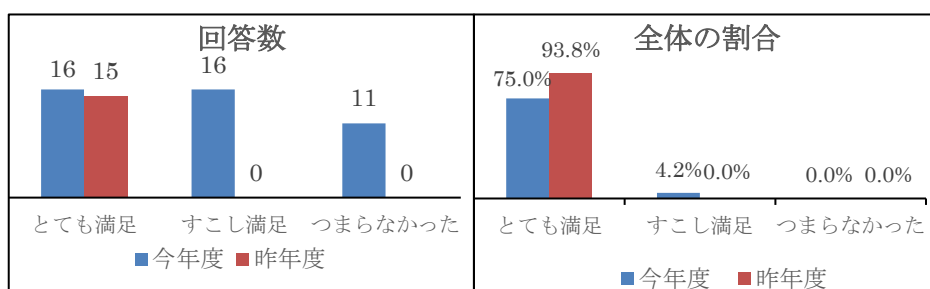
○ことをひく学習

○絵を書いたことが特に楽しかったです。最初は絵を書くのが苦手だったけれど、やってみて絵のいいところがたくさん分かったし、絵を書くのが好きになりました。

- 古大文字。知らないことを知ることができたから。
- 全部
- 今までのかん字の変化がおもしろかったです
- 全部
- 友達や先生と関わりながら、楽しく学びました。書くこと、話を聞くことが楽しかったです。楽しく前に出て、話せました。ありがとうございました。
- 琴が楽しかったです。難しかったけれど、興味があったので、演奏出来て良かったです。ありがとうございました
- 昔の漢字から今の漢字を当てるのが楽しかったです。
- 全部！！
- ※無回答1名

問. 3日間の満足度(まんぞくど)はどうですか。

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
とても満足	18	75.0%	15	93.8%
すこし満足	1	4.2%	0	0.0%
つまらなかった	0	0.0%	0	0.0%



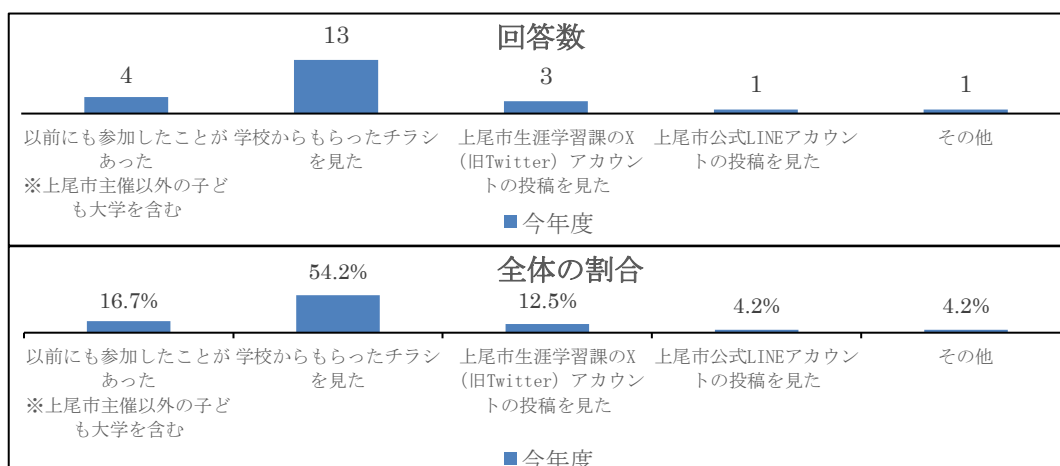
問. 今後やりたい、やってほしい学習があったら書いてください。(いくつでも)

- ・ 工作や実験をしてみたい ・ 料理について学ぶ ・ 絵にかんすること。
- ・ 歌とか、音楽について ・ 楽器をひく、手芸、料理 ・ 書きぞめ教室
- ・ 同じもの ・ 昔の日本の物 ・ 本や音楽にまつわるもの ・ ピアノの学習
- ・ パソコン、イラスト、ゴルフきょうりゅう、色、けんびきょう、自然
- またこのメンバーにあいたい！
- ・ 今回、とても楽しかったので、また同じようないろいろな芸術について知りたいと思いました。

(4) アンケート結果(保護者) (回答者数：20)

問1. 「子ども大学」を何で知りましたか。(複数回答可)。

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
以前にも参加したことがあった ※上尾市主催以外の子ども大学を含む	4	16.7%	—	—
学校からもらったチラシを見た	13	54.2%	—	—
上尾市生涯学習課のX(旧Twitter)アカウントの投稿を見た	3	12.5%	—	—
上尾市公式LINEアカウントの投稿を見た	1	4.2%	—	—
その他	1	4.2%	—	—

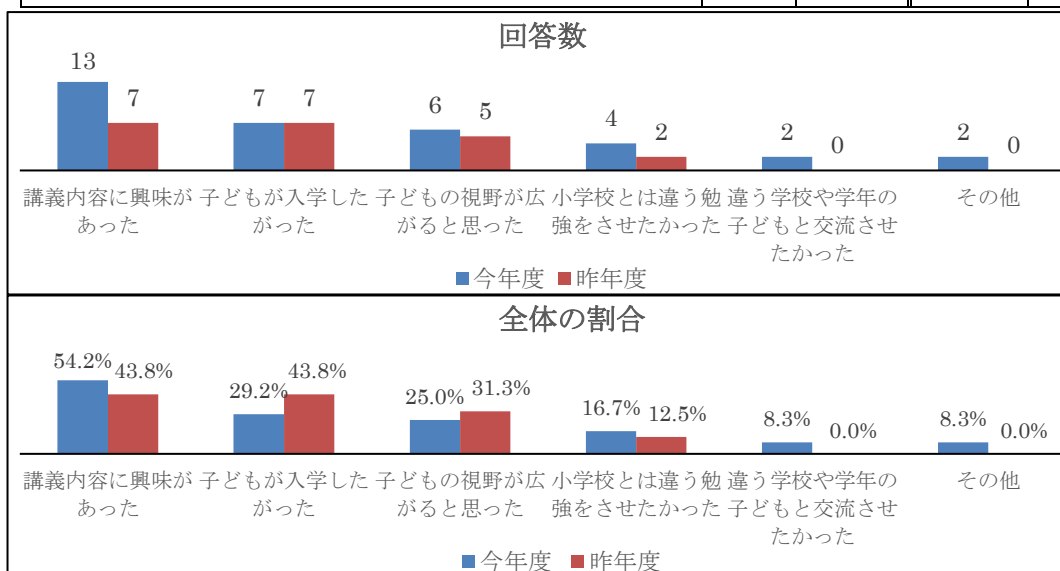


※その他

- ・学校からのさくら連絡網のチラシ

問2. 「子ども大学」の入学動機に該当するものは、次のうちどれでしたか。
(複数回答可)

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
講義内容に興味があった	13	54.2%	7	
子どもが入学したがった	7	29.2%	7	
子どもの視野が広がると思った	6	25.0%	5	
小学校とは違う勉強をさせたかった	4	16.7%	2	
違う学校や学年の子どもと交流させたかった	2	8.3%	0	
その他	2	8.3%	0	

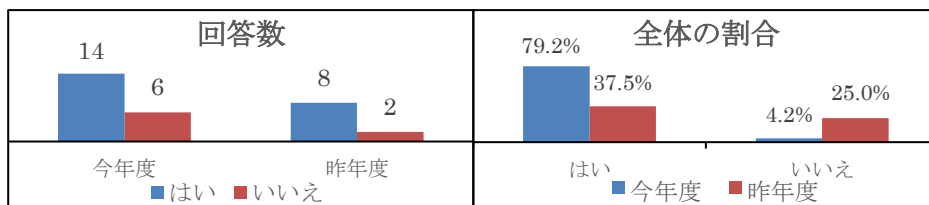


※その他

- ・学ぶことの楽しさを感じて欲しかったのと、子どもにとっていい経験だと思ったからです
- ・友人に誘われた。

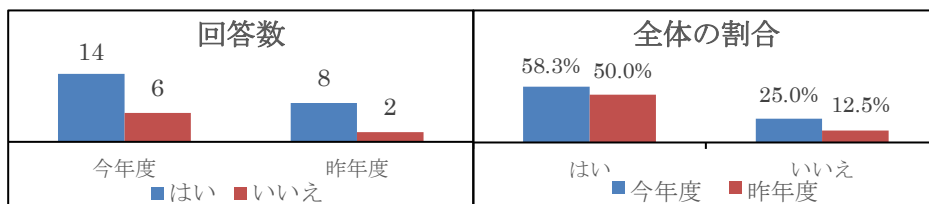
問3. 家庭で子どもが自発的に学習の振り返りや、講義内容に触れることはありましたか。

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
はい	14	58.3%	8	50.0%
いいえ	6	25.0%	2	12.5%



問4. 学習レポートを御存知ですか、または内容を御覧になったことがありますか。

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
はい	13	54.2%	6	37.5%
いいえ	7	29.2%	4	25.0%

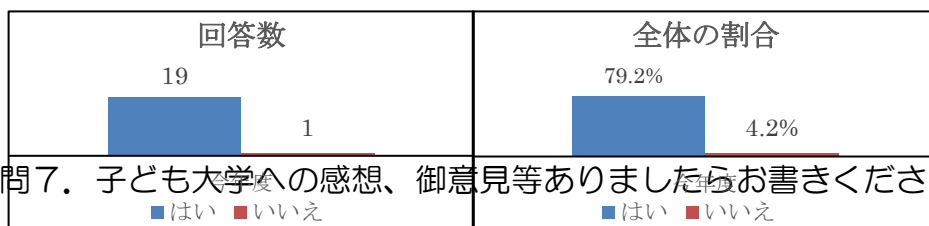


問5. 今後、子ども大学で実施してほしいプログラムなどがありますか。（もし、おすすめの講師について情報がありましたら、合わせて教えてください。）

- ・英語 ・日本の歴史 ・料理（お菓子や海苔巻き） ・百人一首や古文
- ・マーチングバンドの旗振り ・実験系 ・色彩について ・作法やマナー
- ・絵画、工作 ・生き物に関する内容・折り紙講座(ちょっと難しい立体など)
- ・運動系の講座・理科の実験やプログラミング、フローチャートの基本など
- ・プログラミング ・コミュニケーション ・英語 ・時間の使い方
- ・日本の文化について学べる機会を与えたいので、日本舞踊や茶道を体験させたい。
- ・実験的な事もあったら嬉しいです。また、お金を払ってもいいので3回だけではなく出来たらもう少し色々な学部を今回のように体験できたら嬉しいです（月1回6回～12回など）

問6. 子ども大学に来年も参加してほしいですか。（6年生の保護者様は、お子様が中学校に進学しても、同様の事業があったら参加してほしいですか。）

選択肢	回答数	全体の回答割合	昨年度の回答数	全体の回答割合
はい	19	54.2%	—	—
いいえ	1	29.2%	—	—



問7. 子ども大学への感想、御意見等ありましたらお書きください。

- ・本当に楽しそうだった。
1日目の美術で、みんなで褒め合う空気が心地よかったようで、自己肯定感が上がったと話していた。
- ・この度はありがとうございました。
学校では学べない事を学べてとてもよい機会になりました。
また参加させていただきたいです。
- ・スポット的なものよりも3回参加することで、子ども同士の交流がよくできたようで、とても楽しそうでした。最後は同じグループで寄せ書きをしたんだよと嬉しそうに話してくれました。普段はなかなか学べないことに触れ合うことができて子ども本人もとても楽しかったようです。来年もまた参加したいと言ってました。
- ・この度は大変お世話になりました
子どももとても楽しかったようでいい経験になりました
ただ、年子である下の子がとても参加したかったのですが出来ずに姉の話を聞きとても悔しい思いをしました
この時期でしたら新5年生まで可にしていただけたらありがたかったなあと思いました
今回は本当にありがとうございました
また機会があったら是非参加したいと存じます
- ・子どもが、初めての場所や人がいる所が苦手なので、1回目しか参加できませんでした。(2回目は怪我のため不参加)申し訳ありません。
可能であれば友だちや知り合いを誘って参加できる講座もあればいいなと思いました。
- ・今回は一回しか参加出来なかったが、絵の講座は楽しかったようです。
また機会があれば参加したい。
- ・特に第3回の古代文字書道に興味が出てきたようで、家でも書いてみたいと言っていました。
他の学校の子たちと交流できたのも良かったようで、同じ中学に通う子と入学式で会おうと言ってきたようです。
講師の先生、ご担当の方々に心より御礼申し上げます。
この度は、貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。
- ・とても楽しく過ごせたようです。
将来の夢にも関連している講座だったので、よい機会を頂いたと親も感謝しております。
ありがとうございました。
- ・普段出来ない体験が出来るのでありがたいです。
- ・知らなかったことを新しく知る・触れるという機会を与えていただきありがとうございました。
琴が一人一台用意されていたと聞き、驚きましたが、素敵な経験をさせてもらえて良かったと思います。
娘は、他の子とのコミュニケーションをもう少し取りたかった(学校名や学年を知る程度)のようですが、楽しかったと伝えてくれて、親子共々今回の子ども大学に参加できて良かったです。
準備等ありがとうございました。”
- ・1日目のイベントはイメージと違ったみたいで、先生の説明も長くあんまり、楽しくなかったみたいです。